

治山工種 標準施工図集

令和4年11月7日以降

中部森林管理局 治山課

目 次

工 種	No.	種 別	備 考	凡 例
土留工	土1	練石積		①
	土1-1	大転石練積		①-(1)
	土4-1	コンクリート	残存型枠(平割材)	④-(1)
	土5-1	丸太積		⑤-(1)
	土5-2	木製校倉式		⑤-(2)
	土5-3	木製枠		⑤-(3)
	土6-2	ふとんかご	かご工(A)	⑥-(2)
	土8-4	かご枠		⑧-(4)
	土13	植生土のう積		⑬
	土14	練ブロック積[裏込礫]		⑭
	土14-1	練ブロック積[板状排水材]		⑭-(1)
	土14-2	練ブロック積[板状排水材]	良質土を確保することが出来ない場合	⑭-(2)
		限界直高適用表	表1～表3	
	水路工	水1	練石張	
水11-1		植生土のうA(幅1.0m)		⑪-(2)
水11-2		植生土のうB(幅0.8m)		⑪-(2)
水12-2		軽量植生シート		⑫-(2)
暗渠工	暗1	集束排水管		①
柵工	柵1	丸太[3段/5段]		++++①++++
筋工	筋1	石		--①--
	筋5	そだ		--⑤--
	筋7-1	丸太[階段幅0.3m/0.5m]		--⑦--
	筋7-2	丸太[2段積/3段積]	積タイプ	--⑦--
	筋10	植生土のう		--⑩--
伏工	伏1-1	植生マット		X①X
	伏1-2	植生マット	各タイプ	X①X
	伏2	むしろ		X②X

工 種	No.	種 別	備 考	凡 例
植栽工	植1	植栽	植栽(A)山腹工事等適用	○
仮設工	仮2	堤名板		
	仮3	銘板	集水井工	
	仮4	標柱		
	仮5	鉄筋階段		
	仮6	落石防護網		
	仮7-1	落石防止柵	(標準図丸太材組立)	
	仮7-2	落石防止柵	(標準図丸パイプ組立)	
	仮8-1	防護柵	(標準図丸太材組立)	
仮8-2	防護柵	(標準図丸パイプ組立)		
仮締切工	締1	大転石練積		
	締2	大転石空積		
	締4	牛枠		
その他	他1	挿し筋	水平打継目	
	他2-1	挿し筋	補修・嵩上げ等	
	他2-2	挿し筋	補修・増厚等	
	他3	残存型枠	丸太	
	他4-1	残存型枠	平割材	
	他4-2	残存型枠	平割材(土留・擁壁)	
	他5	水路工基礎部		
他6	ふとんかご根固			
他7	梯子土台			

注 意 事 項

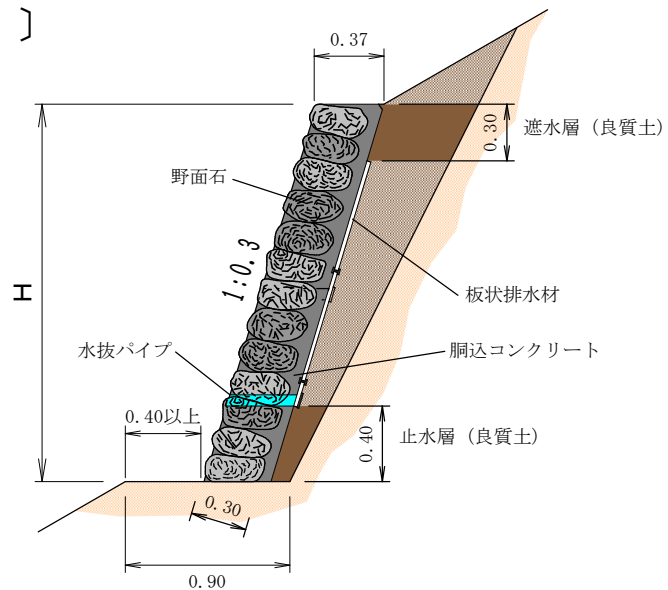
治山工種標準施工図は、森林整備保全事業の積算における、施工の基準を示したものであり、寸法等は、設計の値となります。

また、公共事業における事業者間の公平かつ自由な競争を維持・促進する観点から、応札者、受注者等による「同等以上の品質」の工事材料の使用を排除しているものではありません。

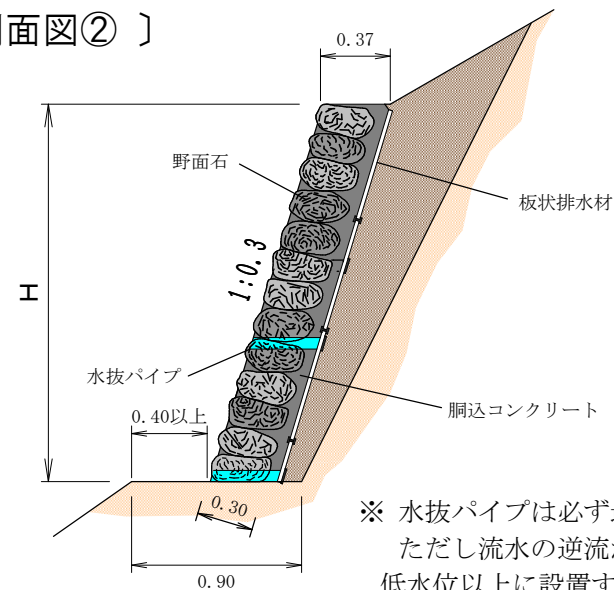
番号	工種	種別
土1	土留工	練石積

凡例	①
----	---

〔側面図①〕

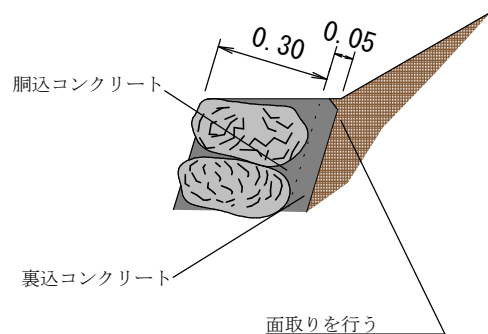


〔側面図②〕



※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。
ただし流水の逆流が懸念される場合は、
低水位以上に設置する。

〔拡大図〕
天端部分

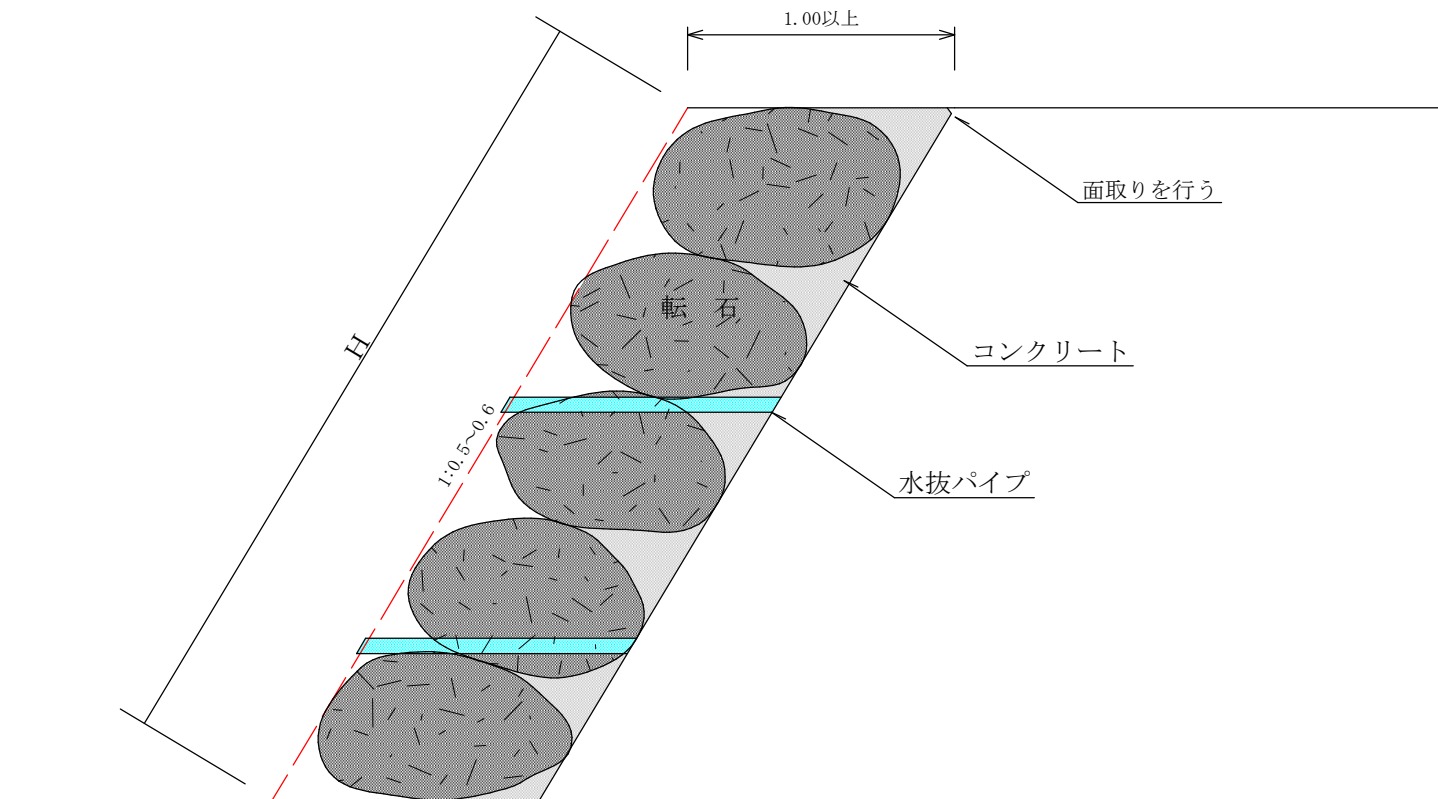


板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。

練石積土留工 (間詰工) 幅0.37		数量表		1.0m ² 当り
名称	規格	数量		規格
		側面図①	側面図②	
野面石	控え 30cm標準	1.00 m ²		
胸込コンクリート	18-8-25N	0.25 m ³		(0.22) m ³
水抜パイプ	塩ビ管VU φ50mm 長0.40m	0.33 本	0.50 [1.00] 本	①3m ² 、②2 [1] m ² (1箇所標準)
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	必要量	1.00 m ²	
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量		

番号	工種	種別
土1-1	土留工	大転石練積

凡例	① - (1)
----	---------

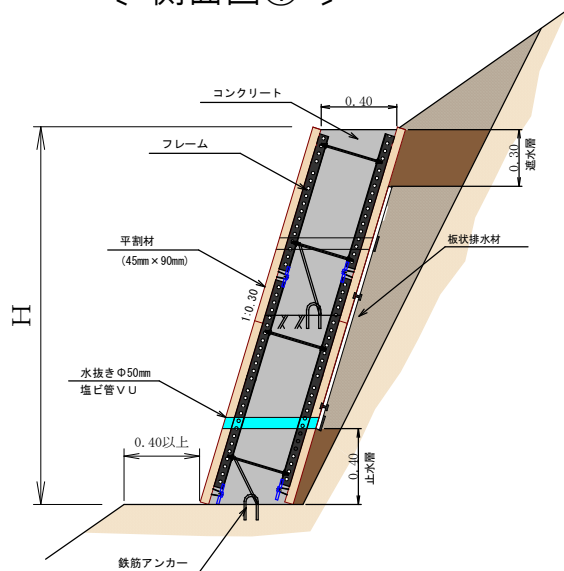


大転石練積土留工 数量表			1.0m2 当り
名称	規格	数量	備考
転石	控長0.7~1.3m 標準1.0m	1.0m2	
コンクリート	18-8-25 N	0.20m3	
水抜パイプ	塩ビ管 VU 径100mm 長1.1m	0.33本	
伸縮継目	各種 厚10mm	必要数量	

番号	工種	種別
土4-1	土留工	コンクリート 残存型枠（平割材）

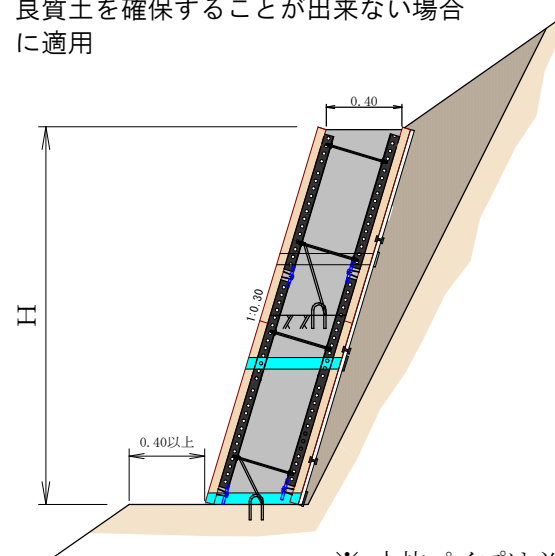
凡例	④ - (1)
----	---------

〔側面図①〕



〔側面図②〕

良質土を確保することが出来ない場合に適用



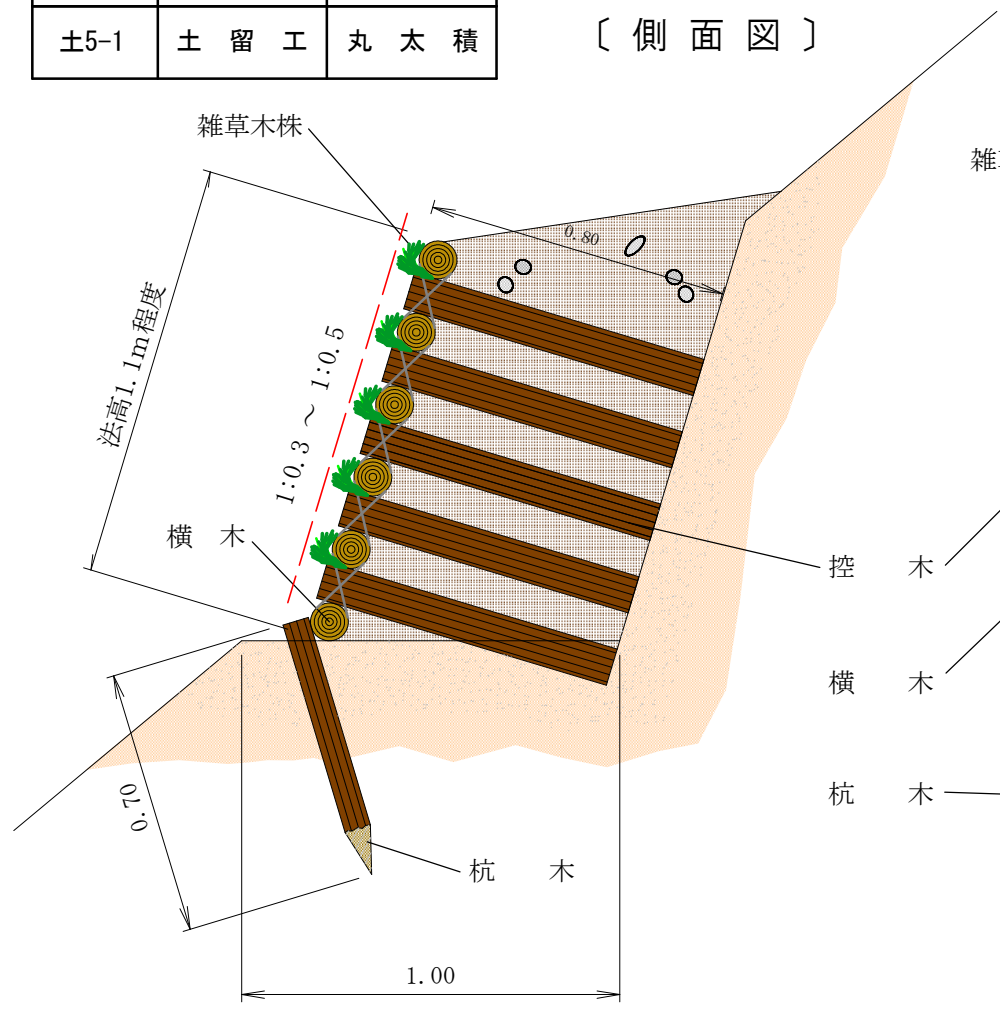
※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。
ただし流水の逆流が懸念される場合は、
低水位以上に設置する。

コンクリート土留工（曲線対応型）〔間詰工〕		数量表		土留工施工面積100m ² 当り
名称	規格	数量		備考
		側面図①	側面図②	
コンクリート〔無筋構造物〕	18-8-40 B B	42.8m ³		(40.0m ³) 割増7%
残存型枠工 平割材（土留・擁壁用）	軽量鋼製枠複合式・平割材（上下流）仕様	100.0m ² （施工面積）		C型セバ、付属品を含む
平割材	45mm×90mm L2000mm	9.6m ³		
水抜パイプ	塩ビ管 VU 径50mm 長0.50m	33.3本	50〔100〕本	①3・②2〔1〕m ² に1箇所標準
板状排水材	厚さ7mm 幅30cm	必要量	100.0m ²	
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量		

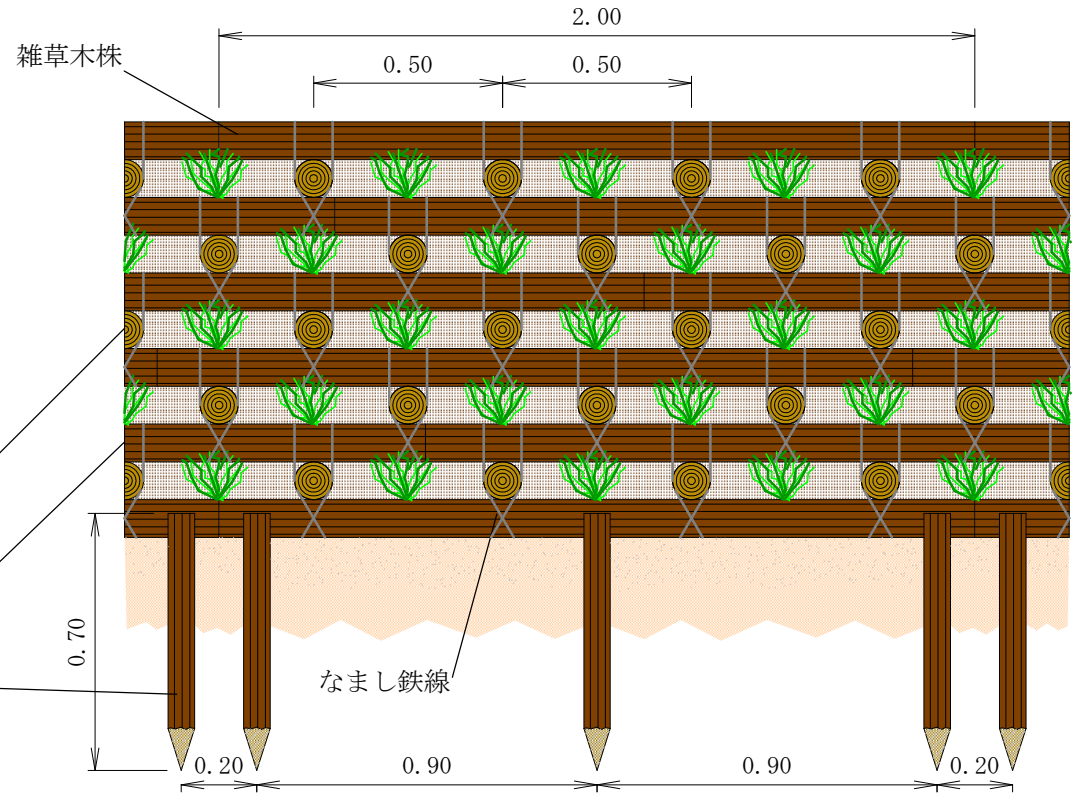
番号	工種	種別
土5-1	土留工	丸太積

凡例	⑤-(1)
----	-------

〔側面図〕



〔正面図〕



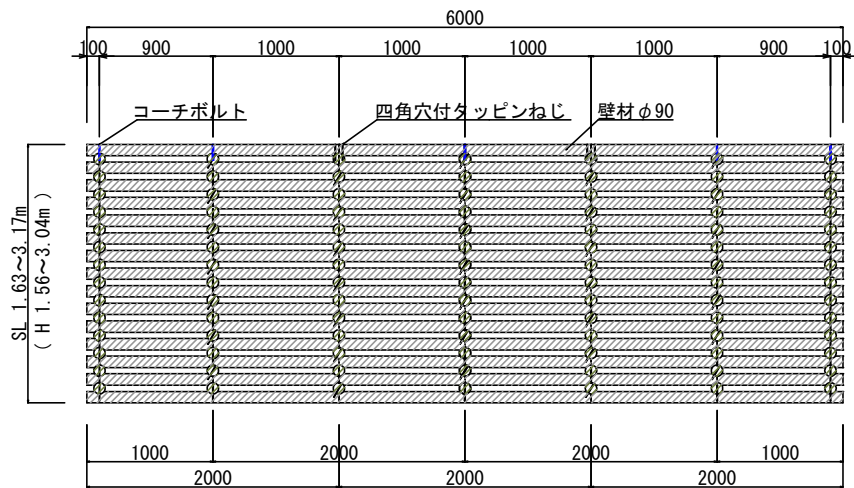
丸太積土留工 (A) 数量表			10.0m ² 当り
名称	規格	数量	備考
杭木	径 8cm 以上 ・ 長さ 0.7m	13.6 本	} 1.33m ³
横木	径10cm 以上 ・ 長さ 2.0m	27.3 本	
控木	径10cm 以上 ・ 長さ 0.8m	90.9 本	
鉄線	なまし #10 (φ 3.2mm)	16.1 kg	
雑草木株	茎長 30cm ・ 打違 1.0m縄	5.0 束	

記号	工種	種別
土5-2	土留工	木製校倉式

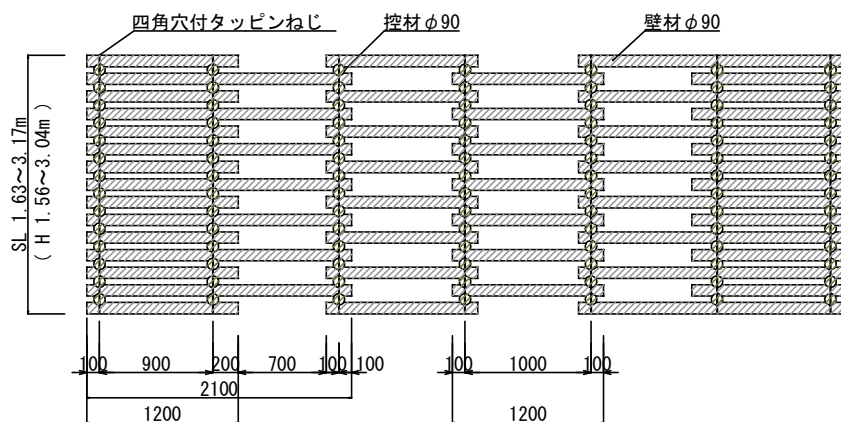
凡例	⑤-(2)
----	-------

〔 断面図 〕

〔 正面（展開）図 〕

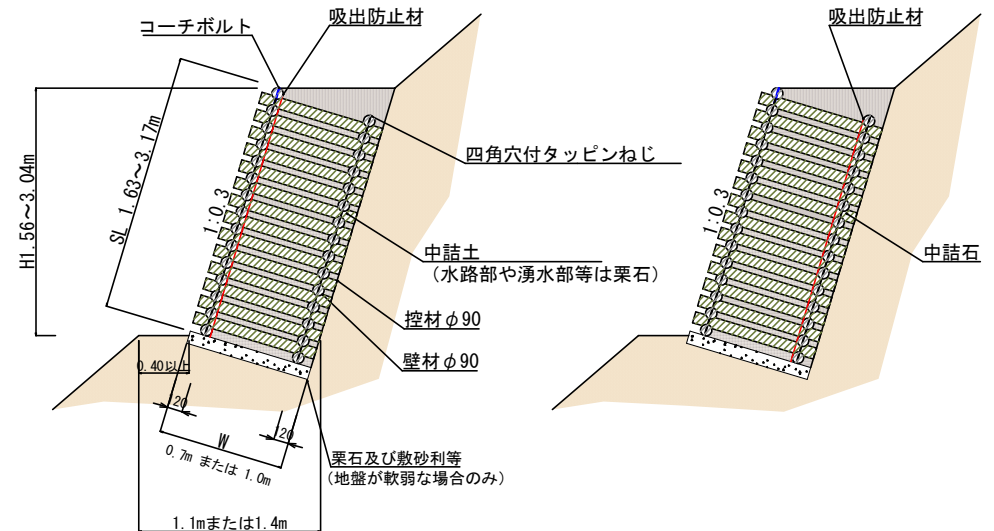


〔 背面（展開）図 〕



土砂詰め

石詰め



木材の保存処理仕様	
注入前処理	深浸潤特殊・圧縮処理加工
保存処理	ACQ加圧注入処理
品質規格	吸収量5.2kg/m ³ 以上、浸潤長平均12mm以上 (JAS K4相当)

木製校倉式土留工 数量表

10.0m² 当り

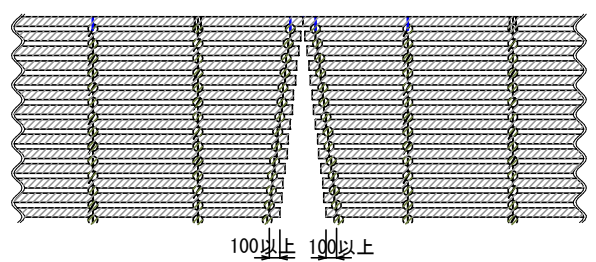
名称	規格	数量		備考
		W0.7m	W1.0m	
高耐久処理木材	φ90 L700~3000	1.17m ³	1.33m ³	上表「木材の保存処理仕様」による
コーチボルト	M9 L125mm	4.1本		溶融亜鉛メッキ
四角穴付タッピンねじ	#5.5 L115mm	168本		
中詰土 (中詰石)	現地発生土 (径20cm内外)	3.9m ³	8.0m ³	
吸出防止材	厚1.0cm	必要量		

記号	工種	種別
土5-2	土留工	木製校倉式

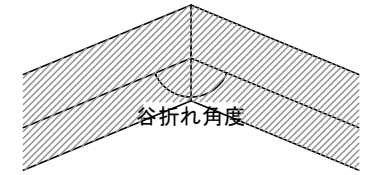
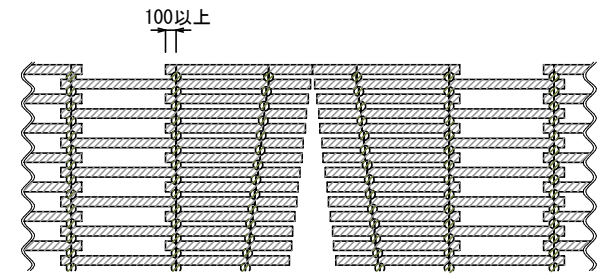
凡例	⑤ - (2)
----	---------

参考：谷折れ部分

〔正面（展開）図〕



〔背面（展開）図〕



谷折れ角度	材長減少値
135°	17mm/段
140°	15mm/段
150°	11mm/段
160°	7mm/段

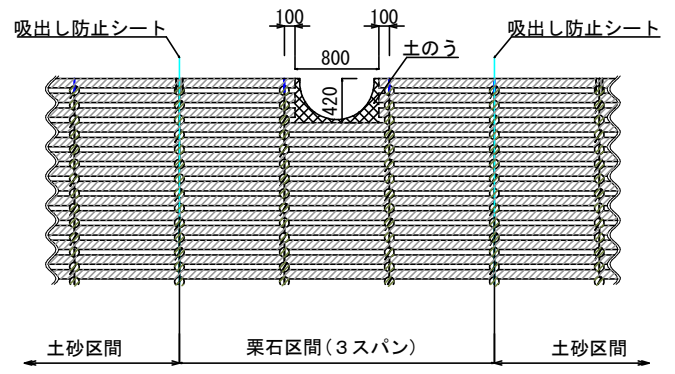
〔計算例〕

折れ角度135° の場合
 1段目材長 2000-17×0 = 2000mm
 2段目材長 2000-17×1 ≒ 1980mm
 3段目材長 2000-17×2 ≒ 1960mm

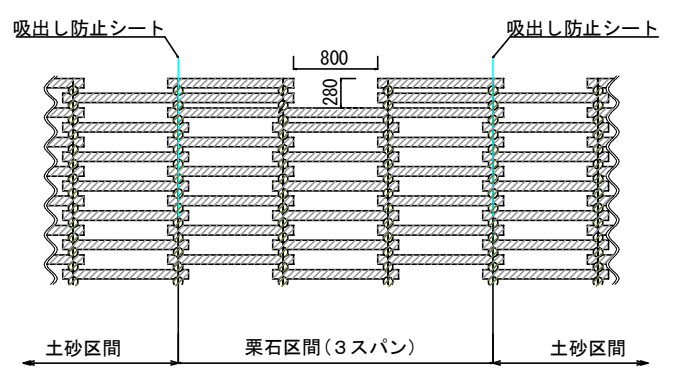
※ 山折れの場合は別途
 ※ 谷折れ角度135° 未満は別途

参考：水路口部分

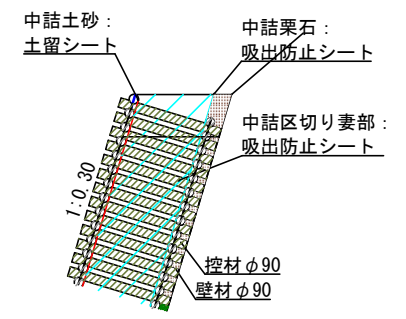
〔正面（展開）図〕



〔背面（展開）図〕



〔断面図〕

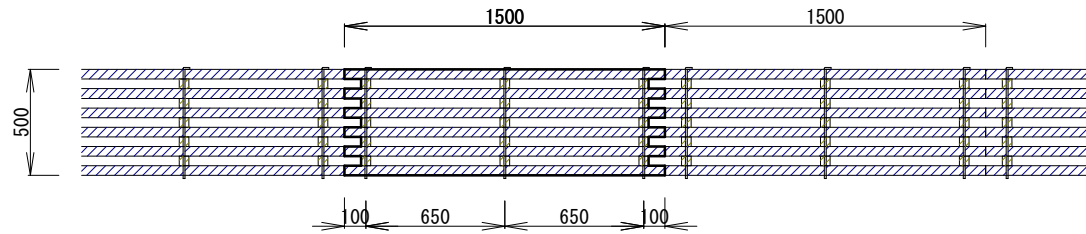


吸出し防止シート数量
 = (背面面積 + 妻部面積×2) × 1.1

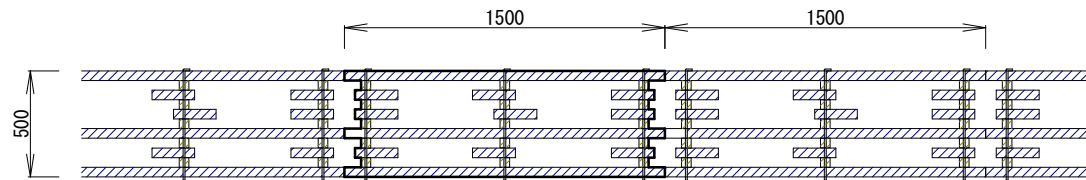
記号	工種	種別
土5-3	土留工	木製枠工

凡例	⑤-(3)
----	-------

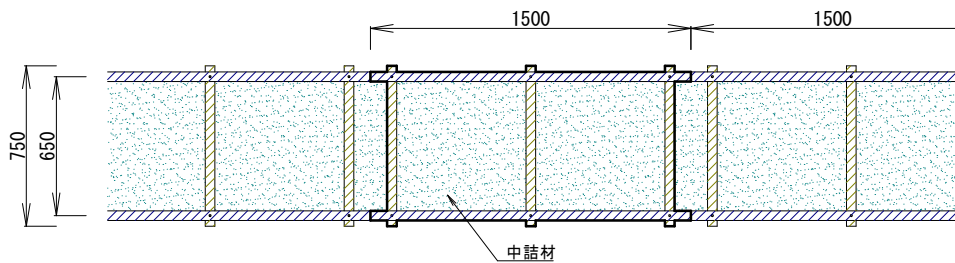
〔正面図〕



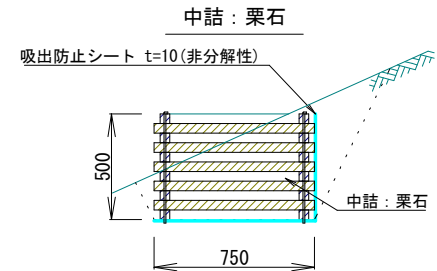
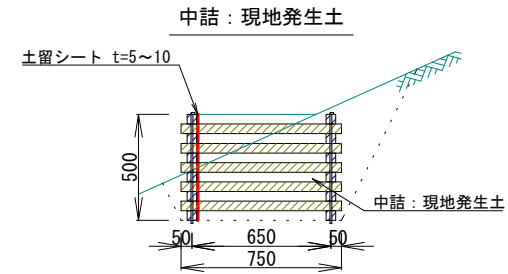
〔背面図〕



〔平面図〕



〔断面図〕



木材の保存処理仕様	
注入前処理	インサイジング+深浸潤特殊・圧縮処理加工
加圧注入処理	JIS A 9002による
保存処理薬剤	マイトレックACQ (JIS K 1570, ACQ-1)
品質規格	吸収量5.2kg/m ³ 以上、浸潤長平均12mm以上 (JAS K4相当)
1基あたり木材使用量	L=1.5m規格：0.0531m ³ , L=0.75m規格：0.0309m ³

木製枠工 数量表

10.0m 当り

名称	規格	数量	備考
(ユニット式・高耐久)木製枠	L=1.5m, H=0.5m, W=75cm	6.67 基	「木材の保存処理仕様」の通り
土留シート	t = 5~10mm	5.4m ²	-
吸出し防止シート	t = 10mm (非分解性)	-	13.4m ²
中詰材	現地発生土砂	2.9m ³	-
	栗石 50~150mm	-	2.7m ³

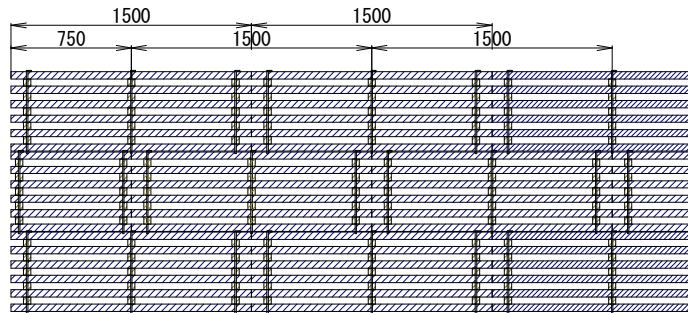
単位 mm

記号	工種	種別
土5-3	土留工	木製枠工

凡例	⑤-③
----	-----

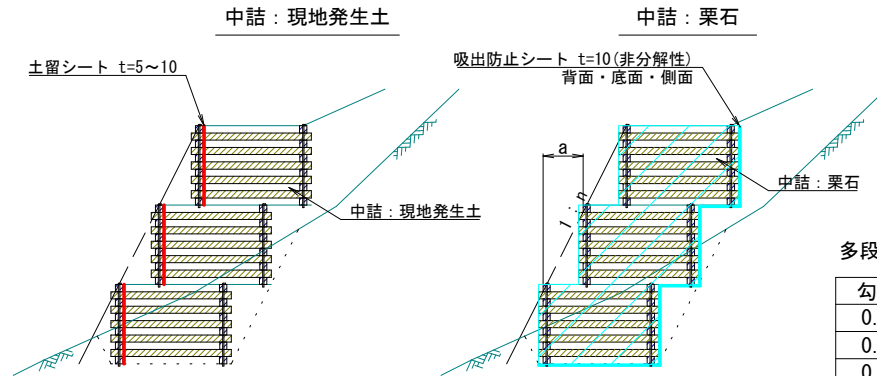
使用例：多段積

〔正面図〕



- ※ 上段下段はちどりで配列
- ※ 端部についてL=0.75mタイプ使用可

〔断面図〕



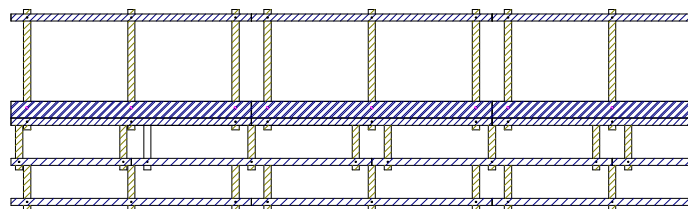
多段積配置寸法表

勾配	a
0.3	150
0.4	200
0.5	250
0.6	300

- ※ 積勾配1:0.5・3段積みの場合
 $\{(0.75m+0.75m \times 3) \times 10m / 3 + 0.375m^2 \times 3\} \times 1.07$ より
 吸出し防止シート 11.9m²/10m 使用

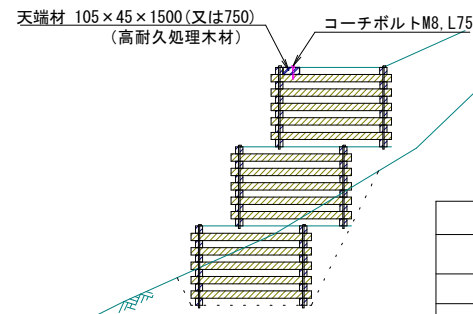
使用例：積雪エリア（グライド対策あり）

〔平面図〕



- ※ 最上段部に天端材を設置
- ※ 天端材は現場にてコーチボルトにより取付ける

〔断面図〕



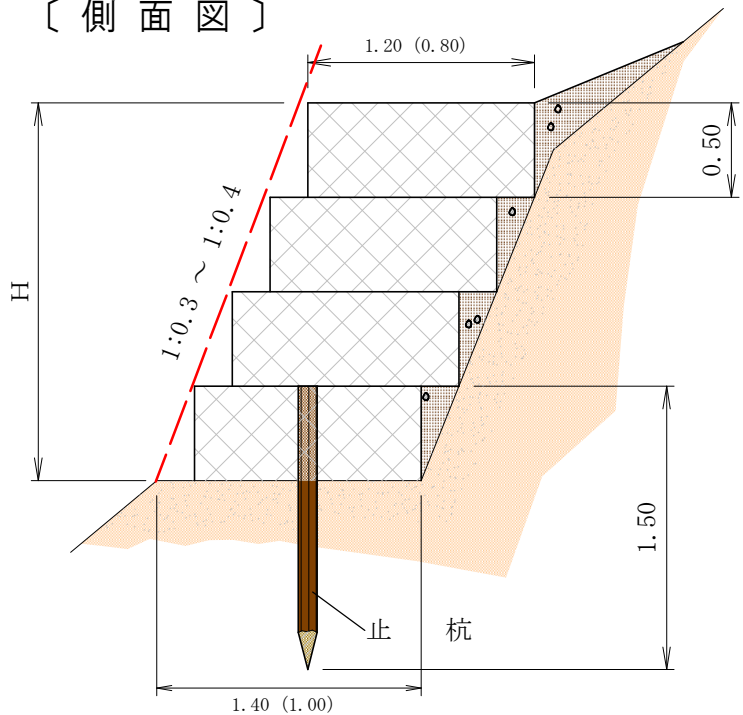
天端材設置 数量表			天端延長10.0m 当り
名称	規格	数量	備考
木製枠用 天端材	105×45×1500	6.67 枚	「木材の保存処理仕様」の通り
コーチボルト	M8, L75	20.0 本	溶融垂鉛めっき

単位 mm

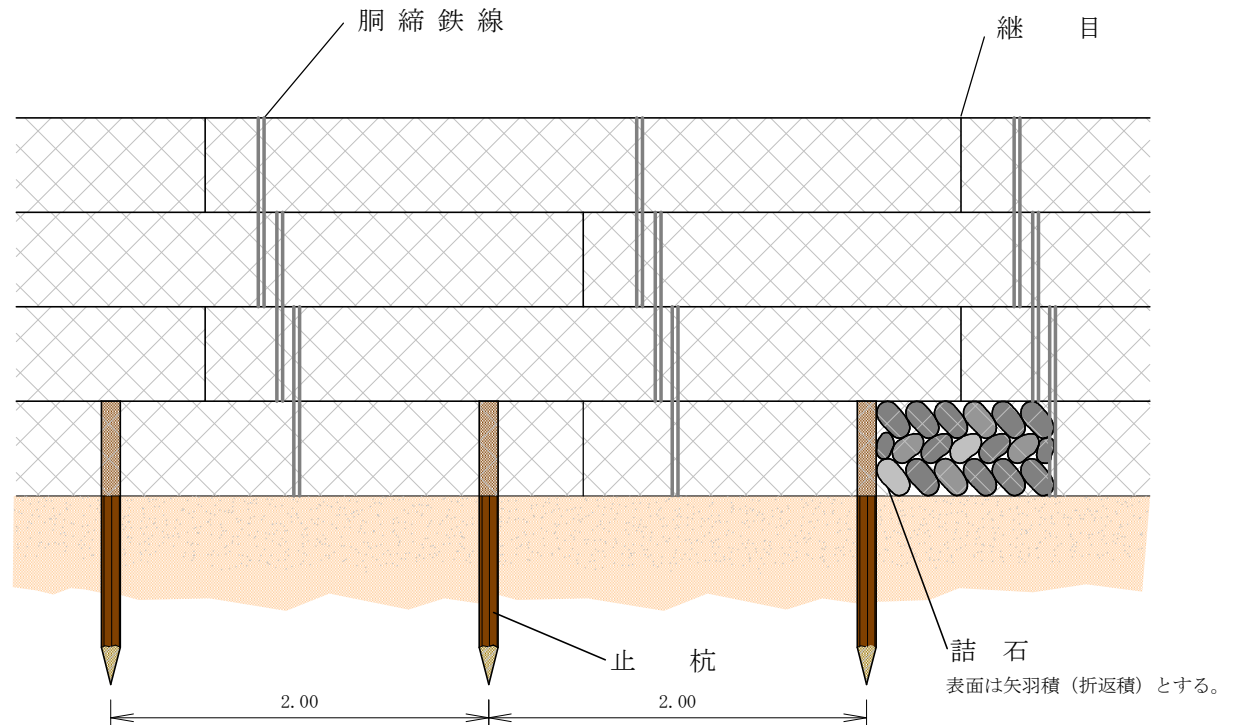
番号	工種	種別
±6-2	土留工	ふとんかご (A)

凡例	⑥-(2)
----	-------

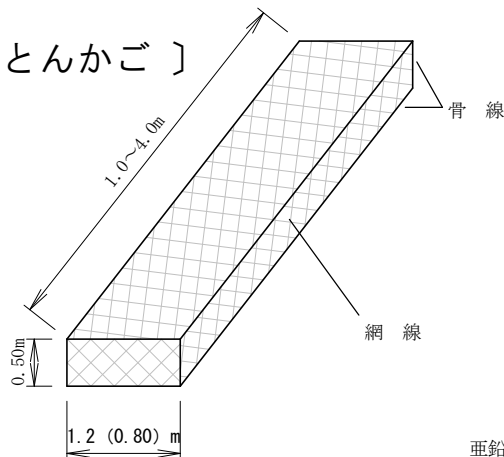
〔側面図〕



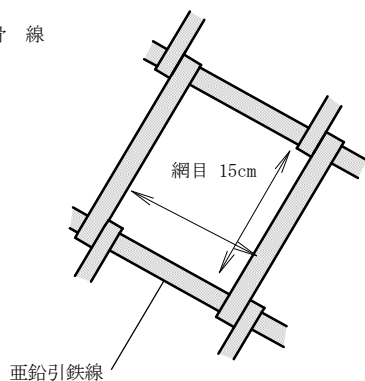
〔正面図〕



〔ふとんかご〕



〔網目〕



※ 直高 (H) は、2 m以下

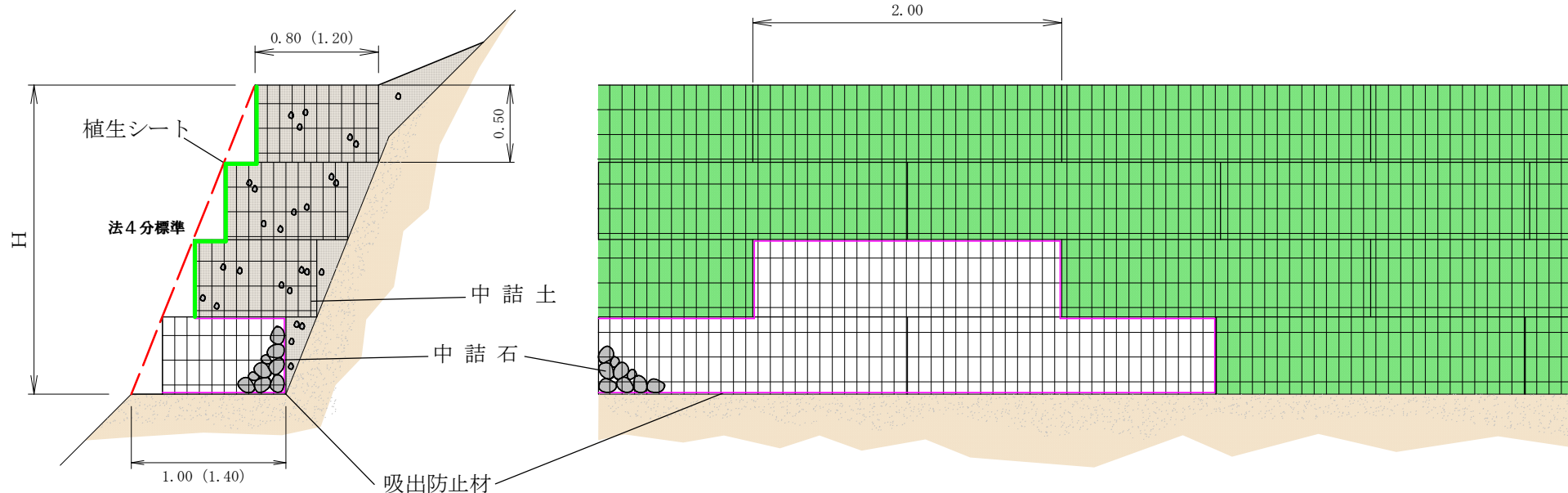
ふとんかご土留工 (A) 数量表			10.0m 当り
名称	規格	数量	備考
ふとんかご	網目15cm なまし #8 (φ4.0mm)	10.0m	
詰石	径 20cm内外	3.8m ³	B=0.8m H=0.5m
		5.7m ³	B=1.2m H=0.5m
止杭	末口径 10cm ・ 長さ1.5m以上	0.08m ³	(5 本)
胴締鉄線	なまし #8 (φ4.0mm)	必要量	

番号	工種	種別
土8-4	土留工	かご枠

凡例	⑧-(4)
----	-------

〔側面図〕

〔正面図〕



- ・石詰の場合、土砂と接する部分に吸出防止材を設ける。
- ・土石の段と石詰の段の間には吸出防止材を設ける。

※ 直高 (H) が 2 m を超える場合は、安定計算をすること。

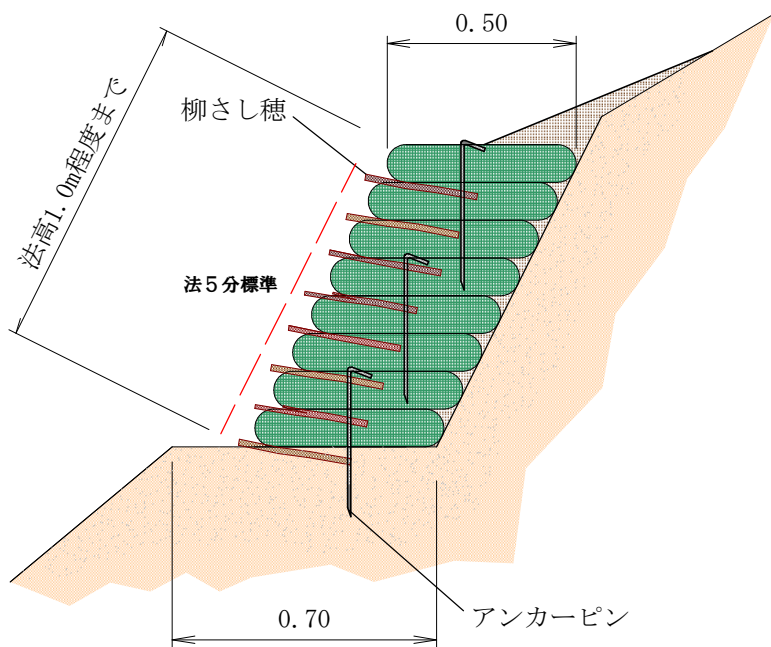
かご枠土留工 (土砂詰)		数量表		10.0m ² 当り
名称	規格	数量	備考	
かご枠	H=0.5m B=0.8 (1.2) m	10.0m ²	植生シートを含む	
中詰土	現地産	8.0m ³	B=0.8m	
		12.0m ³	B=1.2m	

かご枠土留工 (石詰)		数量表		10.0m ² 当り
名称	規格	数量	備考	
かご枠	H=0.5m B=0.8 (1.2) m	10.0m ²		
中詰石	径20 c m内外	7.6m ³	B=0.8m	
		11.4m ³	B=1.2m	
吸出防止材	厚1.0cm	必要量		
適用 ・背面に湧水がある場合や流水に接する箇所。 ・中詰に土砂を確保することができない場合。				

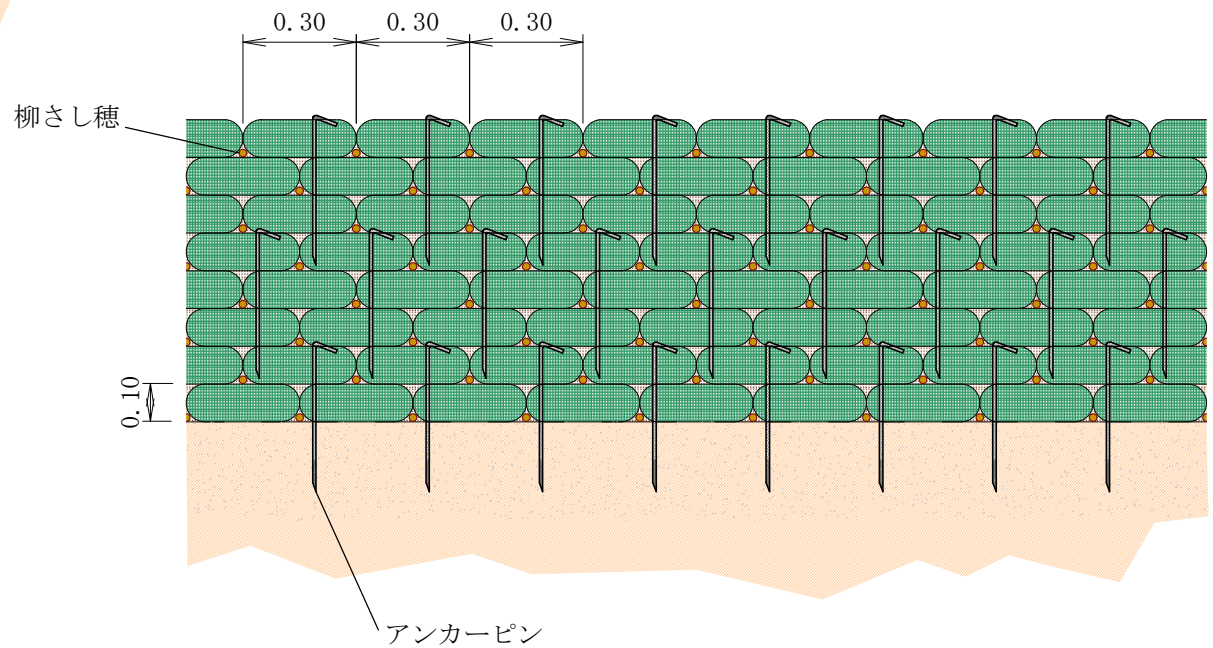
番号	工種	種別
土13	土留工	植生土のう積

凡例	(13)
----	------

〔側面図〕



〔正面図〕

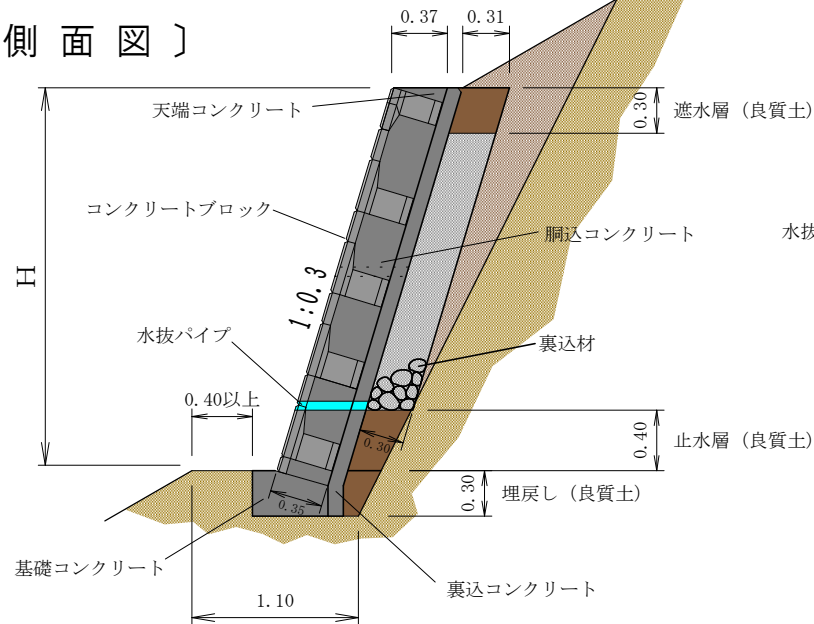


植生土のう積土留工 数量表			1.0m2 当り
名 称	規 格	数 量	備 考
植 生 土 の う	仕上寸法 0.5 * 0.3 * 0.1m	30.0 枚	
柳 さ し 穂	径 2cm程度 ・ 長さ 30cm程度	30.0 本	
中 詰 土	現 地 産	0.54m3	(0.45m3)
ア ン カ ー ピ ン	φ9.0mm 長さ 400mm フック付	10.0 本	

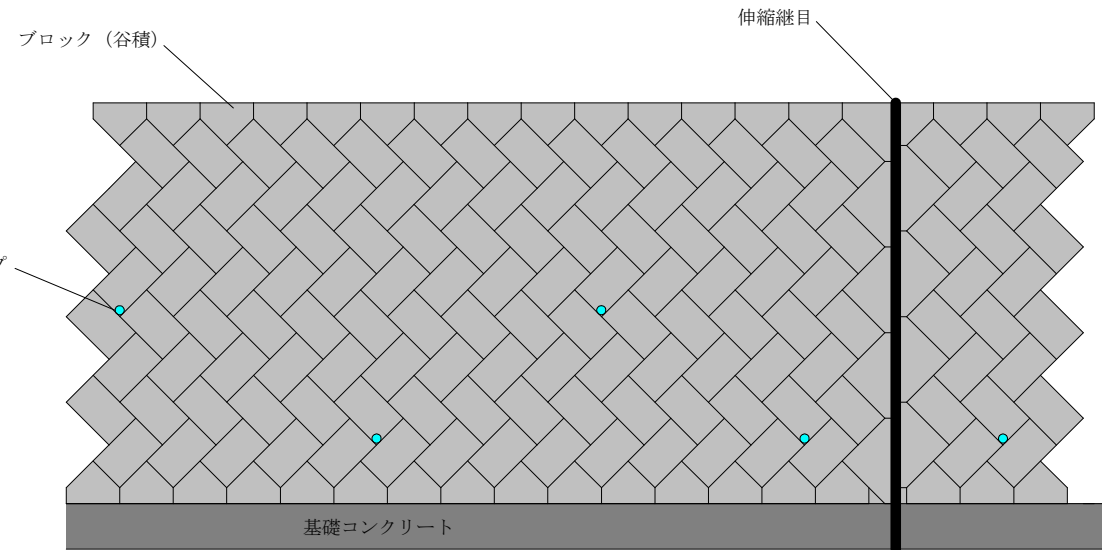
番号	工種	種別
土14	土留工	練ブロック積

凡例	⑭
----	---

〔側面図〕

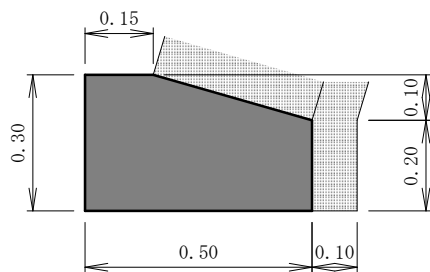


〔正面図〕

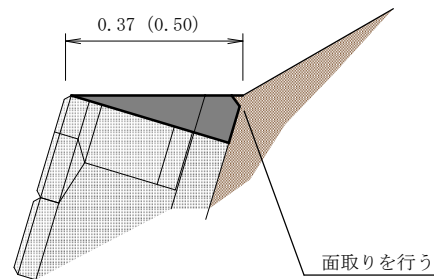


〔拡大図〕

基礎コンクリート



天端コンクリート



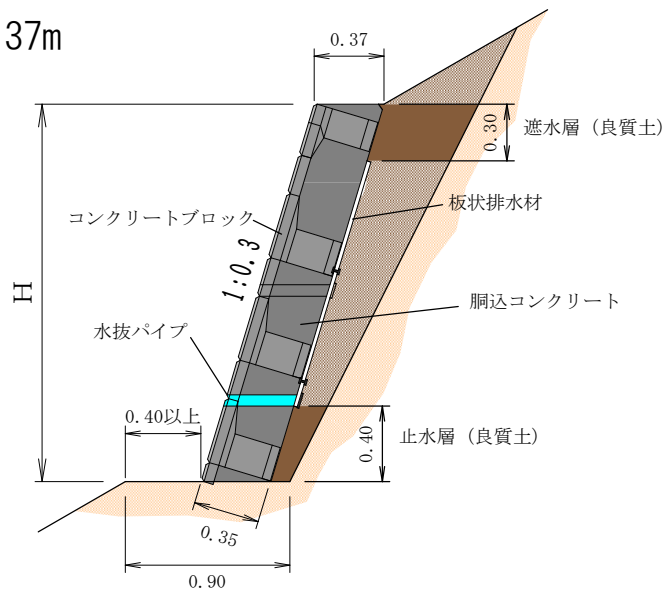
練ブロック積土留工 数量表			1.0m ² 当り
名称	規格	数量	備考
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00m ²	
胴込コンクリート	18-8-25 N BB	0.25m ³	(0.22m ³)
裏込コンクリート	18-8-25 N BB	0.11m ³	(0.10m ³)
天端コンクリート	18-8-25 N BB	0.03m ³	(0.03m ³)
裏込材 (クラッシュラン)	径 5 ~ 15cm	0.34m ³	(0.30m ³)
水抜パイプ	塩ビ管 VU φ50mm 長0.50m	0.33本	3m ² に1箇所標準
伸縮継目	厚さ10mm 各種	必要量	

基礎コンクリート 数量表			1.0m 当り
名称	規格	数量	備考
基礎コンクリート	18-8-25 N BB	0.14m ³	(0.13m ³)

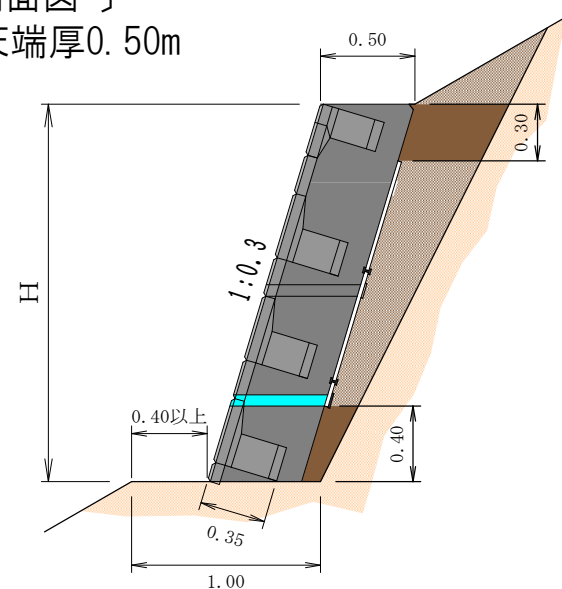
番号	工種	種別
±14-1	土留工	練ブロック積 (板状排水材)

凡例	(14)-(1)
----	----------

〔側面図〕
天端厚0.37m

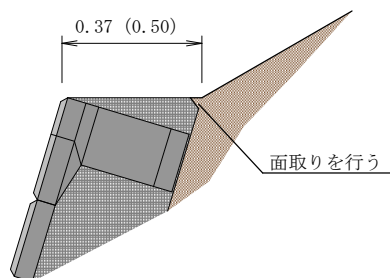


〔側面図〕
天端厚0.50m



〔拡大図〕
天端部分

※板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。



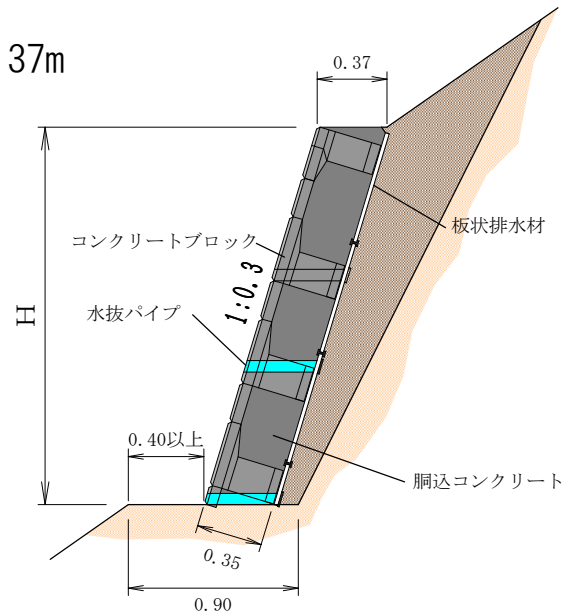
練ブロック積 (土留工・間詰工) 幅0.37 [0.50]		数量表		1.0m2 当り
名称	規格	数量	規格	
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00 m2		
胴込コンクリート	18-8-25N	0.25 [0.39] m3	(0.22) [(0.35)] m3	
水抜パイプ	塩ビ管VU φ50mm 長0.40 [0.50] m	1.00 本	3m2に1箇所標準	
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	必要量		
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量		

番号	工種	種別
±14-2	土留工	練ブロック積 (板状排水材)

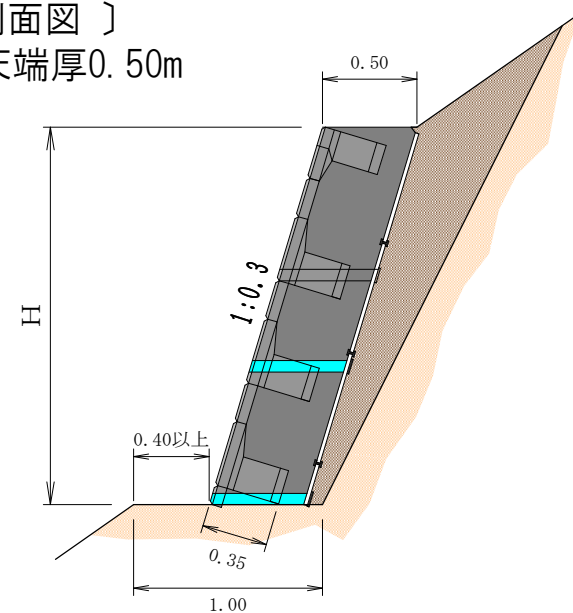
凡例	(14)-(2)
----	----------

良質土を確保することが出来ない場合

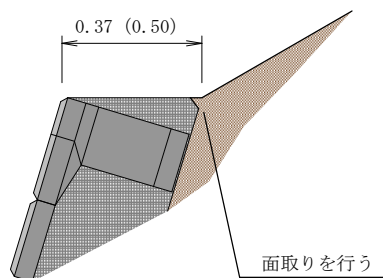
〔側面図〕
天端厚0.37m



〔側面図〕
天端厚0.50m



〔拡大図〕
天端部分



※1 板状排水材を切断使用する場合は、基本的に最下段で調整する。また切断面は被覆する。

※2 水抜パイプは必ず最下部に設置する。ただし流水の逆流が懸念される場合は、低水位以上に設置する。

練ブロック積 (土留工・間詰工) 幅0.37 [0.50]		数量表 1.0m ² 当り	
名称	規格	数量	規格
コンクリートブロック	控え 35cm	1.00 m ²	
胴込コンクリート	18-8-25N	0.25 [0.39] m ³	(0.22) [(0.35)] m ³
水抜パイプ	塩ビ管VU φ50mm	0.50 本	土留工: 2m ² に1箇所標準
	長0.40 [0.50] m	1.00 本	間詰工: 1m ² に1箇所標準
板状排水材	厚7mm 幅30・60cm	1.00 m ²	
伸縮継目	厚10mm 各種	必要量	

限界直高適用表 1

施工地域：長野県内全域・富山県東部・愛知県内全域

NW-Cコンクリート（もたれ）

適用番号：土4-1

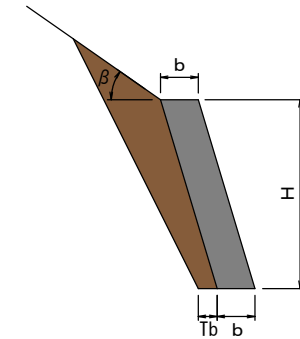
NW-Bコンクリートブロック（もたれ）

適用番号：土1・土14-1, 2

限界直高適用表 1-① 止水・遮水層は良質土φ30°を使用する場合

数値（H）は限界直高

基礎地盤	砂質・普通土：f=0.6						礫層・岩砕：f=0.7					
背面土	砂質・普通土：φ30°			礫質土他：φ32°			砂質・普通土：φ30°			礫質土他：φ32°		
番号	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
β 0°	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00	3.00	2.50	3.00
β 10°	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
β 25°	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
β 30°	1.50	1.50	2.50	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
β 35°	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



限界直高適用表 1-② 良質土を確保することが出来ない場合

数値（H）は限界直高

基礎地盤	砂質・普通土：f=0.6						礫層・岩砕：f=0.7					
背面土	砂質・普通土：φ30°			礫質土：φ35°			砂質・普通土：φ30°			礫質土：φ35°		
番号	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
β 0°	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.50	3.00	3.00	3.00	—
β 10°	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	3.00	3.00	—
β 25°	2.00	1.50	2.50	2.50	2.50	3.00	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00
β 30°	1.50	1.50	2.50	2.50	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
β 35°	—	—	—	2.50	2.00	3.00	—	—	—	2.50	2.50	3.00

〔 設計条件 〕

h：壁高 3.0m以下

b：天幅厚 0.37~0.5m

n：表のり 1：0.3

m：裏のり 1：-0.3

Ts：掘削勾配 1：0.5

Tb：余堀幅 0.1m

ω：壁体単位体積重量 22.6KN/m³

s：背面土単位体積重量 18.0KN/m³

β：地表面傾斜角 35°以下

φ：背面土内部摩擦角 30~40°

Qa：許容地耐力 200KN/m²

限界直高適用表 2

施工地域：岐阜県内全域・富山県西部

NW-Cコンクリート（もたれ）

適用番号：土4-1

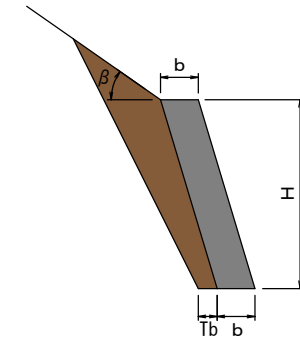
NW-Bコンクリートブロック（もたれ）

適用番号：土1・土14-1, 2

限界直高適用表 2-① 止水・遮水層は良質土φ30°を使用する場合

数値（H）は限界直高

基礎地盤	砂質・普通土：f=0.6						礫層・岩砕：f=0.7					
背面土	砂質・普通土：φ30°			礫質土他：φ32°			砂質・普通土：φ30°			礫質土他：φ32°		
番号	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1①	土1①, 14-1	土14-1	土4-1	土1①, 14-1	土14-1	土4-1②	土1①, 14-1	土14-1
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
β 0°	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
β 10°	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
β 25°	1.50	1.50	2.50	2.00	2.00	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
β 30°	1.50	1.50	2.50	2.00	1.50	2.50	2.00	2.00	3.00	2.50	2.00	3.00
β 35°	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



〔 設計条件 〕

h：壁高 3.0m以下

b：天幅厚 0.37～0.5m

n：表のり 1：0.3

m：裏のり 1：-0.3

Ts：掘削勾配 1：0.5

Tb：余堀幅 0.1m

ω：壁体単位体積重量 22.1KN/m³

s：背面土単位体積重量 18.0KN/m³

β：地表面傾斜角 35°以下

φ：背面土内部摩擦角 30～40°

Qa：許容地耐力 200KN/m²

限界直高適用表 2-② 良質土を確保することが出来ない場合

数値（H）は限界直高

基礎地盤	砂質・普通土：f=0.6						礫層・岩砕：f=0.7					
背面土	砂質・普通土：φ30°			礫質土：φ35°			砂質・普通土：φ30°			礫質土：φ35°		
番号	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2	土4-1②	土1②, 14-2	土14-2
傾斜角	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m	b 0.40m	b 0.37m	b 0.50m
β 0°	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	3.00	3.00	—
β 10°	2.00	1.50	2.50	3.00	2.50	3.00	2.50	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00
β 25°	1.50	1.50	2.50	2.50	2.50	3.00	2.00	2.00	3.00	3.00	2.50	3.00
β 30°	1.50	1.50	2.50	2.50	2.00	3.00	2.00	2.00	3.00	2.50	2.50	3.00
β 35°	—	—	—	2.50	2.00	3.00	—	—	—	2.50	2.50	3.00

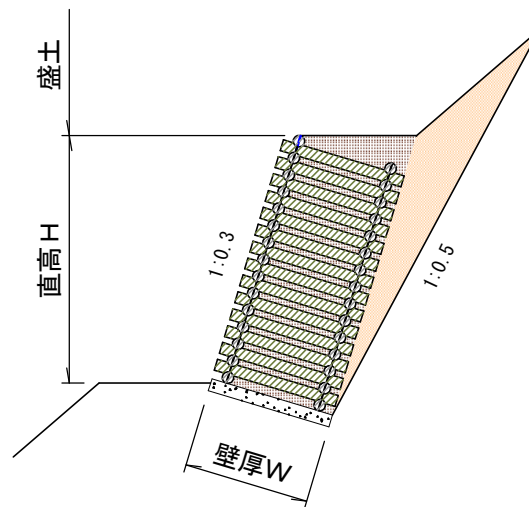
限界直高適用表 3 (木製校倉式土留工)

数値 (H) は限界直高

背面土 控長 傾斜角	砂質・普通土 : $\phi 30^\circ$		礫質土 : $\phi 35^\circ$	
	W0.7m	W1.0m	W0.7m	W1.0m
$\beta 0^\circ$	1.96	3.04	1.96	3.04
$\beta 10^\circ$	1.96	3.04	1.96	3.04
$\beta 25^\circ$	1.56	2.50	1.96	3.04
$\beta 30^\circ$	—	1.56	1.96	3.04
$\beta 35^\circ$	—	—	—	1.96

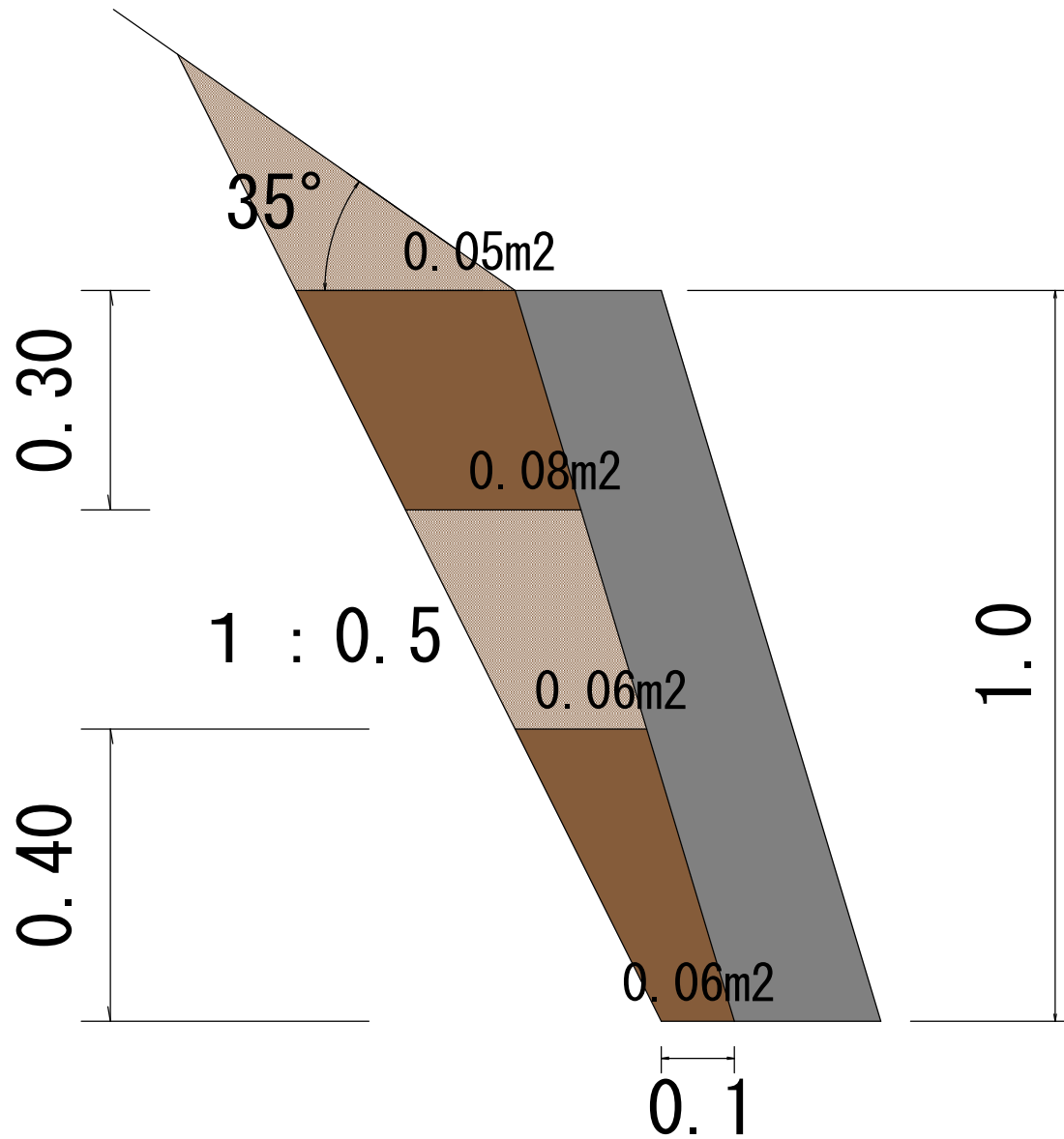
※H=3.04mをこえる場合は別途検討
 ※W=1.0mをこえる場合は別途検討

基本条件 適用番号 : 土5-2



- H : 壁高 3.04m以下
- W : 壁厚 0.7mまたは1.0m
- n : 表のり 1 : 0.3
- m : 裏のり 1 : -0.3
- Ts : 掘削勾配 1 : 0.5
- Tb : 余堀幅 0.0m
- ω : 木材単位体積重量 8.0KN/m³
- s : 背面土単位体積重量 18.0KN/m³
- 中詰土 : 現地発生土 18.0KN/m³
- β : 地表面傾斜角 35° 以下
- ϕ : 背面土内部摩擦角 30~35°
- f : 基礎地盤摩擦係数 0.6~0.7
- Qa : 許容地耐力 200KN/m²

止水・遮水層を施工した場合の背面土の内部摩擦角



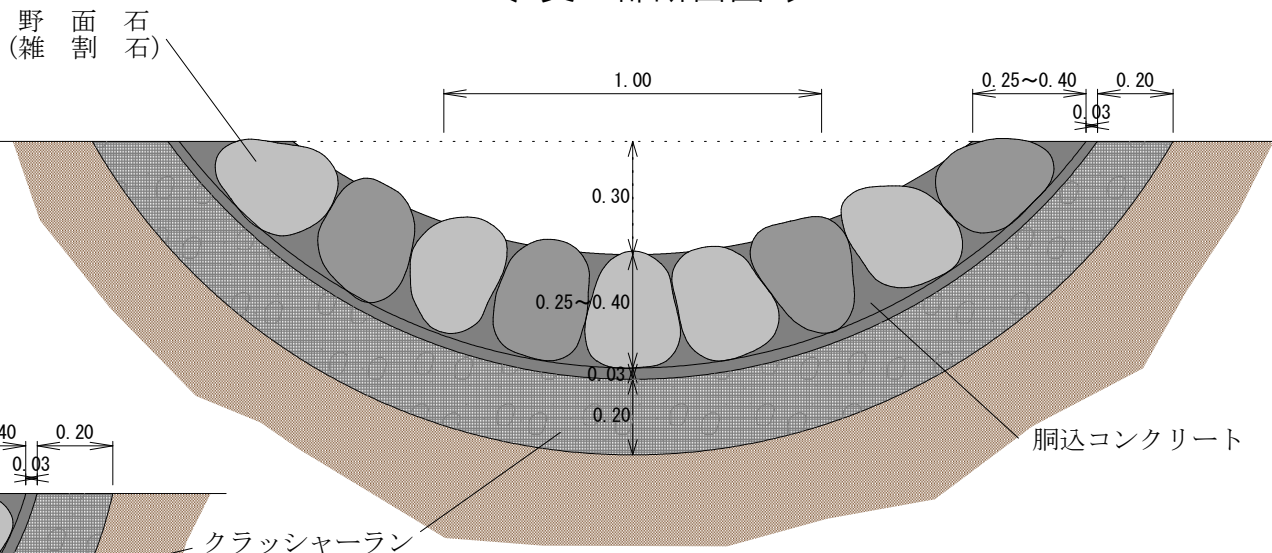
$$\left((0.05+0.06) \times 35 + (0.08+0.06) \times 30 \right) \div (0.05+0.06+0.08+0.06) = 32.2^\circ$$

∴ 32°

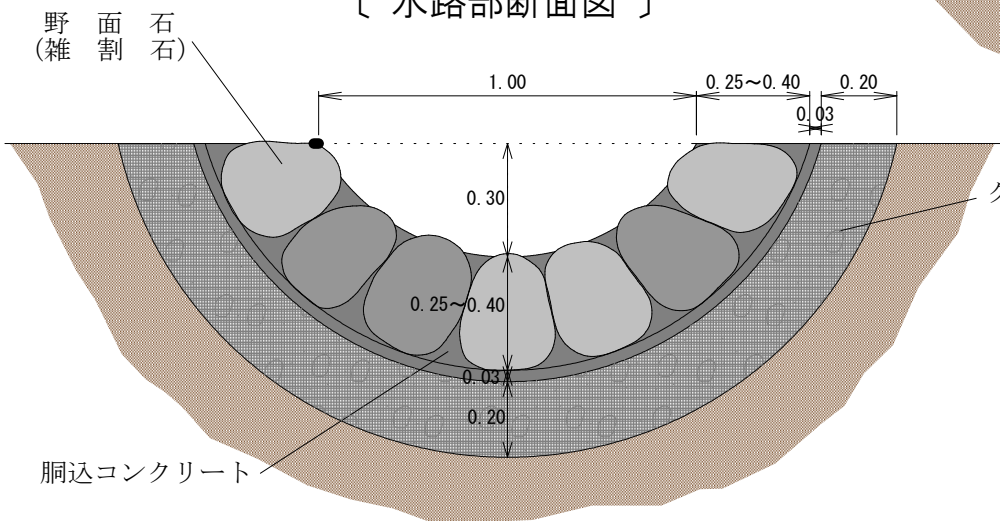
番号	工種	種別
水1	水路工	練石張

凡例	①
----	---

〔受口部断面図〕



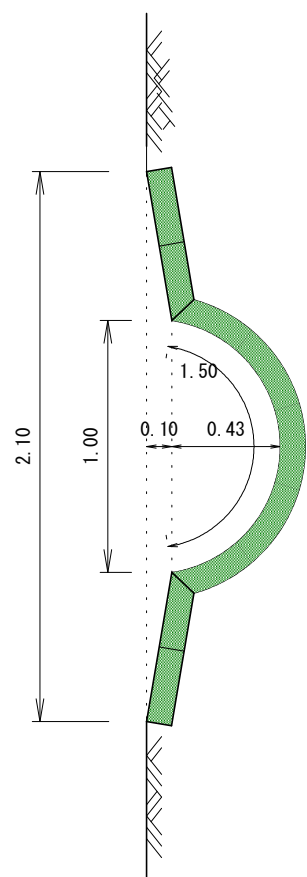
〔水路部断面図〕



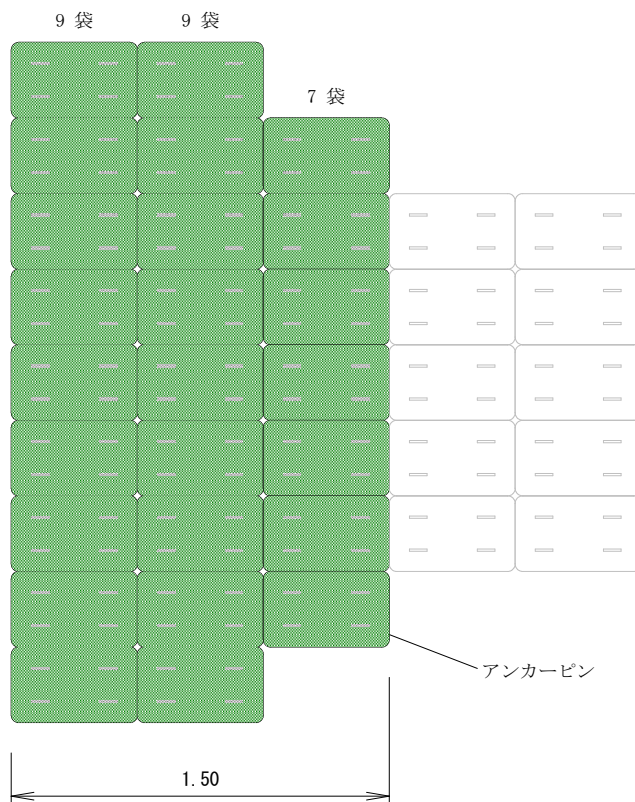
名称	規格	練石張水路工 数量表 1.0m 当り				練石張水路工 (受口) 数量表 1箇所 当り				備考		
		控長 0.25m	控長 0.30m	控長 0.35m		控長 0.40m	控長 0.25m	控長 0.30m	控長 0.35m		控長 0.40m	
野面石	25cm~40cm	36 個	24 個	18 個	—	14 個	101個	68 個	40 個	—	39 個	
雑割石	35cm	—	—	—	18 個	—	—	—	—	51 個	—	
胴込コンクリート	18-8-25 N	0.19 m3	0.22 m3	0.27 m3	0.33 m3	0.33 m3	0.32 m3	0.37 m3	0.51 m3	0.41 m3	0.47 m3	ロス率含む
クラッシャーラン	径40mm以下	0.52 m3	0.55 m3	0.59 m3		0.60 m3	1.78 m3	1.88 m3	1.93 m3		2.05 m3	ロス率含む

番号	工種	種別
水11-1	水路工	植生土のう(A)

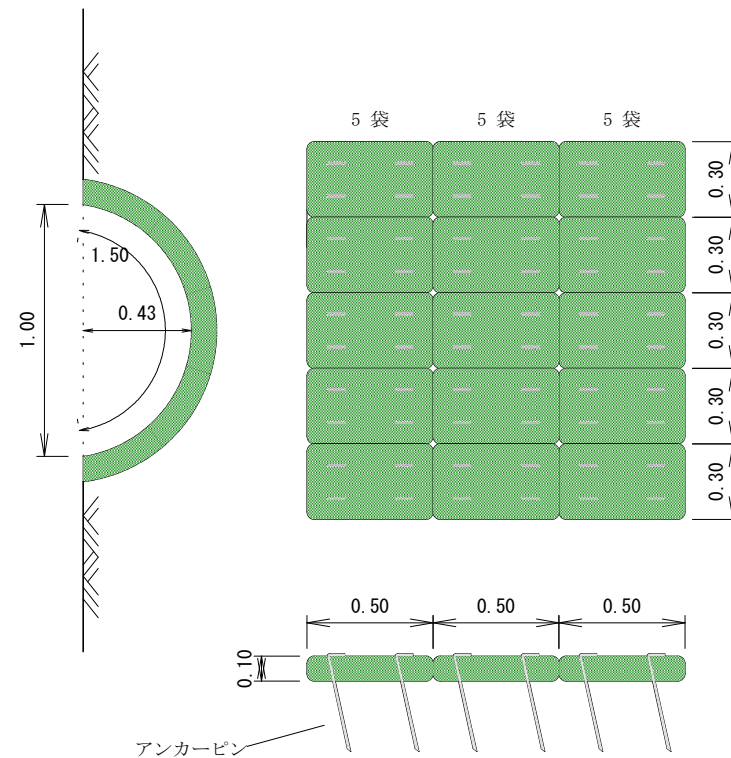
凡例	⑪ - (2)
----	---------



〔受口〕



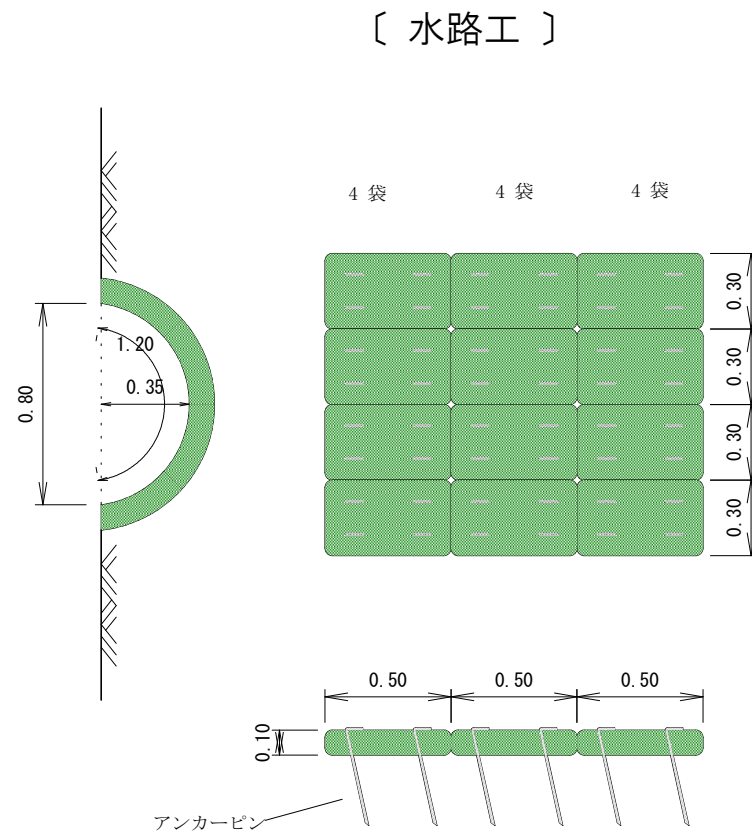
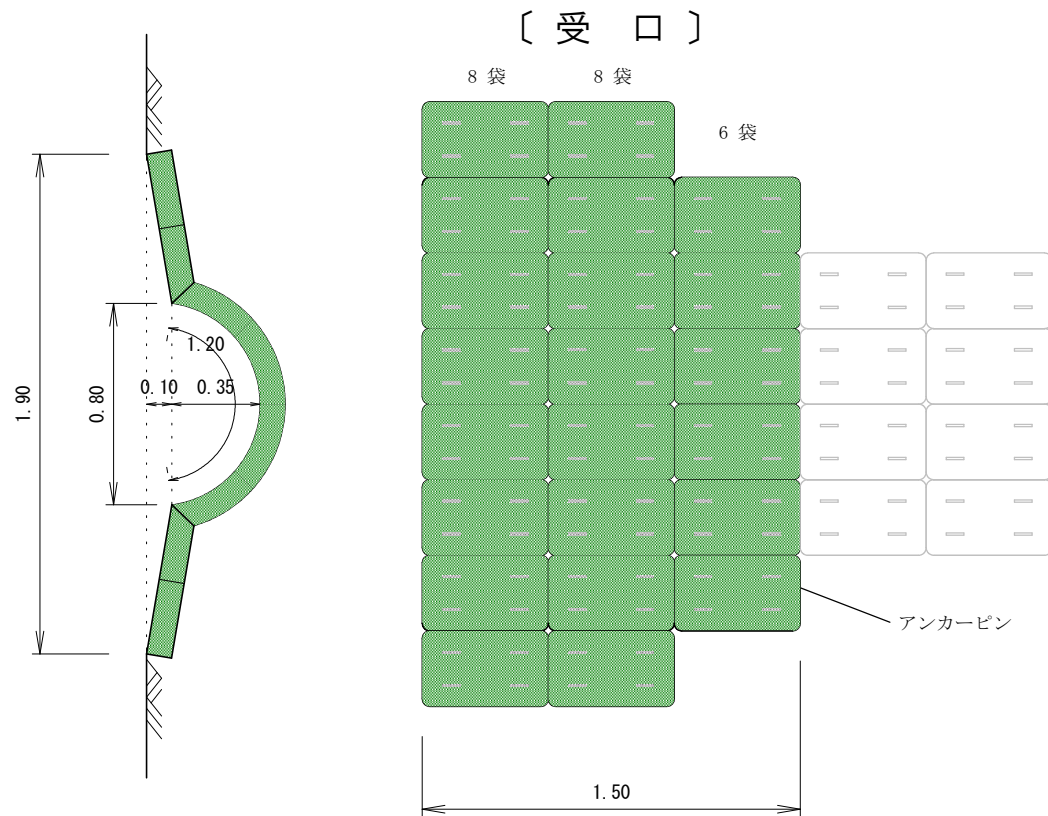
〔水路工〕



植生土のう水路工 (A) 数量表				10.0m 当り		(A) 受口 1箇所 当り	
名称	規格	数量	備考	数量	備考	数量	備考
植生土のう	0.3 * 0.5 * 0.1m	100.0袋				25.0袋	
アンカーピン	φ9mm ・ 長さ 400mm フック付	400.0本		4本/1袋		100.0本	4本/1袋
中詰土		1.80m ³		(1.50m ³)		0.46m ³	(0.38m ³)

番号	工種	種別
水11-2	水路工	植生土のう(B)

凡例	⑪ - (2)
----	---------

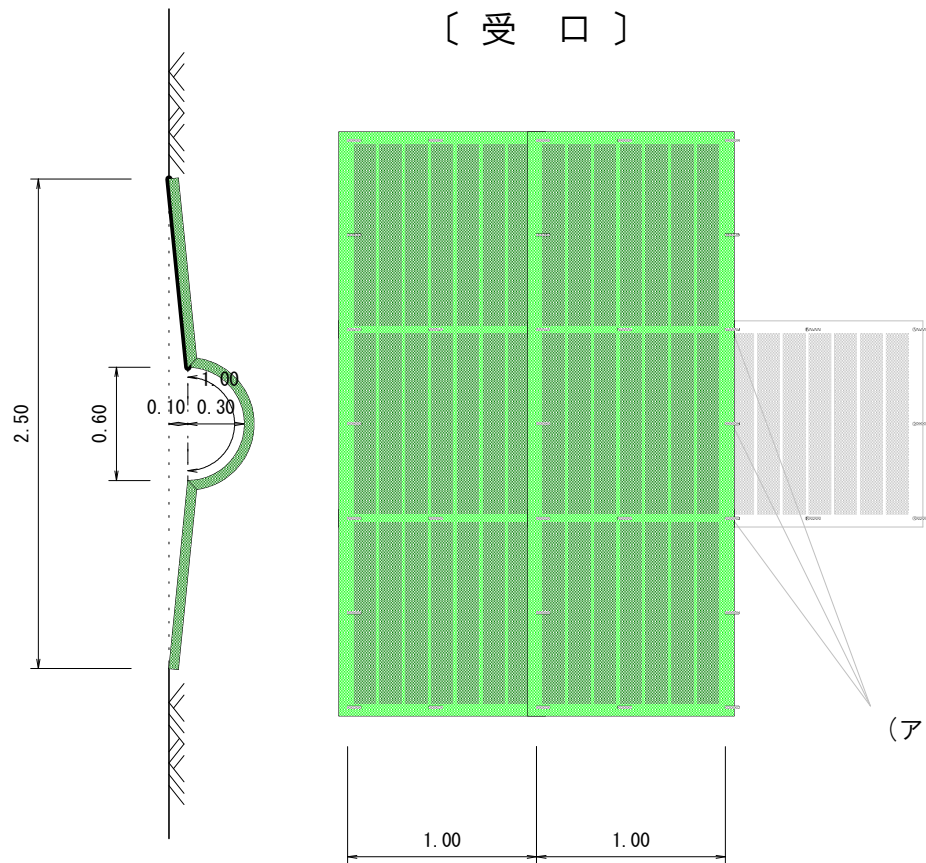


植生土のう水路工 (B) 数量表				(B) 受口	
10.0m 当り				1箇所 当り	
名 称	規 格	数 量	備 考	数 量	備 考
植生土のう	0.3 * 0.5 * 0.1m	80.0袋		22.0袋	
アンカーピン	φ9mm ・ 長さ 400mm フック付	320.0本	4本/1袋	88.0本	4本/1袋
中 詰 土		1.44m ³	(1.20m ³)	0.40m ³	(0.33m ³)

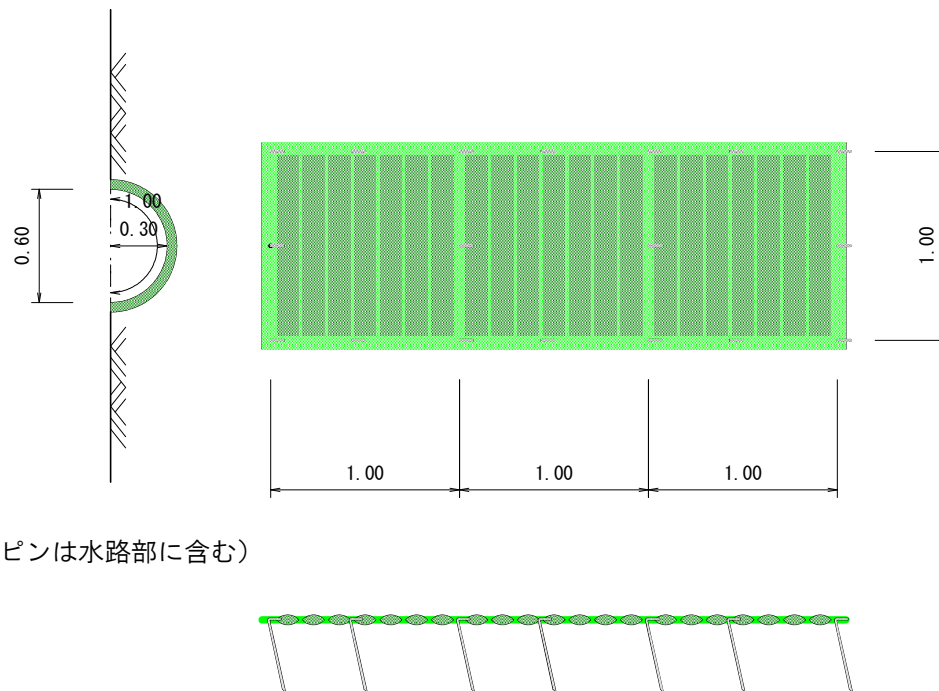
番号	工種	種別
水12-2	水路工	軽量植生シート

凡例	⑫- (2)
----	--------

〔受口〕



〔水路工〕

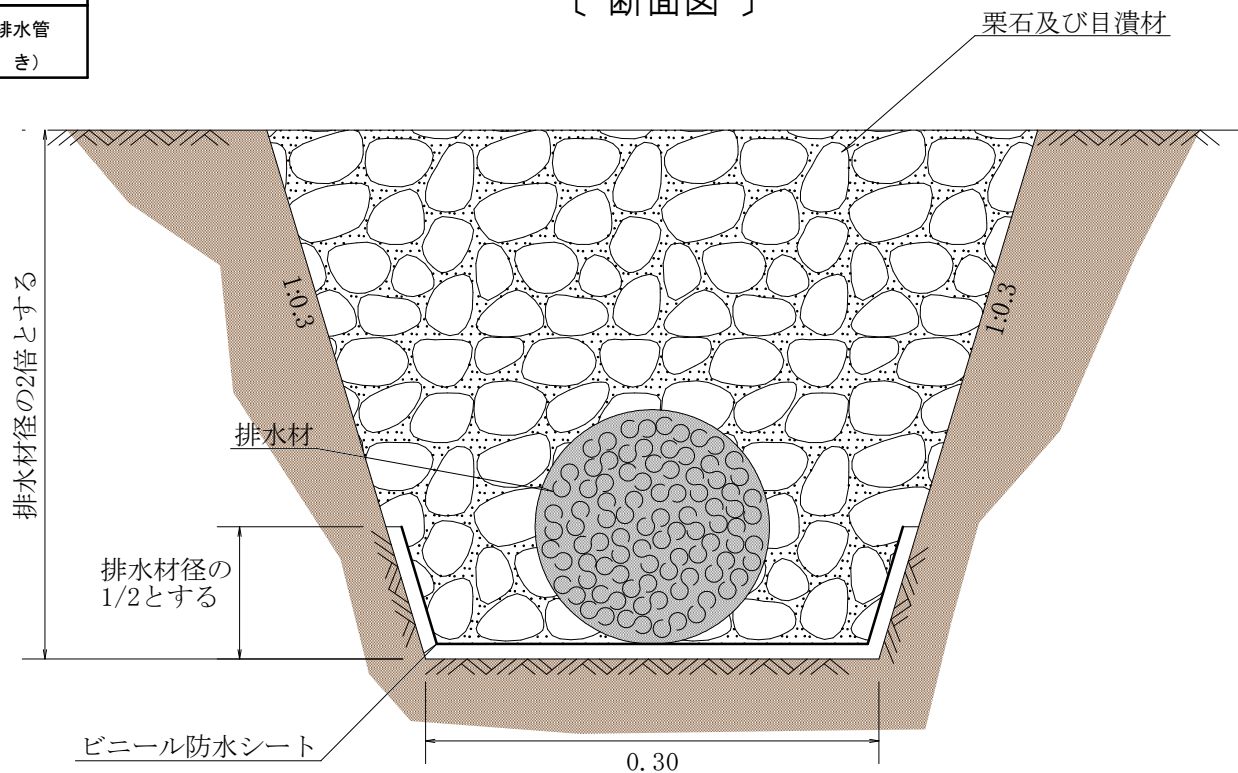


軽量植生シート 水路工			数量表		10.0m 当り		受口		1箇所 当り	
名称	規格	数量	備考	数量	備考					
植生シート	1.0m * 1.0m	10.0枚		6.0枚						
アンカーピン	φ 9mm ・ 長さ 400mm フック付	53.0本		26.0本						

番号	工種	種別
暗Ⅰ	暗渠工	結束排水管 (れき)

凡例	
----	--

〔断面図〕



結束暗渠工数量表

名称	規格	数量		
		径10cm	径15cm	径20cm
排水材	S型 硬質塩化ビニール樹脂 4.0m×25mm×17mm×0.7mm	(13本) 130.0m	(33本) 330.0m	(57本) 570.0m
ジョイントテープ	軟質塩化ビニール製 幅150mm	0.84m	1.25m	1.61m
栗石	径 5~15cm	0.73(0.64)m ³	1.13(0.99)m ³	1.56(1.37)m ³
目潰材	径 0~5cm	0.15(0.13)m ³	0.23(0.20)m ³	0.31(0.27)m ³
ビニール防水シート	厚 0.4mm	4.25m ²	4.79m ²	5.34m ²

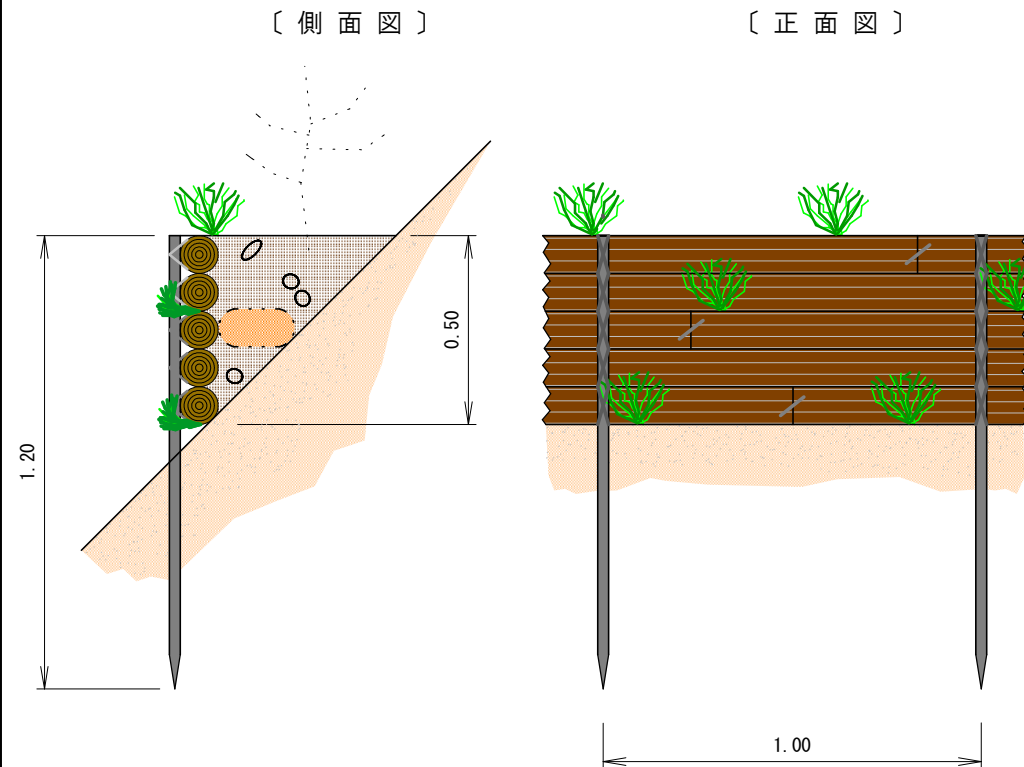
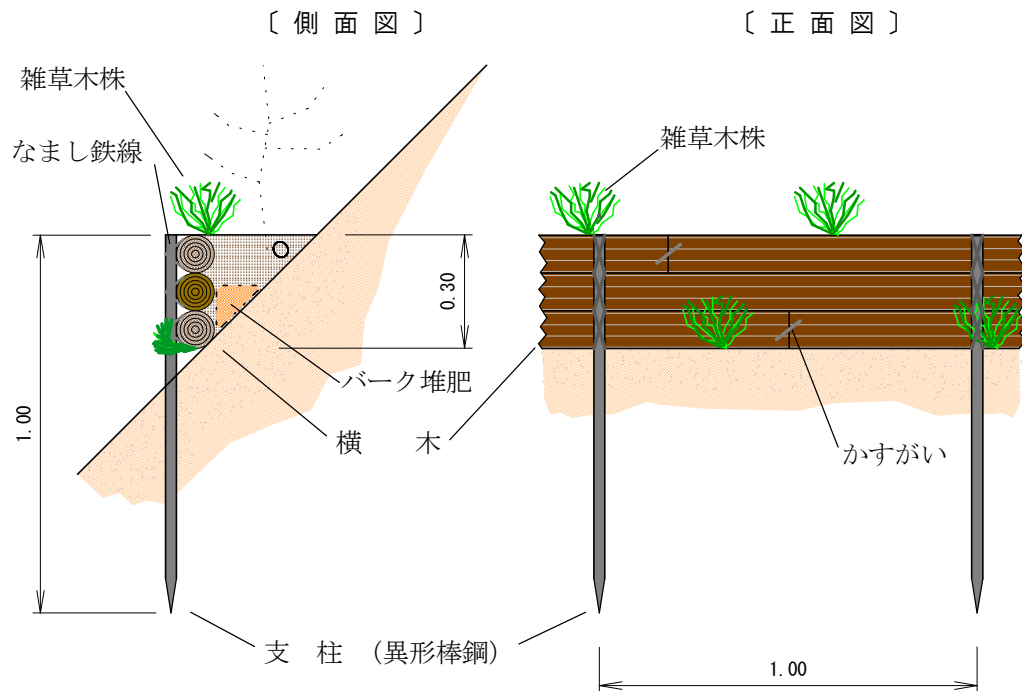
注:栗石・目潰材の()書は、現地採取の場合に使用

番号	工種	種別
柵1	柵工	丸太

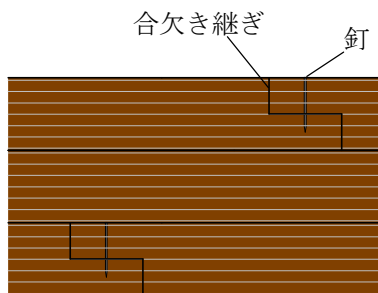
丸太柵工 [3段]

丸太柵工 [5段]

凡例	
----	--



継目の拡大図 (釘の場合)



丸太柵工 [3段/5段]

数量表

10.0m 当り

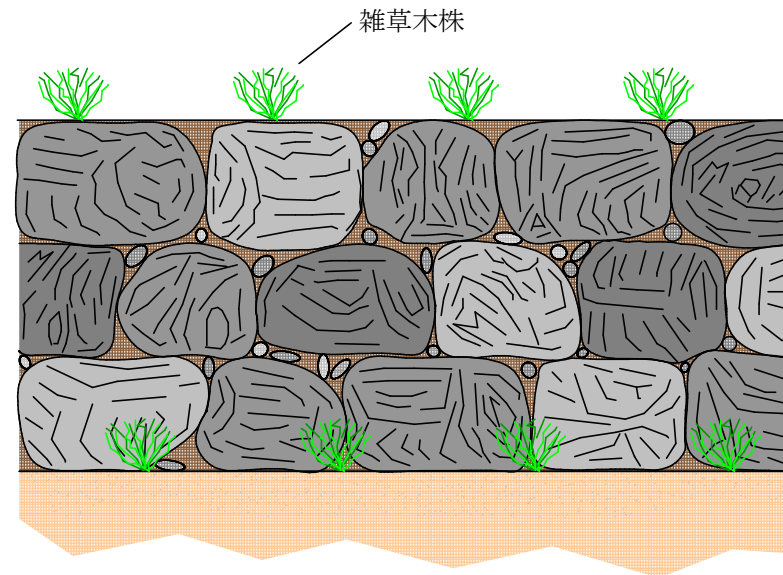
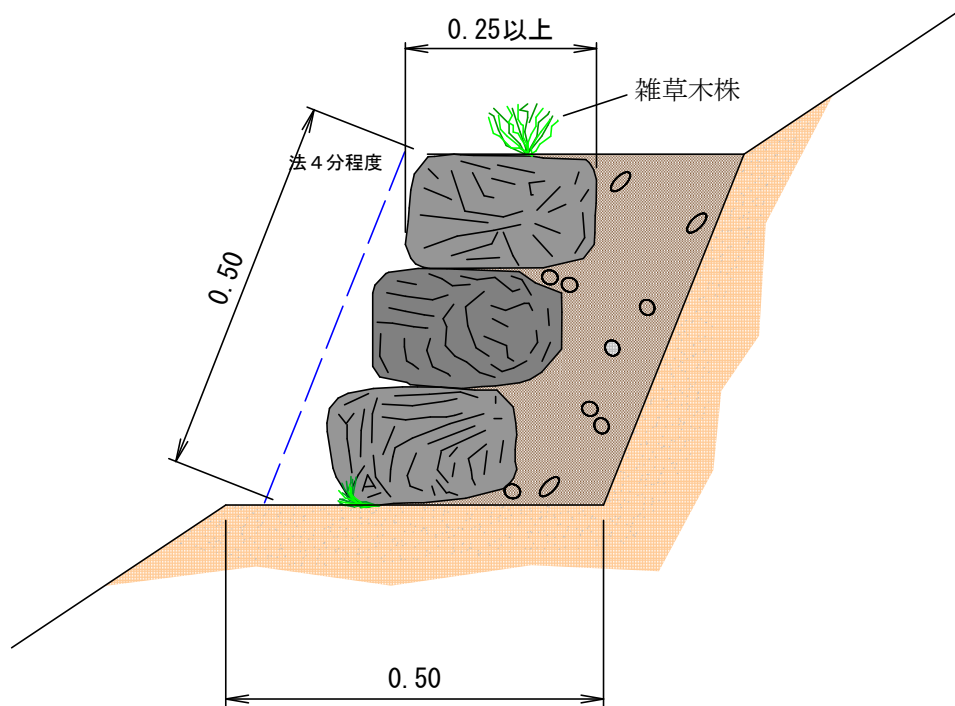
名称	規格	H=0.3m		H=0.5m	
		数量	備考	数量	備考
横木	径 10cm内外 ・ 長さ 3.0 ~ 4.0m	7.5本	0.30m ³	12.5本	0.50m ³
支柱	異形棒鋼 D29	10.0本	L= 1.0m	10.0本	L= 1.2m
鉄線	なまし φ3.2mm	3.0kg		5.0kg	
かすがい (釘)	φ9.0×150mm (N75)	6.0本		10.0本	
雑草木株	長さ 30cm ・ 打違 1.0m縄	1.0束		1.0束	
(バーク堆肥)		(10.0kg)	植栽計画のある場合	(10.0kg)	植栽計画のある場合

番号	工種	種別
筋1	筋工	石

凡例	①
----	---

〔側面図〕

〔正面図〕

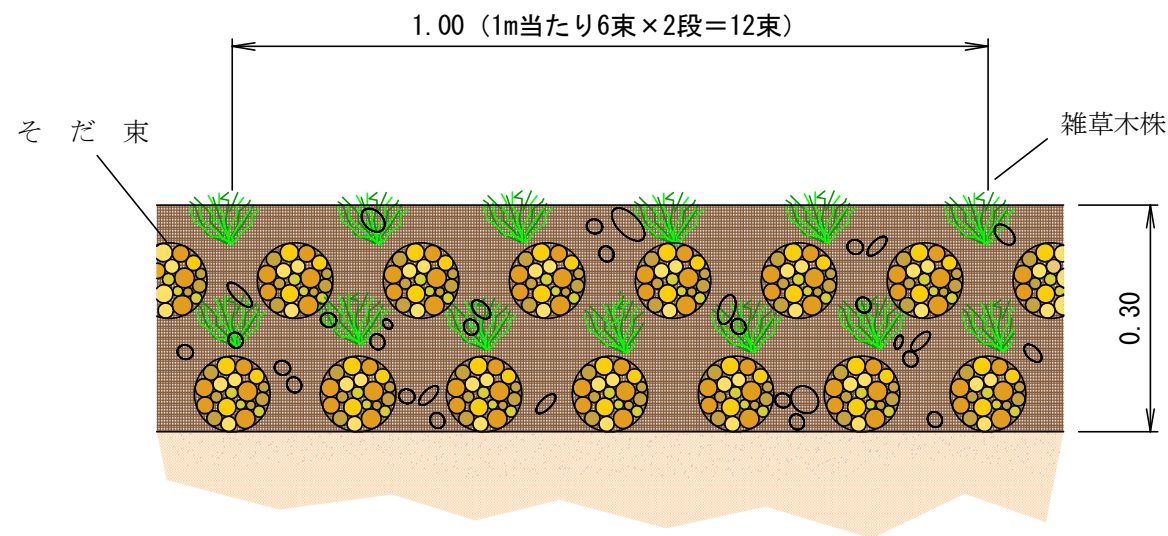
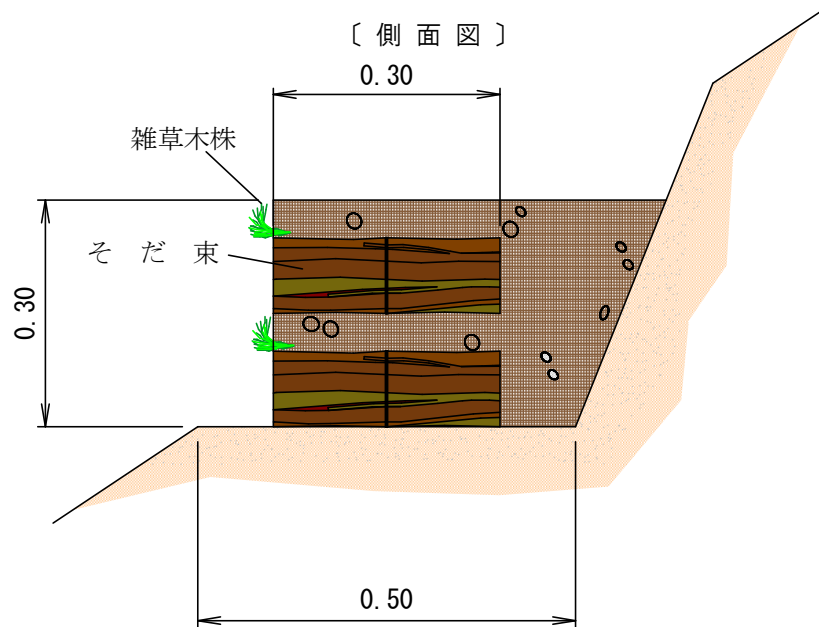


石筋工数量表			10.0m 当り
名称	規格	数量	備考
雑石	控 25cm 以上	5.0m ²	
雑草木株	茎長 30cm ・ 打違 1.0m 縄	4.0束	基礎 2束 天端 2束使い

番号	工種	種別
筋5	筋工	そだ

凡例	⑤
----	---

〔正面図〕

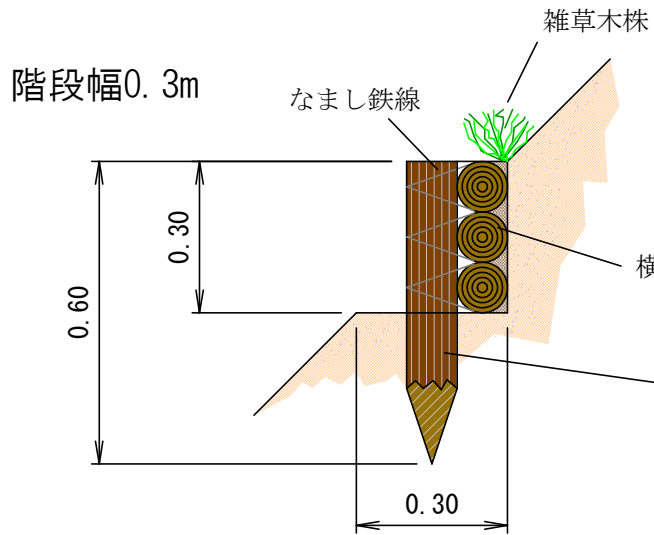


そだ筋工 数量表			10.0m 当り
名称	規格	数量	備考
そだ	長さ 30cm 径10cm に結束	120.0束	
雑草木株	茎長 30cm ・ 打違 1.0m 縄	3.0束	

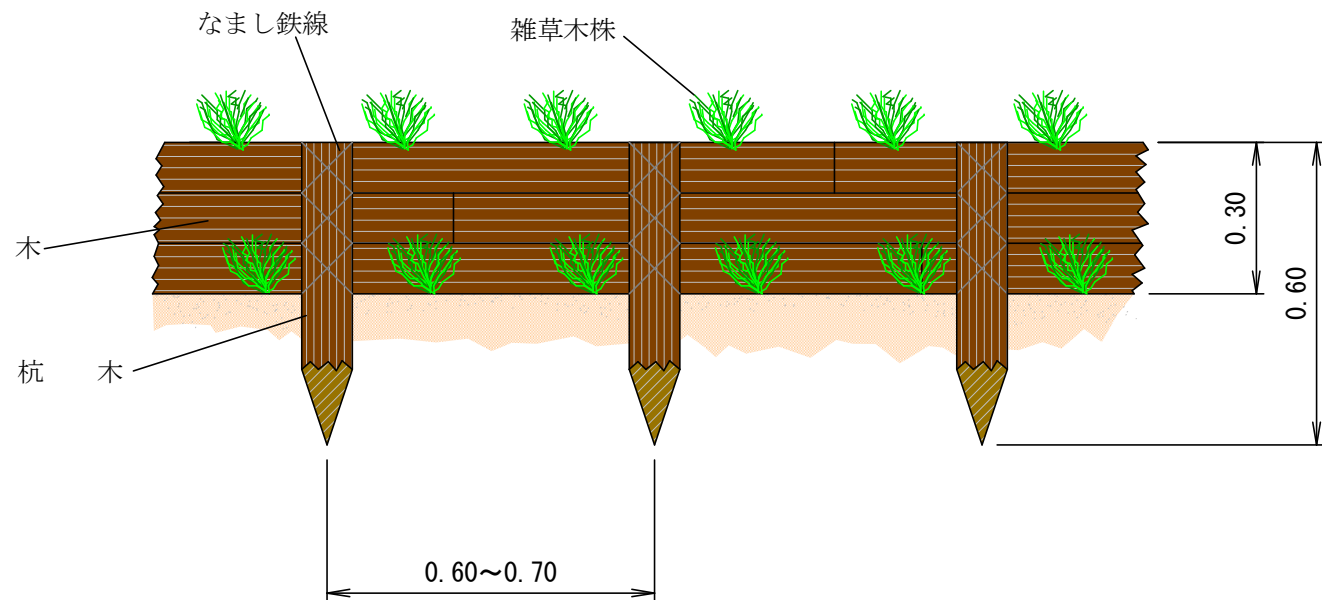
番号	工種	種別
筋7-1	筋工	丸太

凡例	— ⑦ —
----	-------

〔側面図〕



〔正面図〕



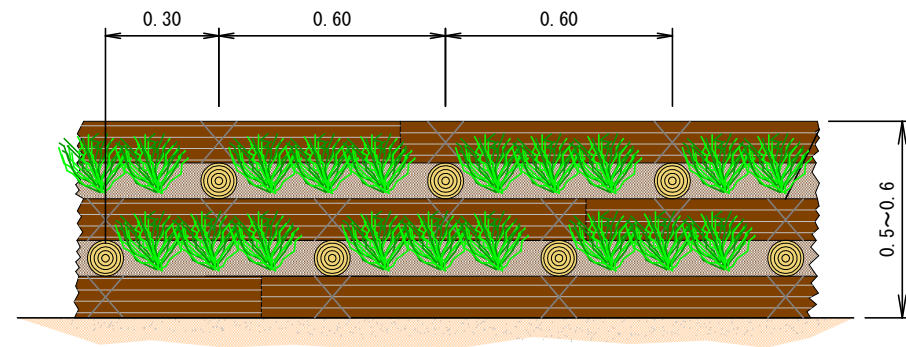
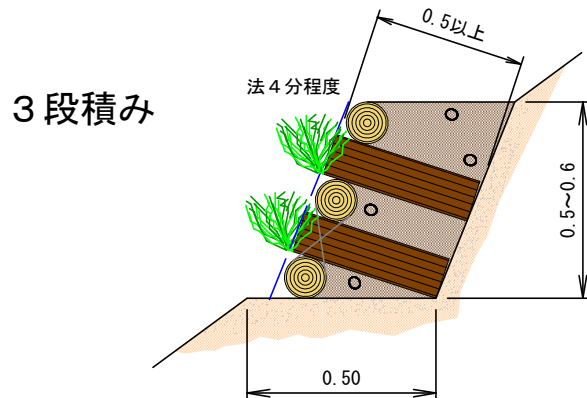
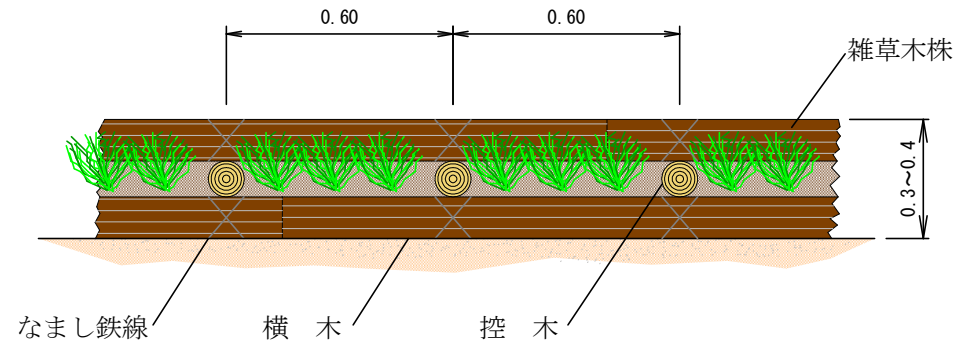
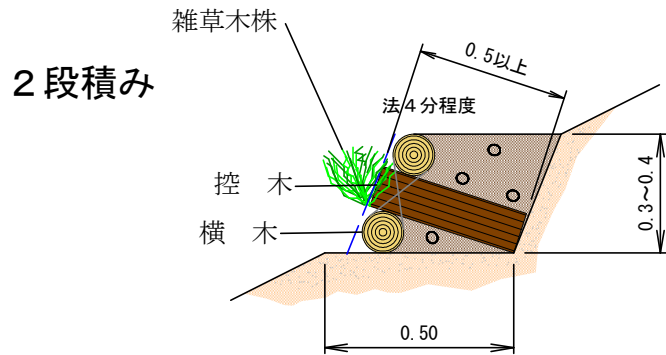
丸太筋工〔階段幅0.3m〕			数量表	10.0m 当り
名称	規格	数量	備考	
杭木	径 10cm 内外 ・ 長さ 0.6m	15.0 本	} 0.39m ³	
横木	径 10cm 内外 ・ 長さ 2.0m	15.0 本		
鉄線	なまし φ 2.6mm (#12)	1.0 kg		
雑草木株	茎長 30cm ・ 打違 1.0m 縄	1.0 束		

番号	工種	種別
筋7-2	筋工	丸太

凡例	⑦
----	---

[側面図]

[正面図]

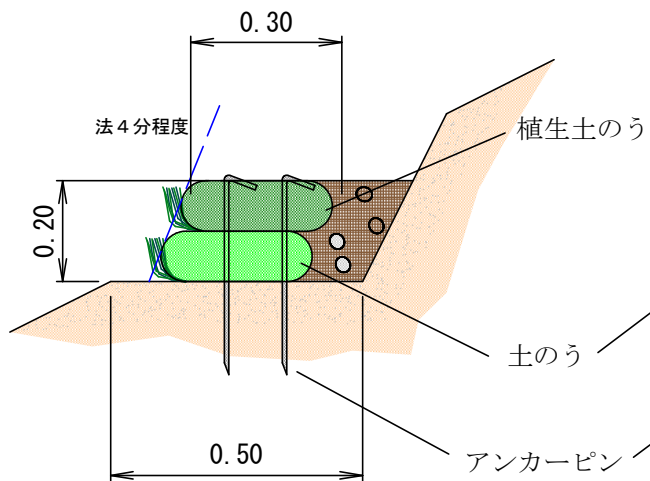


丸太筋工 [2段積/3段積] 数量表				10.0m 当り
名称	規格	数量		備考
		2段積み	3段積み	
横木	末口径8cm以上 長さ2.0m以上	0.13m ³	0.19m ³	
控木	末口径8cm以上 長さ0.5m以上	0.06m ³	0.11m ³	
鉄線	なまし #10 (φ3.2mm)	1.5kg	2.8kg	
雑草木株	長さ30cm ・ 打違1.0m縄	1.0束	2.0束	

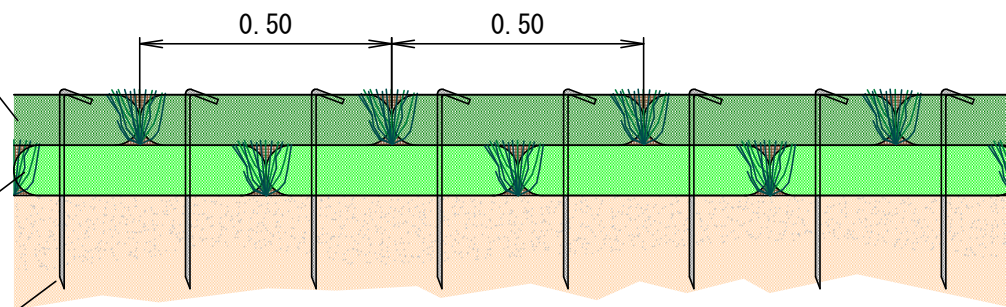
番号	工種	種別
筋10	筋工	植生土のう

凡例	— (10) —
----	----------

〔側面図〕



〔正面図〕



植生土のう筋工 数量表			10.0m 当り
名称	規格	数量	備考
植生土のう	仕上 0.5 * 0.3 * 0.1m	20.0 枚	
土のう	仕上 0.5 * 0.3 * 0.1m	20.0 枚	
中詰土		0.72m ³	0.36m ³ * 2
アンカーピン	φ9.0mm 長さ 400mm フック付	80.0 本	4本/1袋

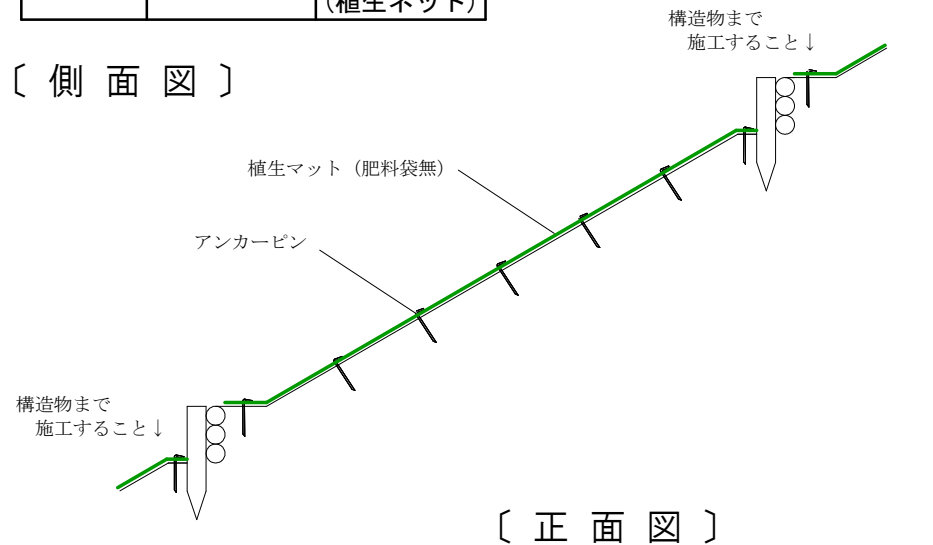
番号	工種	種別
伏1-1	伏工	植生マット (植生ネット)

肥料袋無

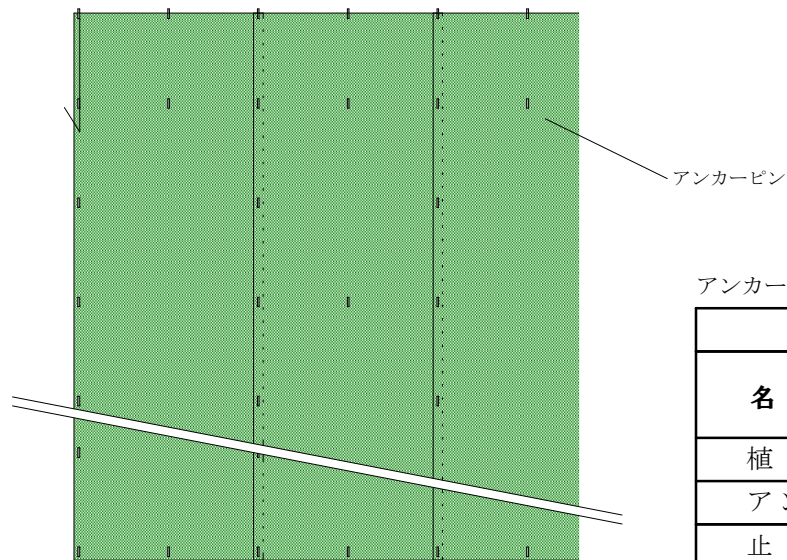
肥料袋有

凡例	
----	--

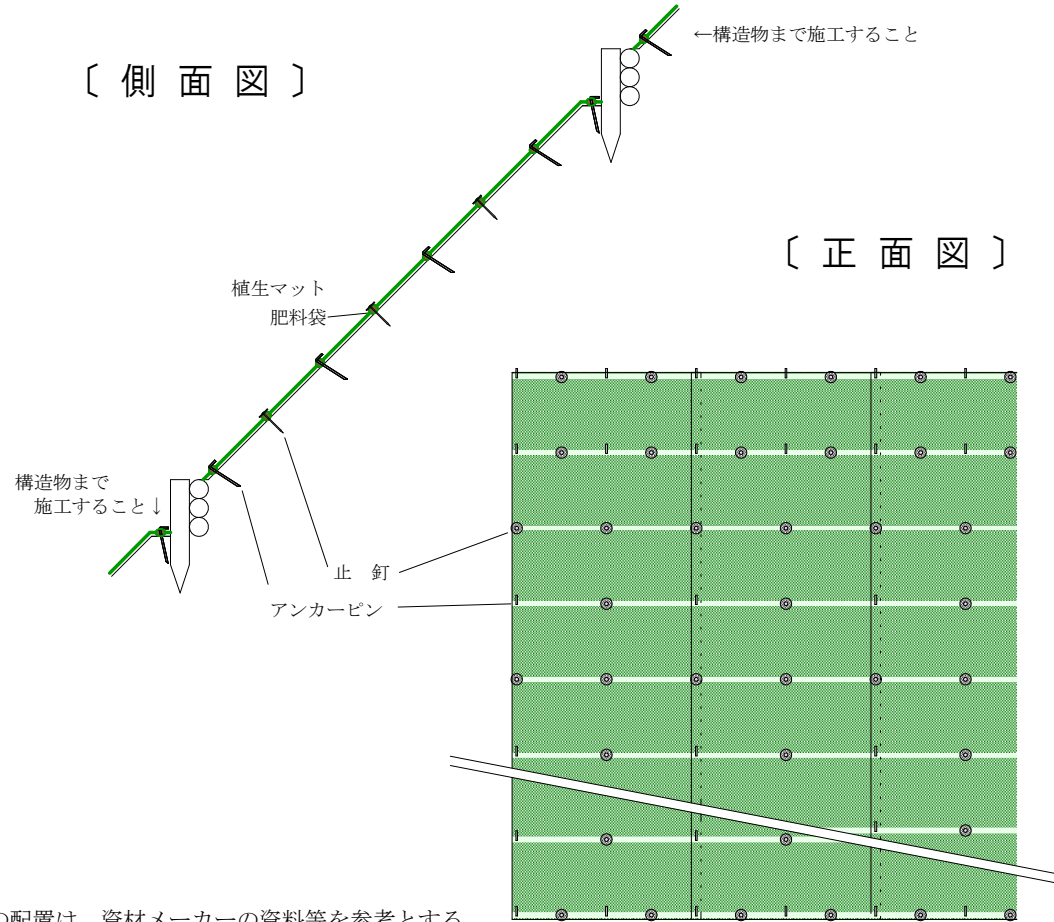
〔側面図〕



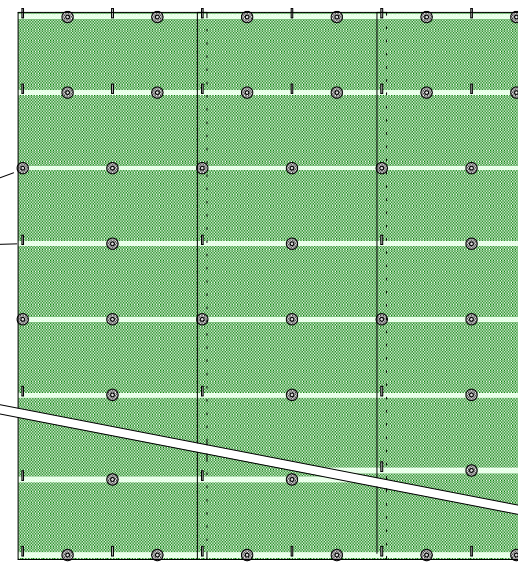
〔正面図〕



〔側面図〕



〔正面図〕



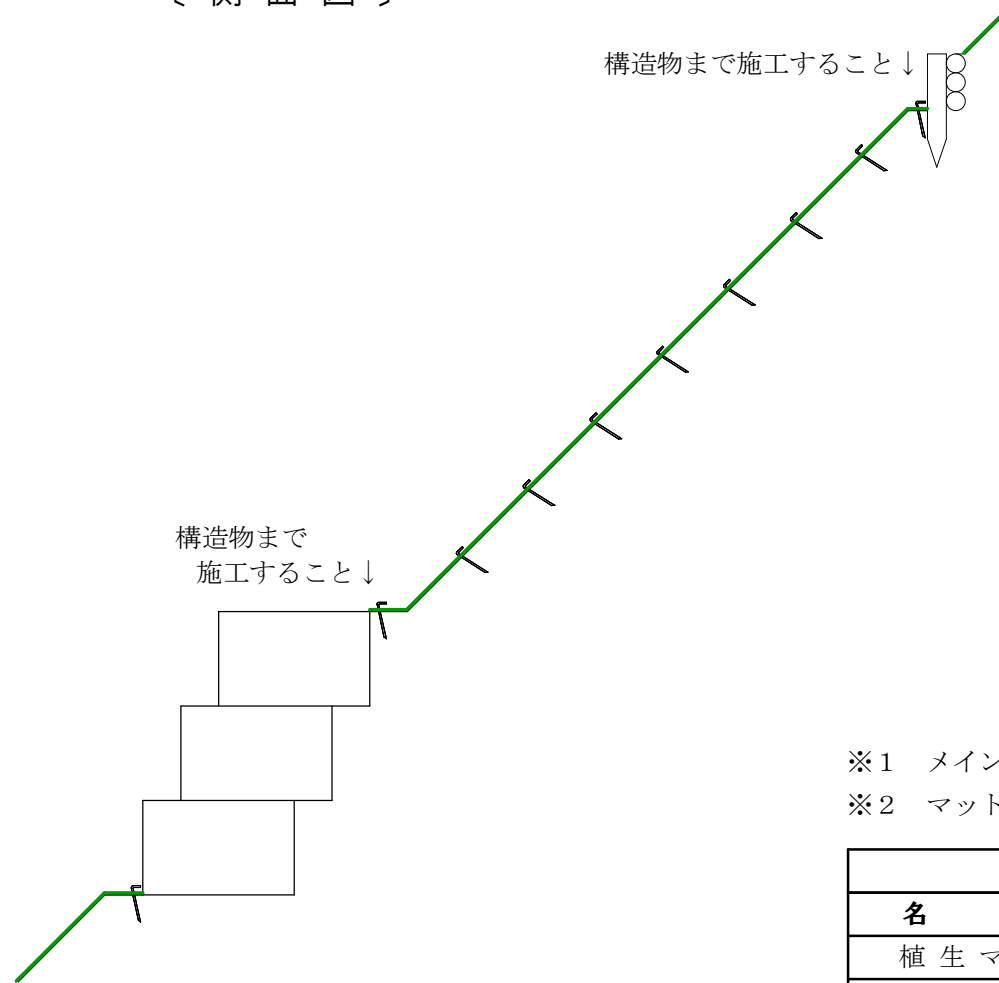
アンカーピンの配置は、資材メーカーの資料等を参考とする。

植生マット伏工 (植生ネット工)		数量表		100.0m ² 当り
名称	規格	数量		備考
		肥料袋無	肥料袋有	
植生マット	各種	120.0 m ²	120.0 m ²	(100.0m ²)
アンカーピン	φ9×200mm	300.0 本	300.0 本	
止釘	φ5×150mm		300.0 本	

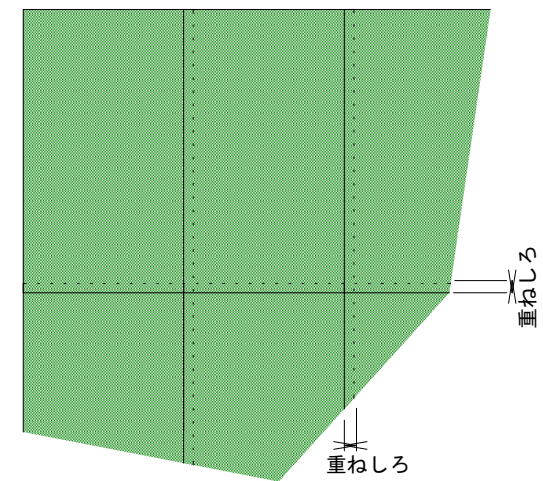
番号	工種	種別
伏1-2	伏工	植生マット

凡例	
----	--

〔側面図〕



〔平面図〕

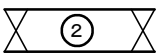


※1 メインアンカーとサブアンカーの配置及び間隔は、各メーカーの標準図等による。

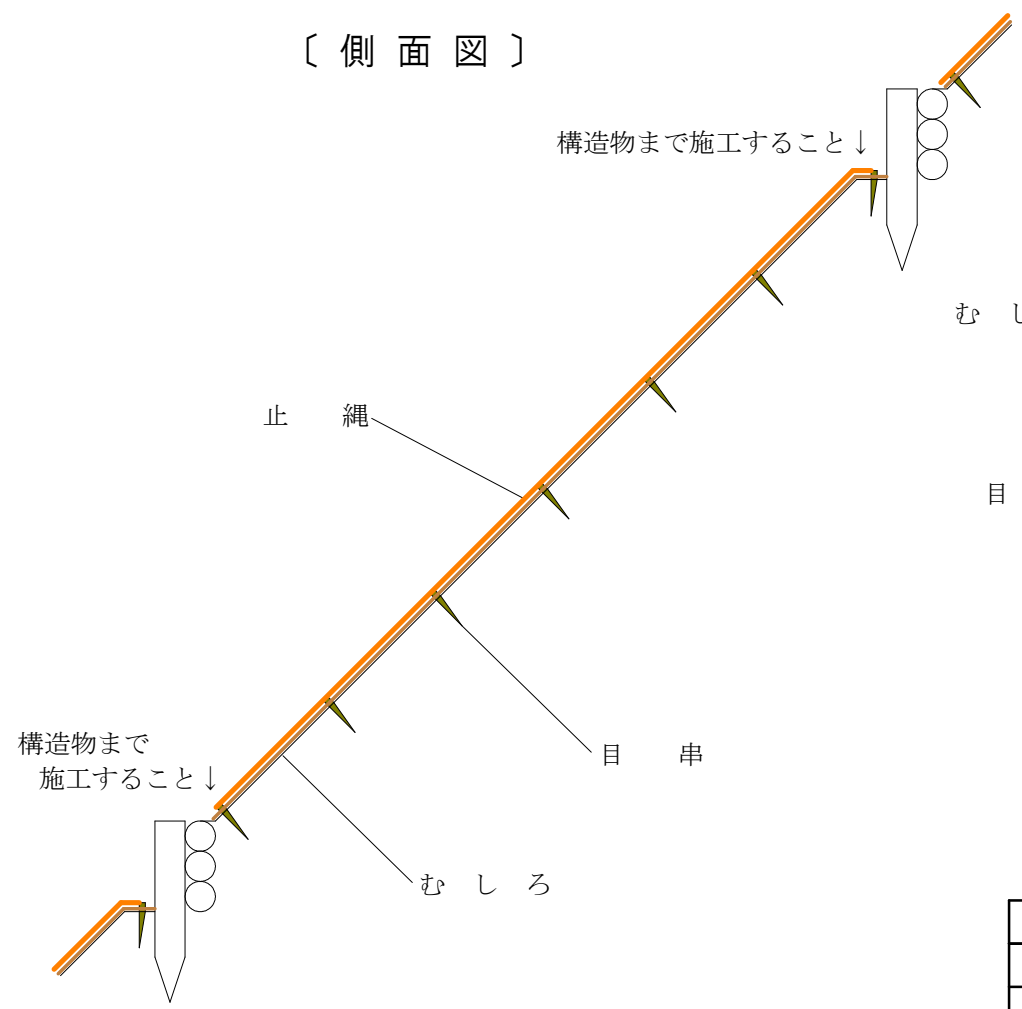
※2 マットの重ねしろは、各メーカーの標準図等による。

植生マット伏工 数量表			100.0m ² 当り
名称	規格	数量	備考
植生マット	特記仕様書等による		(100.0m ²)
メインアンカー	特記仕様書等による		
サブアンカー	特記仕様書等による		

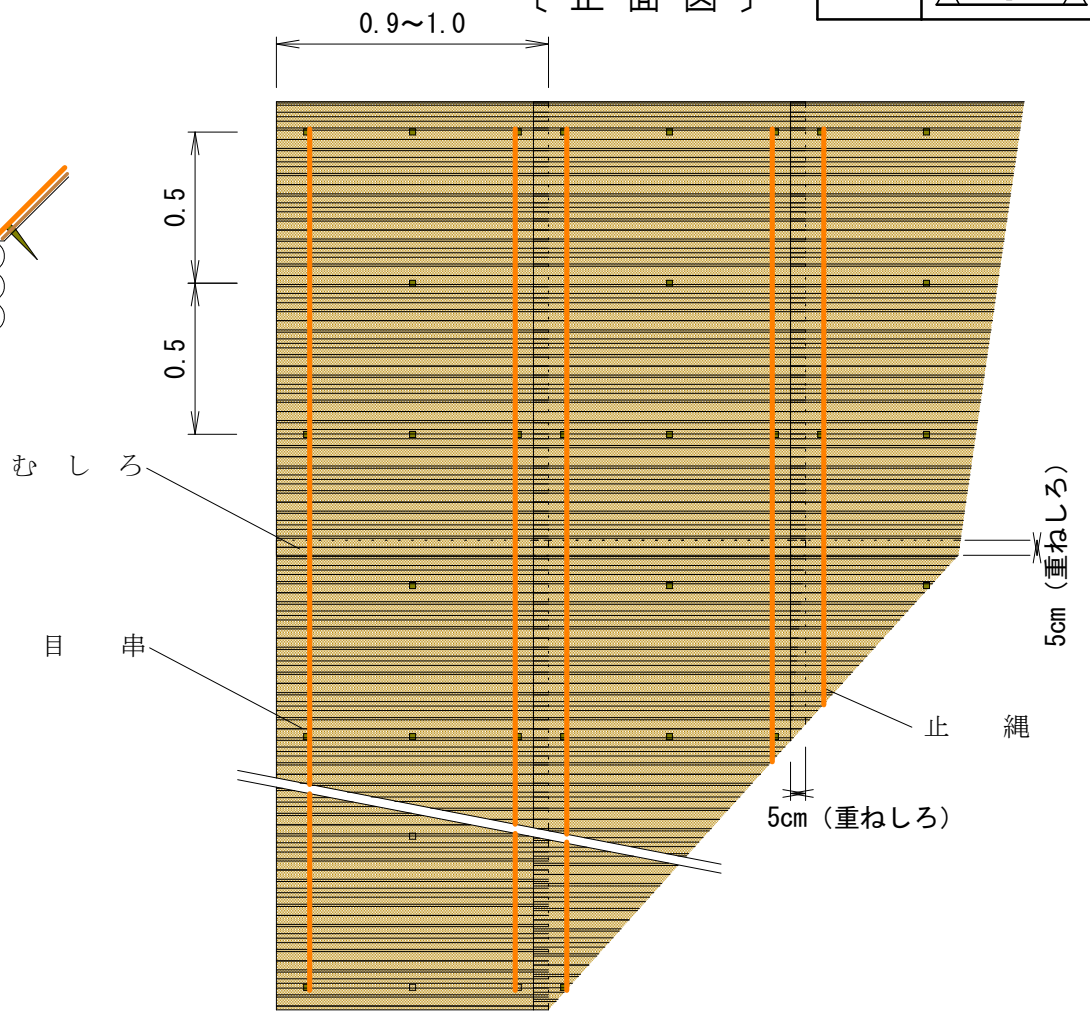
番号	工種	種別
伏2	伏工	むしろ

凡例


〔側面図〕



〔正面図〕




むしろ伏工 数量表

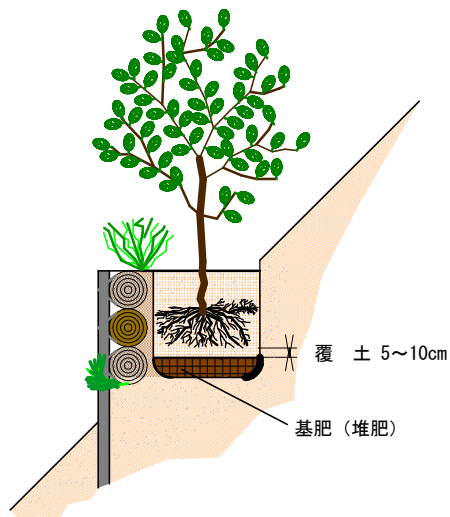
10.0m² 当り

名称	規格	数量	備考
むしろ	幅0.9~1.0m	10.5 m ²	(10.0m ²)
目串	芝串 長15cm以上	44.0 本	竹製 (上部節付)
止縄	わら縄 10mm	21.0 m	

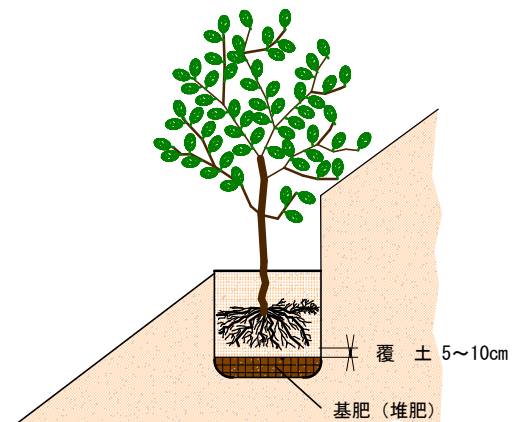
番号	工種	種別
植1	植栽工	植栽(A)

凡例	
----	---

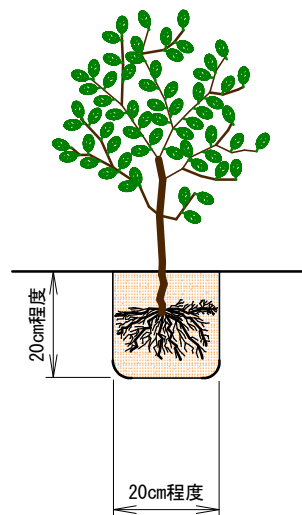
(階段上の植栽)



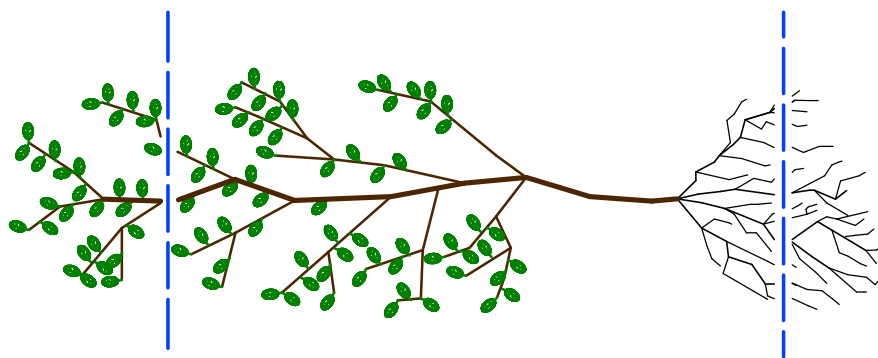
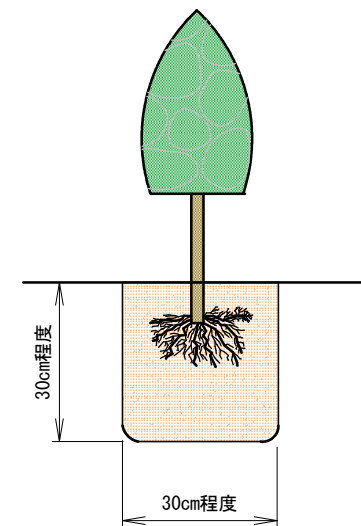
(階段間斜面上の植栽)



[肥料木 (L)]



[普通木 (N)]



苗木拵え (肥料木) 徒長した枝・根の切断

植栽 (A) 数量表			10.0本 当り
名称	規格	数量	備考
苗木	別紙のとおり	10.0本	
堆肥		0.50kg	
基肥		0.50kg	
苗木拵	肥料木のみ	10.0本	

番号	工種	種別
仮2	仮設工	堤名板

1. 規 格

規 格	寸 法
2,000m ³ (30t) 未満	40 * 55 * 1.2cm
2,000m ³ (30t) 以上	60 * 80 * 1.5cm

注) () 内は鋼製ダムの場合とする。

2. 記 載 事 項

- (1) 完成年度
- (2) 工 種
- (3) 施工主体
- (4) 施 工 者

令和 ○ 年度
○ ○ 沢 第 ○ 号 谷 止
林 野 庁
○ ○ 森 林 管 理 署
○ ○ 建 設 株 式 会 社

令和 ○ 年災 第○ 号
○ ○ 沢施設災害復旧事業
施工主体 林 野 庁
○ ○ 森 林 管 理 署
受注者 ○ ○ 建 設 株 式 会 社

(但し、施設災害復旧工事はこれによる。)

3. そ の 他

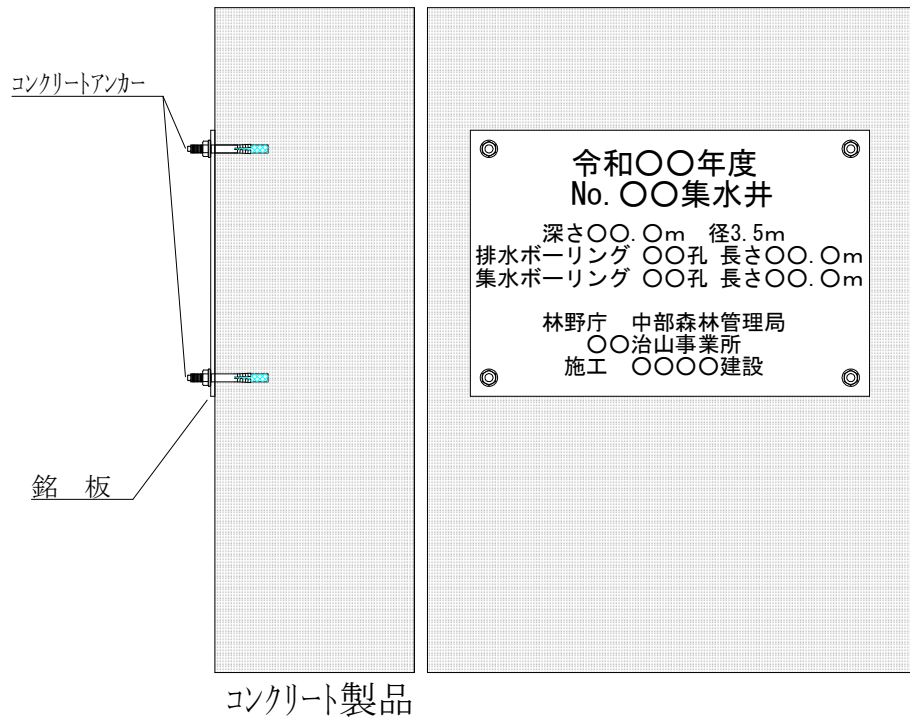
堤名板は、下流側の見やすい箇所に設置するものとし、その他詳細については、監督職員の指示によるものとする。

記号	工種	種別
仮3	仮設工	銘板

コンクリート製品に取り付ける場合

断面図

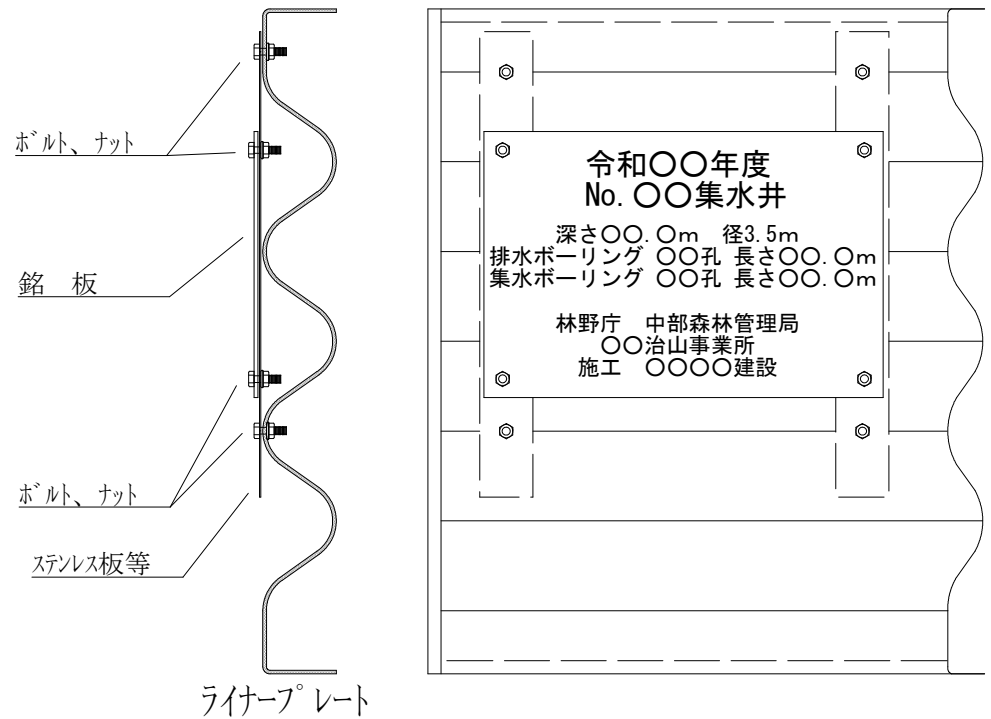
正面図



ライナープレートに取り付ける場合

断面図

正面図



銘板数量表			1.0枚当り
名称	規格	数量	備考
銘板	アルミ製 W300×H200×t1mm	1.0	
取付器具	コンクリートアンカー等	必要量	M6を標準とする

番号	工種	種別
仮4	仮設工	標柱

1. 規格

10cm * 10cm * 200cm 白ペンキ塗り、黒ペンキ書等

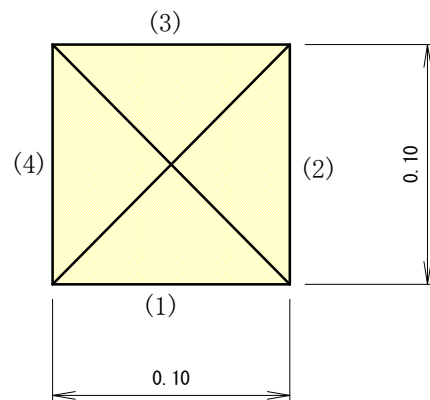
2. 記載事項

- (1) 完成年度及び工事名
- (2) 管理署名
- (3) 施工者名
- (4) 施工面積、主たる工種及び数量

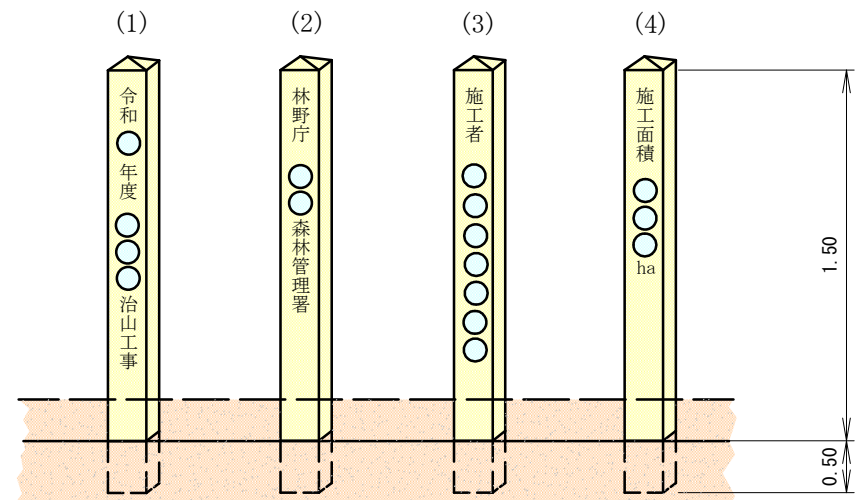
3. その他

施工位置は、施工地直近路傍の明視できる箇所とし、具体的位置は監督職員の指示によるものとする。

〔平面図〕

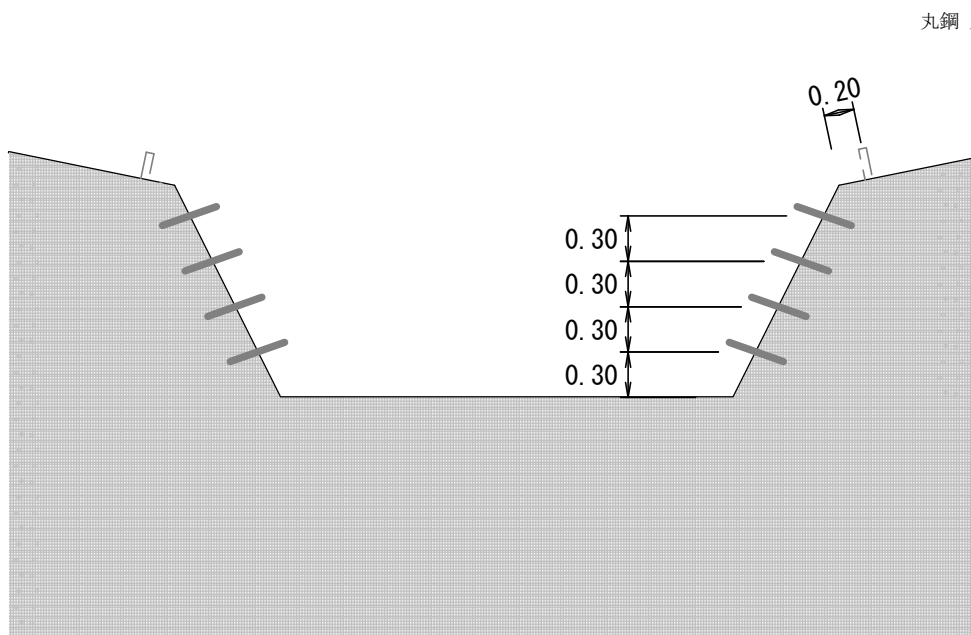


〔姿図〕

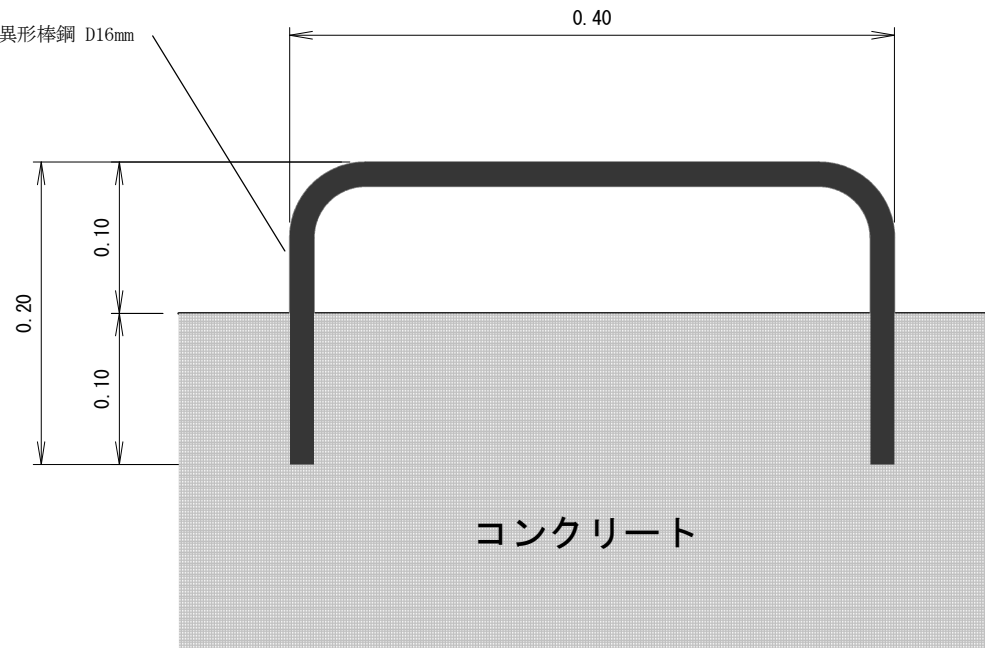


番号	工種	種別
仮5	仮設工	鉄筋階段

〔正面図〕



〔断面図〕

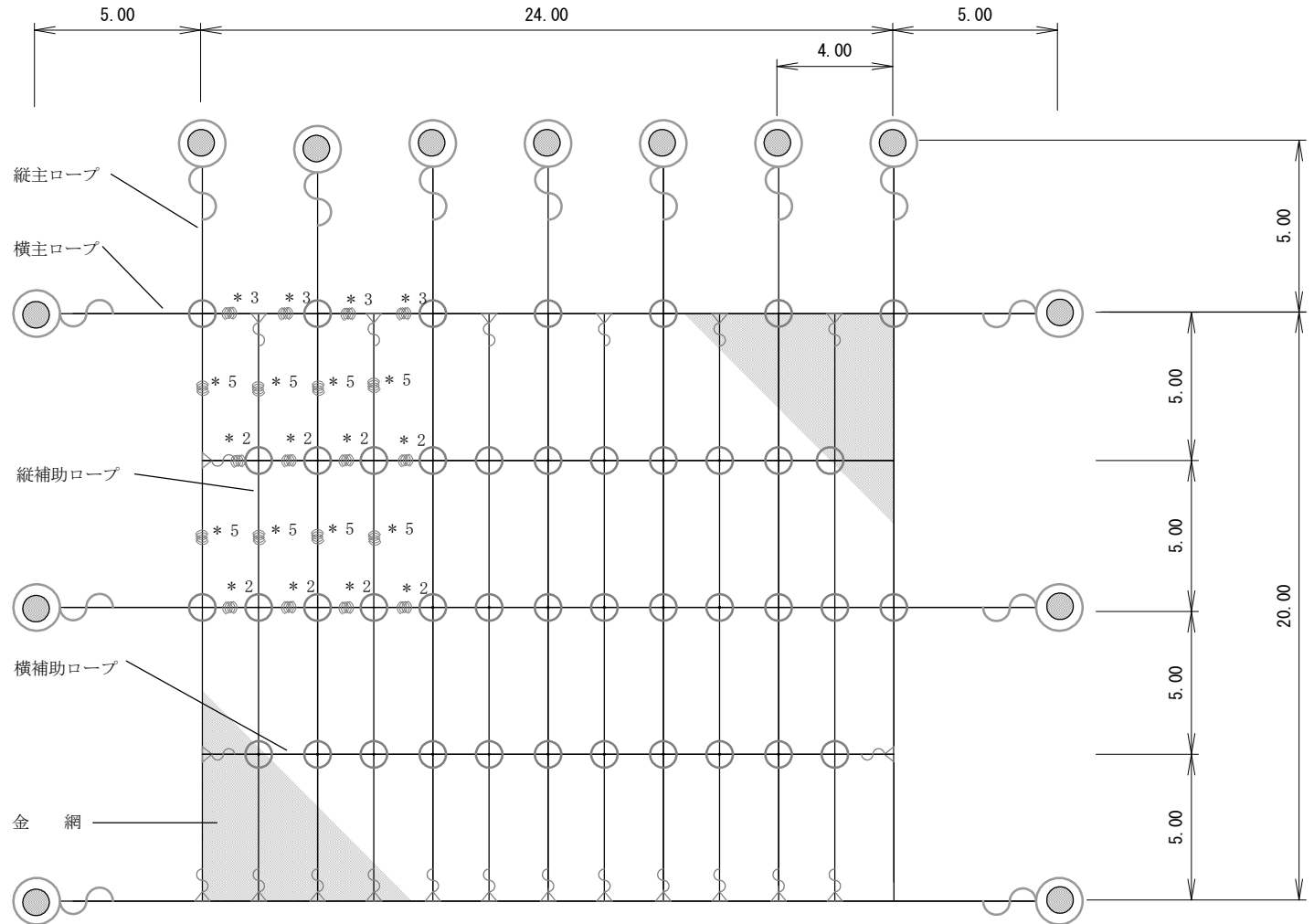


※鉄筋階段の割り付けについては、直高で0.30m程度を標準とする。
 ※必要に応じ、インクラインにも鉄筋階段を配置する。

鉄筋階段工 数量表			1.0本当り
名称	規格	数量	備考
鋼材	D=16.0mm L=0.8m	1.0本	異形 又は 丸鋼
セメント	ポルトランドセメント	0.1kg	

番号	工種	種別
仮6	仮設工	落石防護網

-  アンカー
-  クロスクリップ
-  三方クリップ
-  巻付クリップ
-  結合コイル

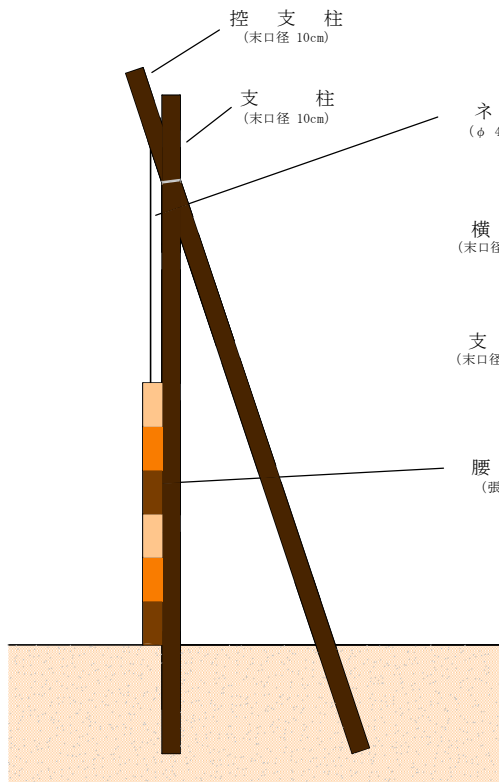


- ワイヤーロープは JIS3525 に適合したものとする。
- 金網は JIS3525 (ひし形金網) に適合したものとする。
- 金具部品類、クロスクリップ、ワイヤクリップ、三方クリップは JIS3101、一般構造用圧延鋼材に規定された2種 SS41 以上のものを標準として、その他は鋳鉄(良品)とする。

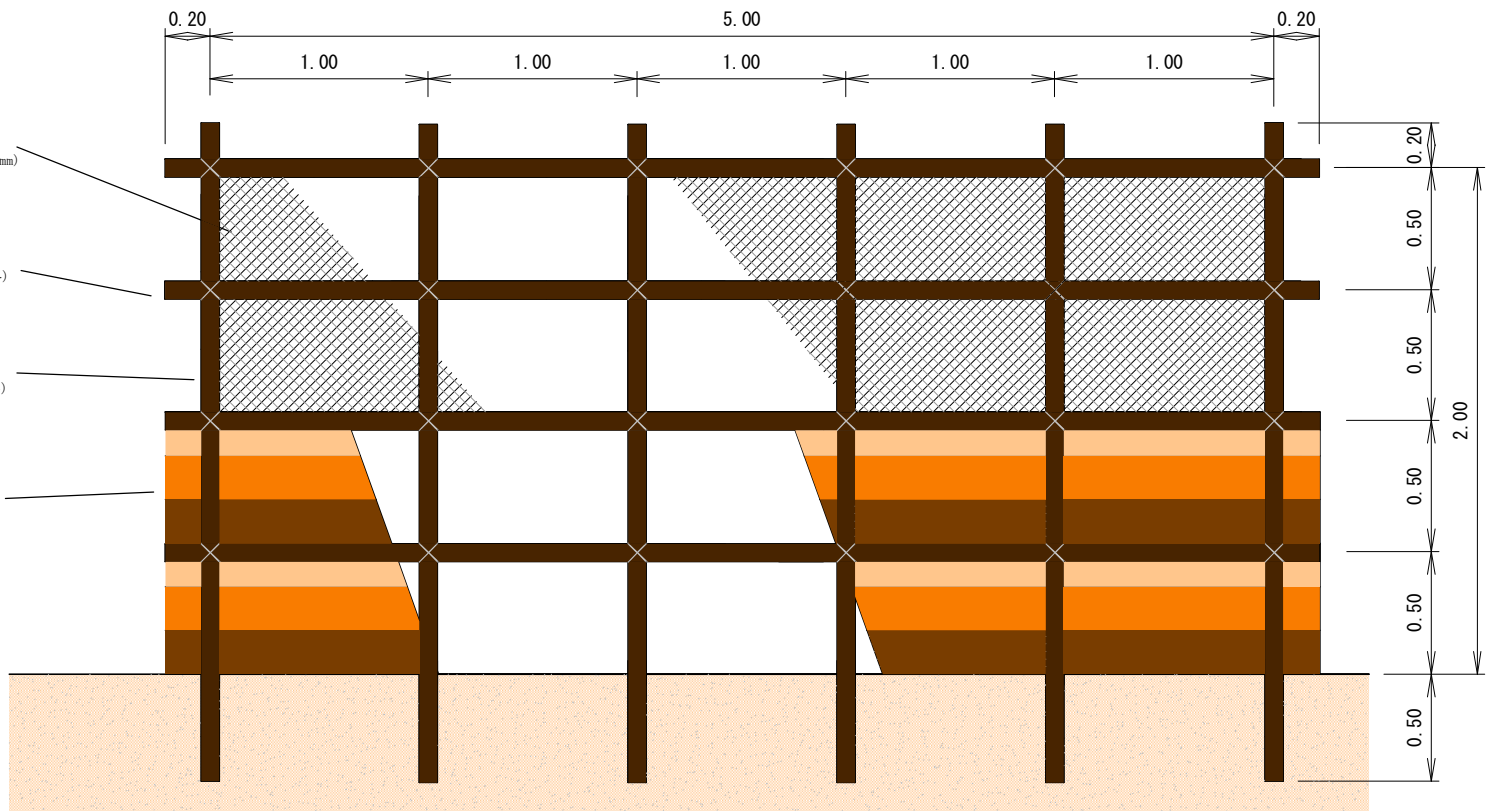
落石防護網工 (500型)				数量表				480.0m ² 当り (24.0m * 20.0m)	
名称	規格	数量	備考	名称	規格	数量	備考		
金網	φ 2.6 * 50 * 50mm	532.8m ²	(480.0m ²) 亜鉛メッキ 重ねしろ 11%	三方クリップ		23.0個			
主ロープ	φ 12mm	274.0m		巻付クリップ	φ 12mm 用	36.0個			
補助ロープ	φ 12mm	165.6m		結合コイル	φ 3.2 * 50 * 300mm	428.0個			
クロスクリップ		42.0個		アンカー用ルーフ (羽付) ボルト	φ 22 * 1,000mm	本			必要数量

番号	工種	種別
仮7-1	仮設工	落石防止柵

〔側面図〕



〔正面図〕



落石防止柵工 数量表

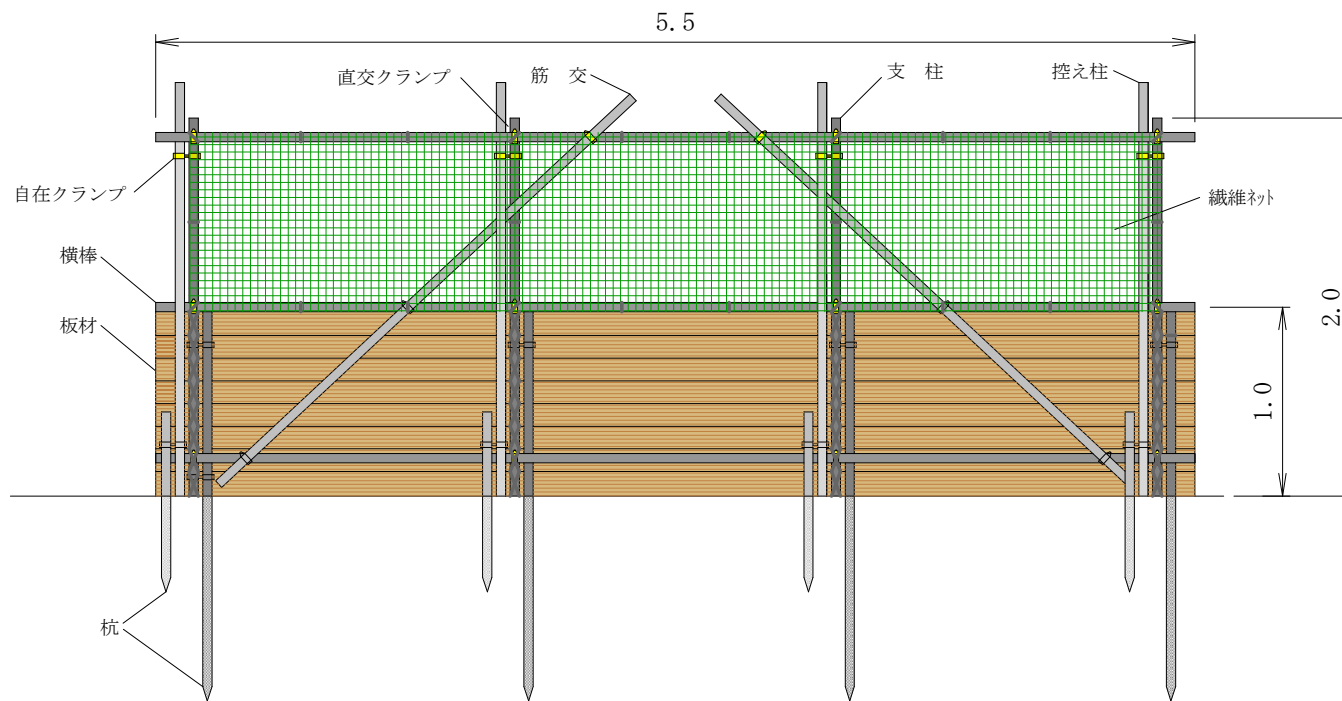
1.0基当り

名称	規格	数量	備考	名称	規格	数量	備考
木材		0.612m3		鉄線	φ 3.2mm	15.0kg	
板材	厚 21mm	0.105m3		釘	N50 ~ N65	2.0kg	
ネット	φ 4mm 5cm目	5.0m2		かすがい	φ 9 * 150mm	0.6kg	(5本)

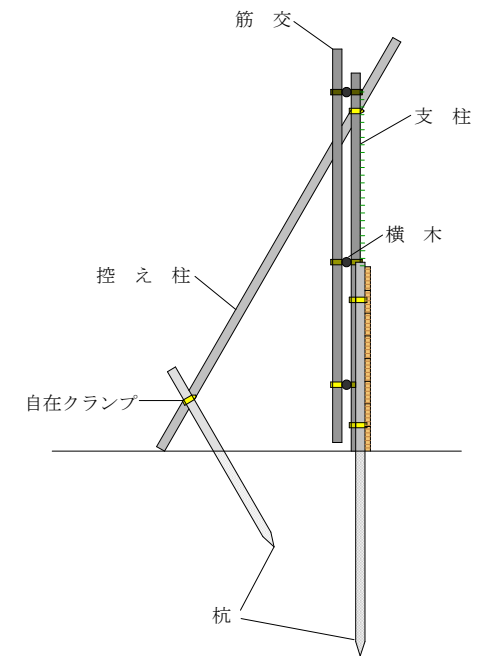
番号	工種	種別
仮7-2	仮設工	落石防止柵

落石防止柵標準図

〔正面図〕



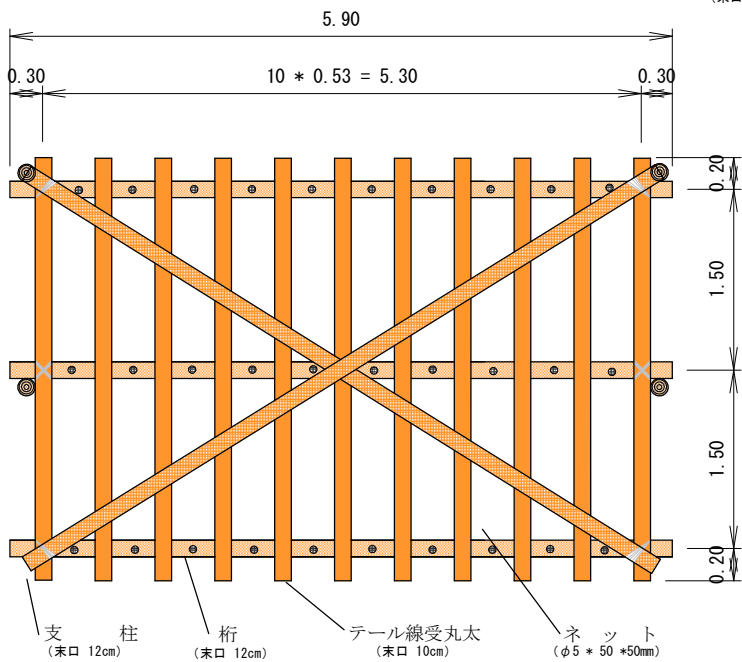
〔側面図〕



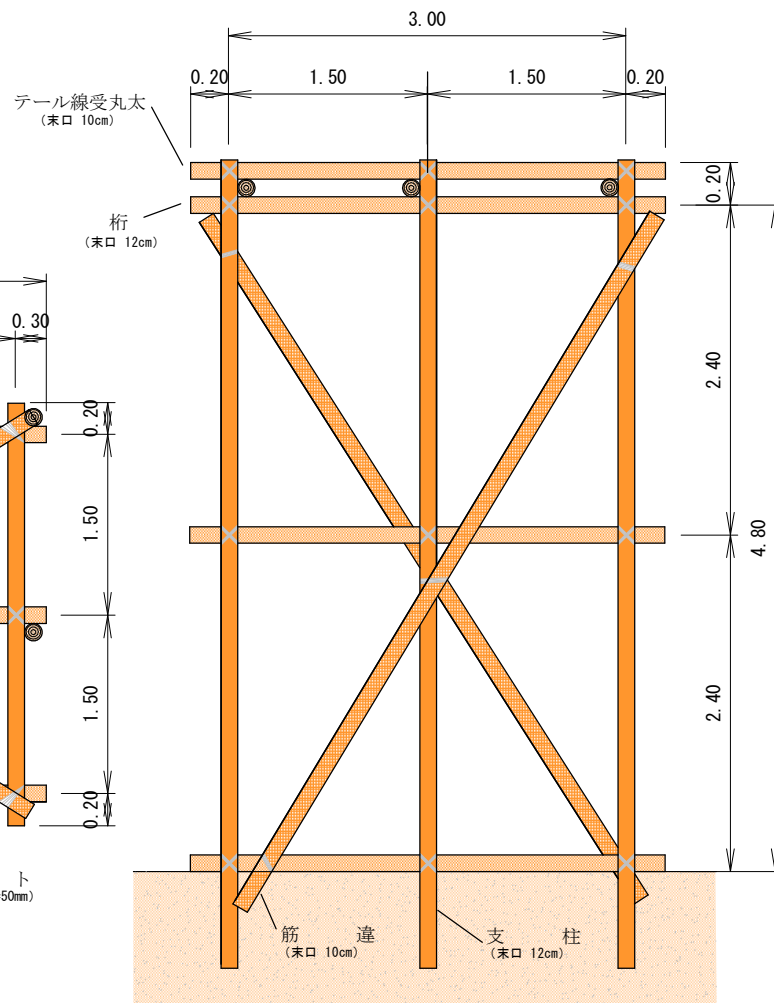
落石防護柵工				数量表				1.0基当り	
名称	規格	数量	備考	名称	規格	数量	備考		
丸パイプ	径48.6mm	57.5m		繊維ネット	K型 (37.5×37.5mm目)	4.9m ²			
直角クランプ	径48.6mm	12.0個		なまし鉄線	#10 φ3.2mm	3.9kg			
自在クランプ	径48.6mm	22.0個	筋交・控え柱						
板材	雑矢板 厚3cm	0.165m ³							

番号	工種	種別
仮8-1	仮設工	防護柵

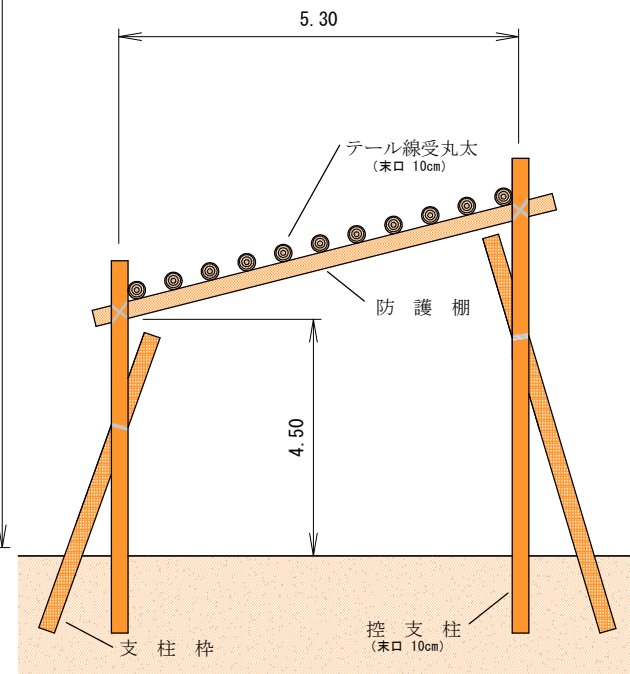
〔平面図〕



〔支柱枠組立図〕



〔組立略図〕



防護柵工数量表

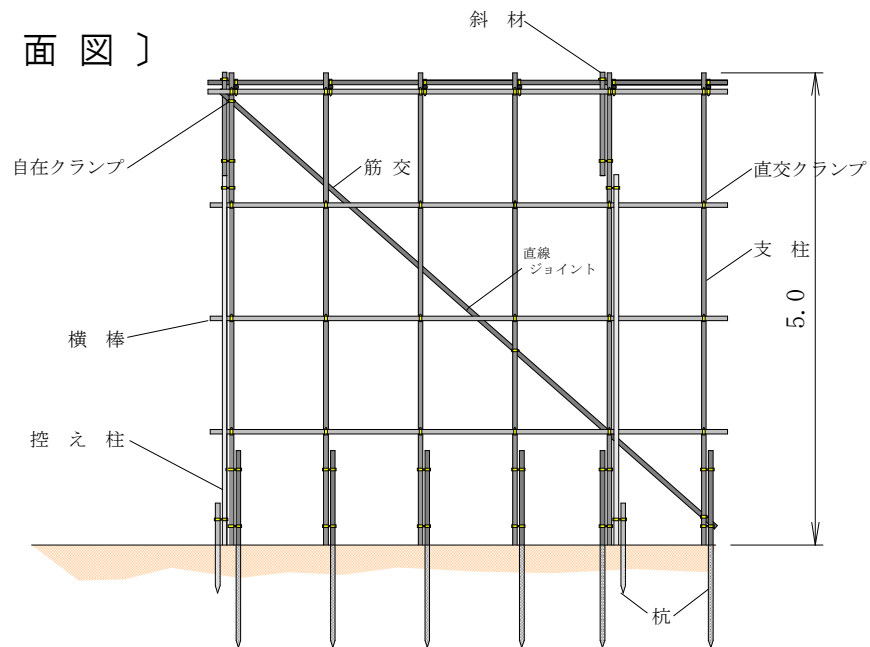
1.0基当り

名称	規格	数量	備考	名称	規格	数量	備考
木材		2.070m3		鉄線	#10	30.0kg	
かすがい	φ13 * 180mm	5.0kg	(20本)	釘	N50 ~ N65	2.0kg	
ネット	φ5mm 5cm目	16.0m2					

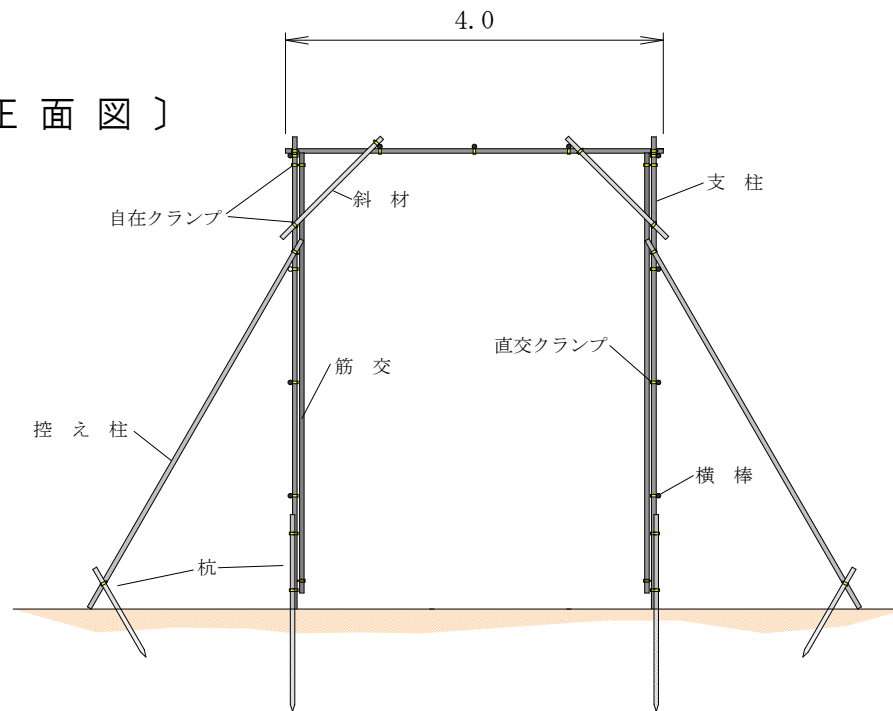
番号	工種	種別
仮8-2	仮設工	防護柵

防護柵工（ケーブルクレーン用）標準図

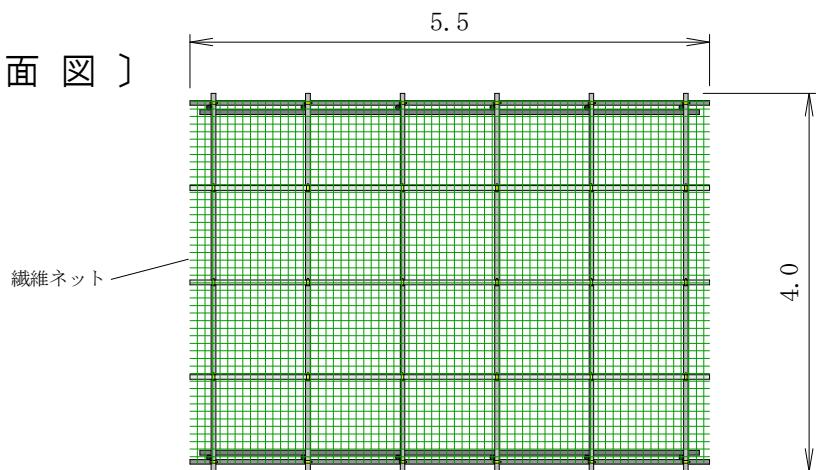
〔側面図〕



〔正面図〕

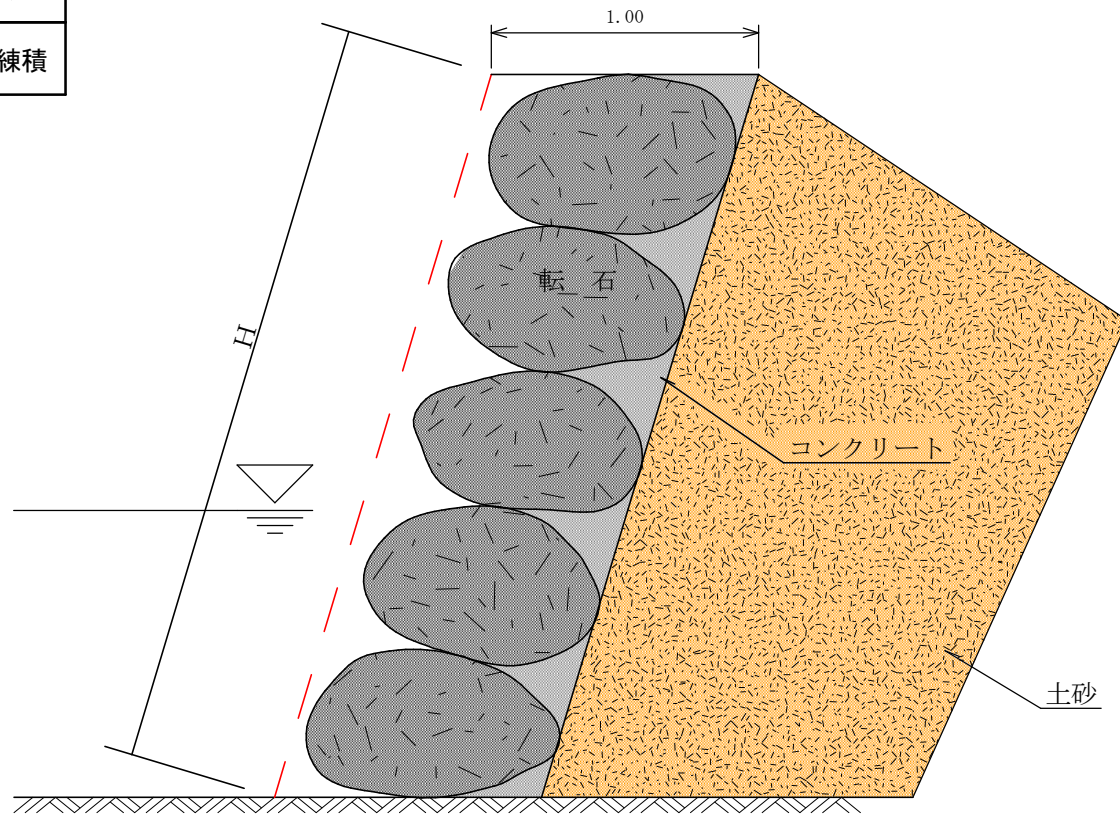


〔平面図〕



防護柵工（ケーブルクレーン用）		数量表	1.0基当り
名称	規格	数量	備考
丸パイプ	径48.6mm	210.5m	
直線ジョイント	径48.6mm	2.0個	筋交
直交クランプ	径48.6mm	78.0個	
自在クランプ	径48.6mm	46.0個	
繊維ネット	K型 (37.5×37.5mm目)	24.0m ²	
なまし鉄線	φ4.0mm	3.2kg	

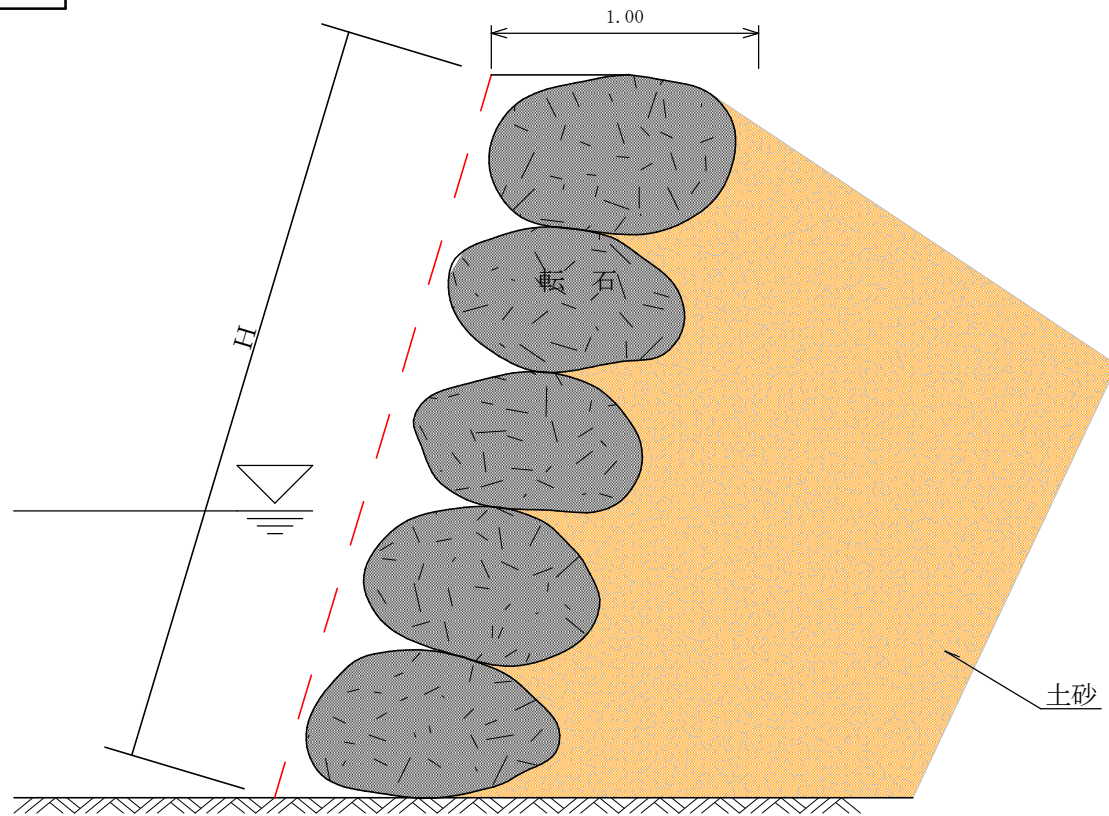
番号	工種	種別
締1	仮締切工	大転石練積



大転石練積仮締切工 数量表			1.0m2 当り	
名称	規格	数量	備考	
転石	控長 0.7~1.3m 標準1.0m	1.00m ²		
コンクリート	18-8-25(N)	0.20m ³		
土砂	埋戻し用	必要量	下表による	

埋戻量表						
高さ(H)	1.00	1.50	2.00	2.50	3.00	3.50
埋戻量	0.86	1.29	1.72	2.16	2.59	3.02

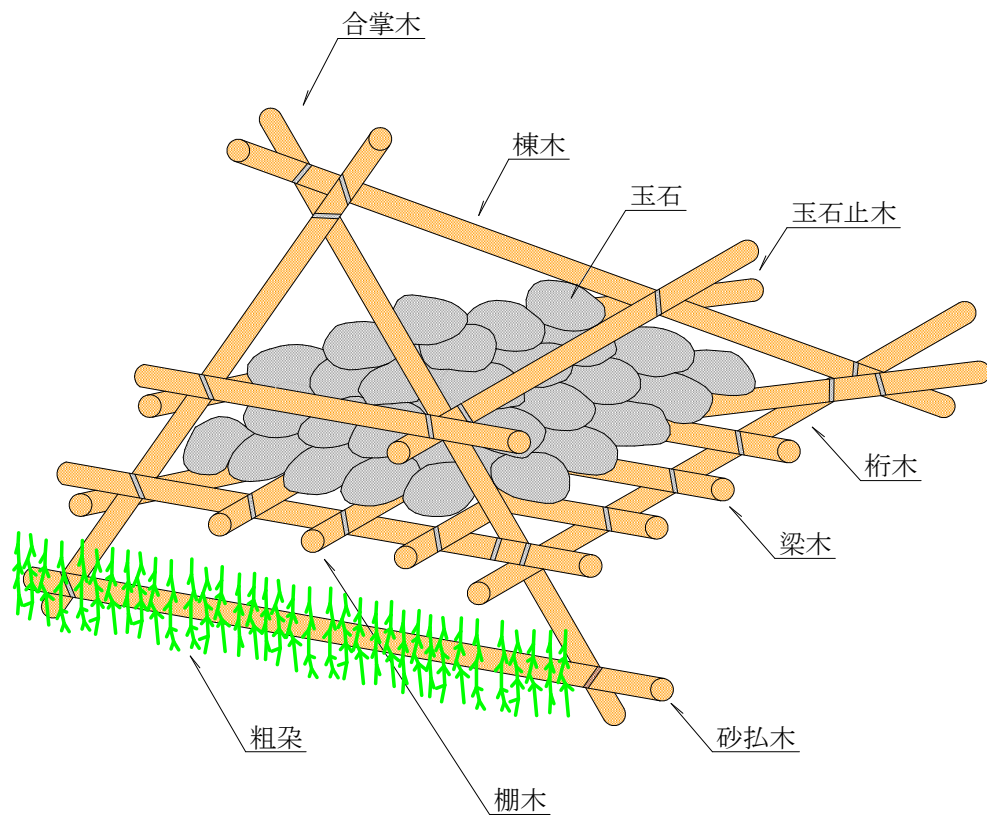
番号	工種	種別
締2	仮締切工	大転石空積



大転石空積仮締切工 数量表				1.0m ² 当り	
名称	規格		数量	備考	
転石	控長 0.7~1.3m 標準1.0m		1.00m ²	(2.10枚)	
土砂	埋戻し用		必要量	下表による	

埋戻し量表						
高さ (H)	1.00	1.50	2.00	2.50	3.00	3.50
埋戻し量	0.86	1.29	1.72	2.16	2.59	3.02

番号	工種	種別
締4	仮締切工	牛 枠



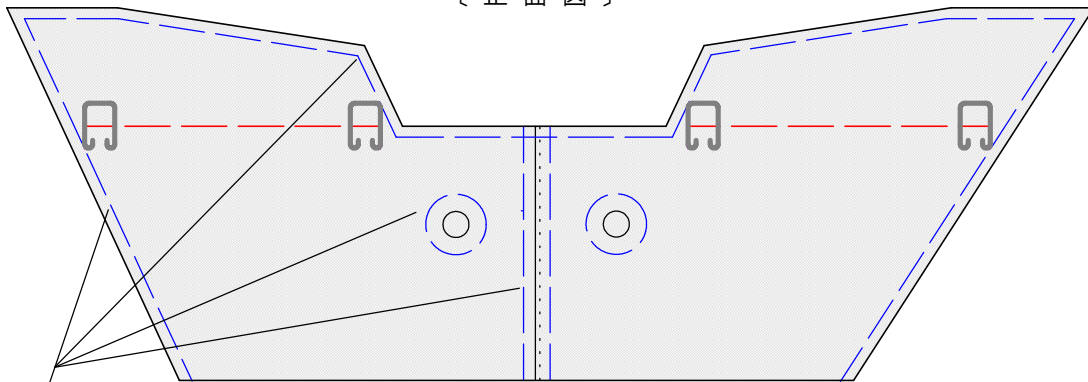
材 料 表 (1 基 当 た い)

区 分	<A>				<C>		
名 称	单 位	寸 法・形 状	数 量	寸 法・形 状	数 量	寸 法・形 状	数 量
合 掌 木	m3	末口径0.15m長3.6m 2本	0.16	末口径0.09m長2.7m 2本	0.04	末口径0.09m長1.8m 2本	0.03
棟 木	m3	末口径0.12m長4.5m 1本	0.06	末口径0.09m長3.6m 1本	0.03	末口径0.09m長2.7m 1本	0.02
桁 木	m3	末口径0.12m長4.5m 2本	0.13	末口径0.09m長3.6m 2本	0.06	末口径0.09m長2.7m 2本	0.04
梁 木	m3	末口径0.12m長2.7m 4本	0.16	末口径0.09m長2.7m 3本	0.07	末口径0.09m長1.8m 3本	0.05
砂 払 木	m3	末口径0.12m長2.7m 1本	0.04	末口径0.06m長2.7m 1本	0.01	末口径0.06m長1.8m 1本	0.01
棚 木	m3	末口径0.06m長2.1m 12本	0.09	末口径0.06m長1.8m 7本	0.05	末口径0.06m長1.5m 5本	0.03
玉 石 止 木	m3	末口径0.06m長2.2m 4本	0.03	末口径0.06m長1.6m 4本	0.02	末口径0.06m長1.1m 4本	0.02
木 材 計	m3		0.67		0.28		0.20
鉄 線	kg	なまし 10-12#	5.24	なまし 10-12#	3.28	なまし 10-12#	2.95
玉 石	m3	径0.15m以上	0.80	径0.15m以上	0.60	径0.15m以上	0.45
粗 朶	束	根元径2cm長1.5m1m縄	1.50	根元径2cm長1.5m1m縄	1.20	根元径2cm長1.5m1m縄	1.00

番号	工種	種別
他1		挿し筋

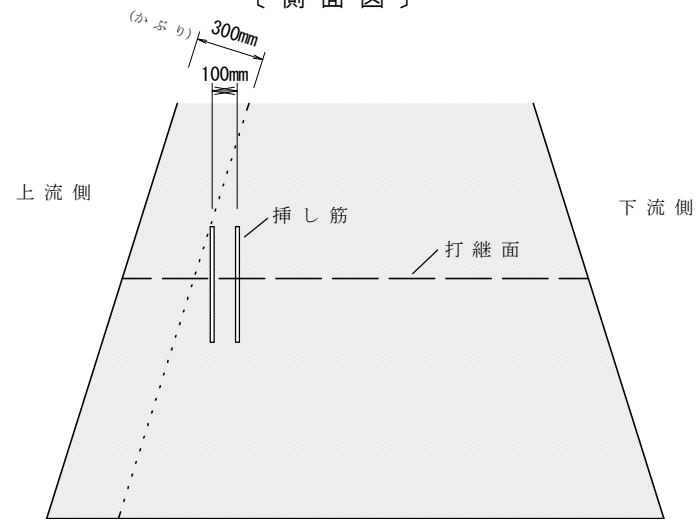
○水平打継目の挿し筋構造は、次による。

〔正面図〕

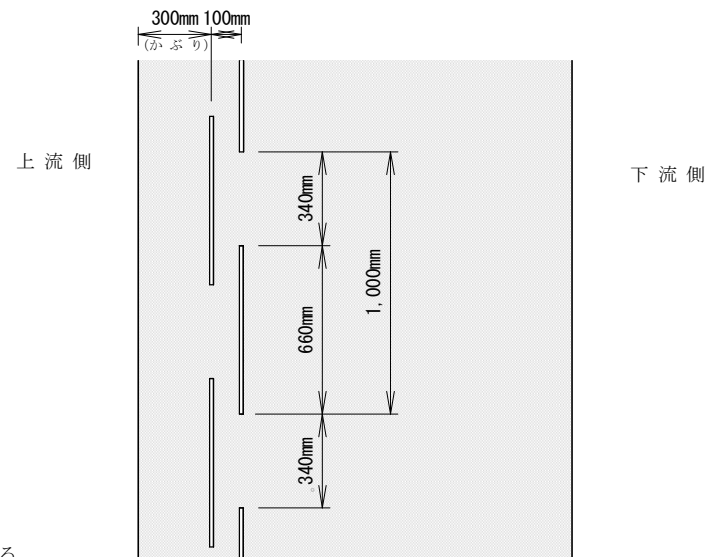


放水路鏡面・伸縮継目・水抜・袖部立上り・上流法面及び掘削面から各々 300mm 程度の「かぶり」を確保すること。

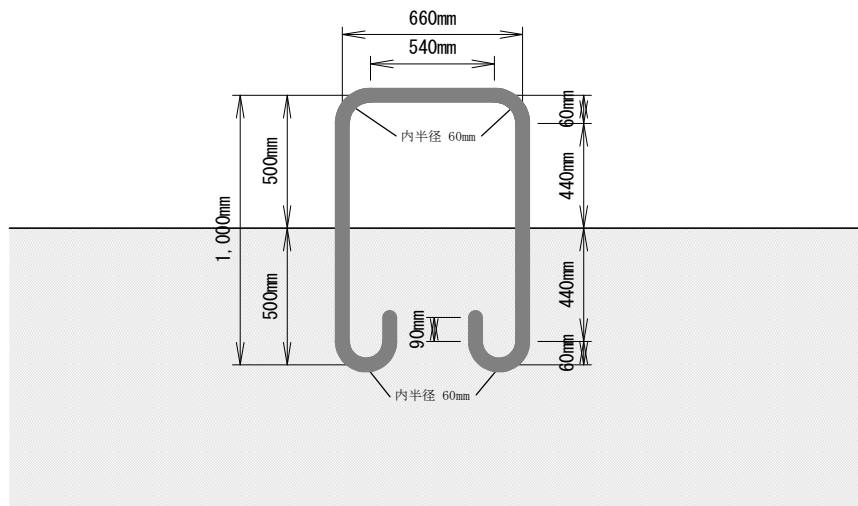
〔側面図〕



〔平面図〕



〔挿し筋構造〕



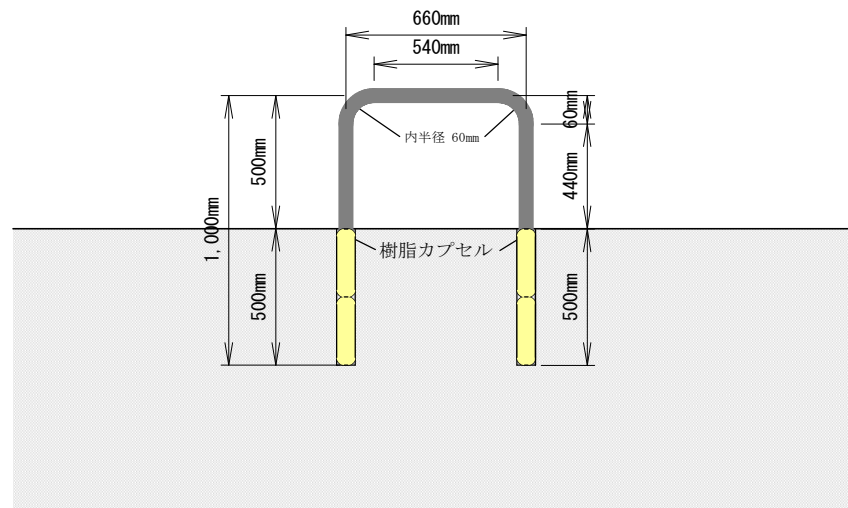
※ 寸法表示は内側寸法である。

挿し筋 (水平打継目) 数量表			打継面横 1.0m 当り
名称	規格	数量	備考
異形棒鋼	SD345 D22	19.2kg	9.58kg * 2組

番号	工種	種別
他2-1		挿し筋

○ 既設治山ダムの補修・嵩上げ等に伴う打設済みコンクリートへの水平打継の挿し筋構造は、次による。
 なお、挿し筋の配置方法については、定規図【他1】に準じる。

〔挿し筋構造〕



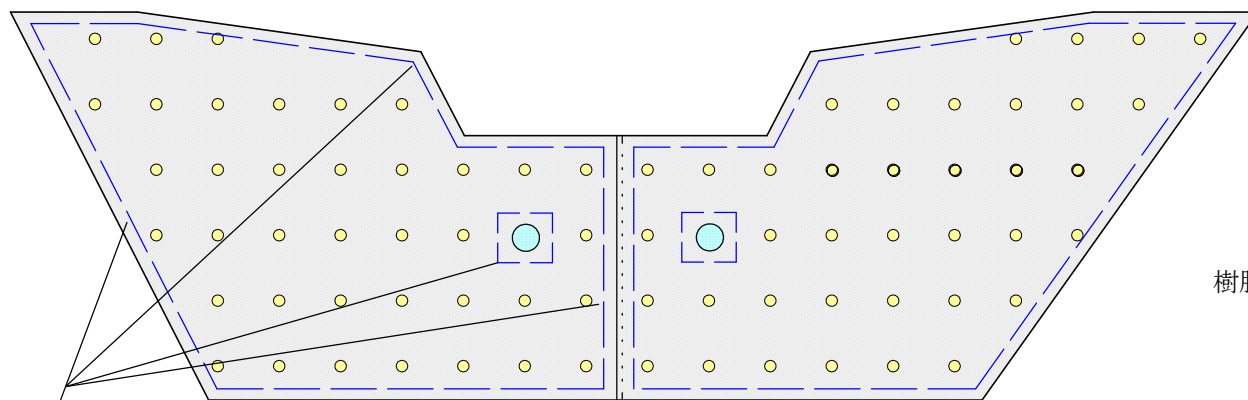
※ 寸法表示は内側寸法である。

挿し筋 (補修・嵩上げ等) 数量表			打継面横 1.0m 当り
名称	規格	数量	備考
鉄筋コンクリート用棒	SD345 D22	16.1kg	8.04kg * 2組
樹脂カプセル	コンクリートアンカー用	8.0本	(D22 穿孔深250mm)

番号	工種	種別
他2-2		挿し筋

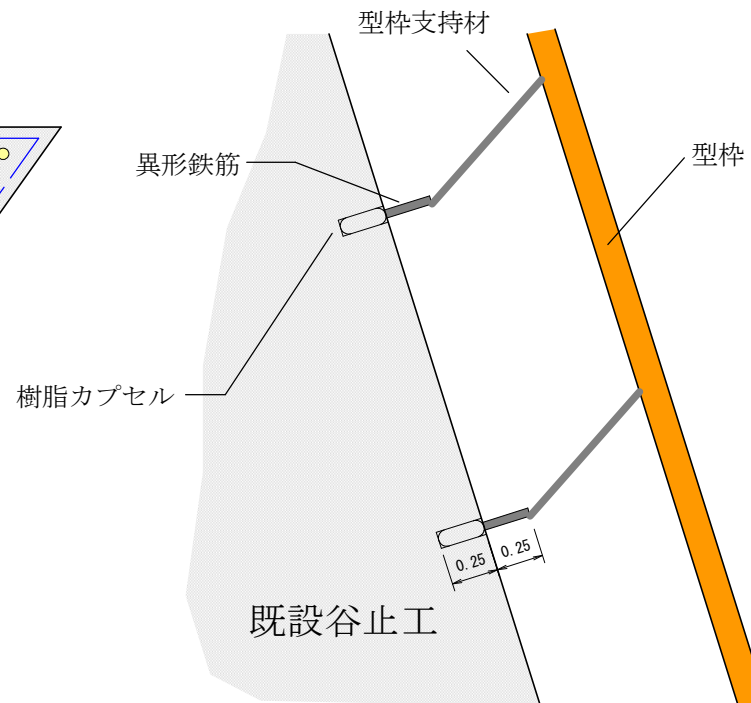
○ 既設治山ダムの補修・増厚等に伴う旧コンクリートへ挿し筋構造は、次による。
 なお、挿し筋は3m²当たり1箇所設置設置する。

〔正面図〕



放水路鏡面・伸縮継目・水抜・袖部立上り・上流法面及び掘削面から各々 300mm 程度の「かぶり」を確保すること。

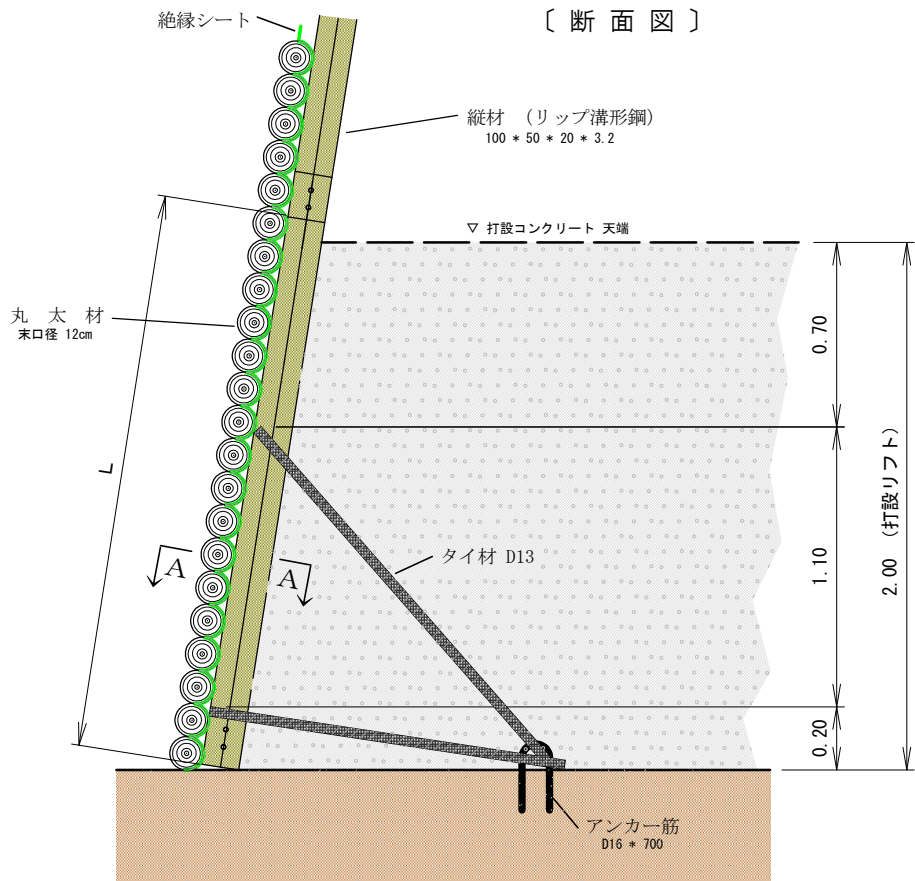
〔拡大図〕



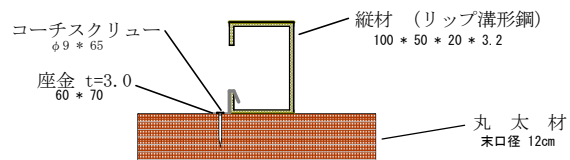
挿し筋 (補修・増厚等) 数量表			1.0箇所 当り
名称	規格	数量	備考
异形鉄筋	SD295 D22 L=500mm	2.4kg	
樹脂カプセル	コンクリートアンカー用	1.0本	(D22 穿孔深250mm)

番号	工種	種別
他3	残存型 枠	丸太

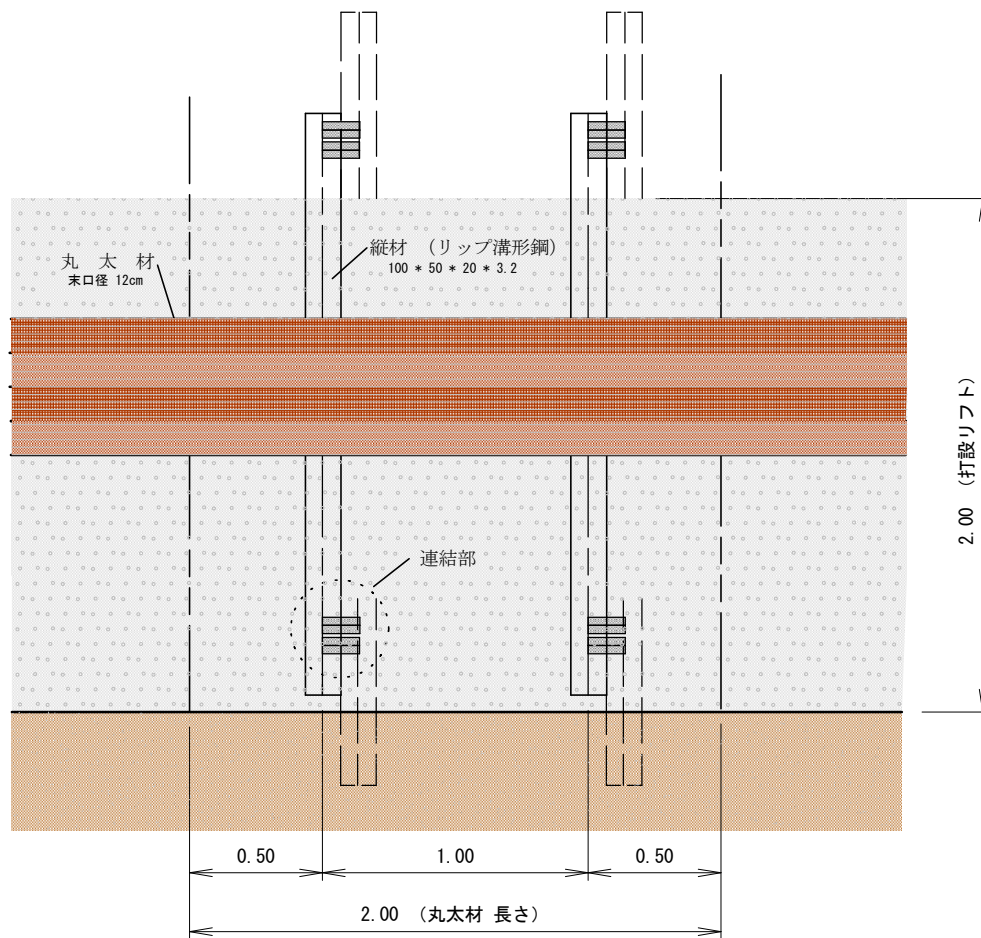
〔断面図〕



〔平面図〕



〔正面図〕



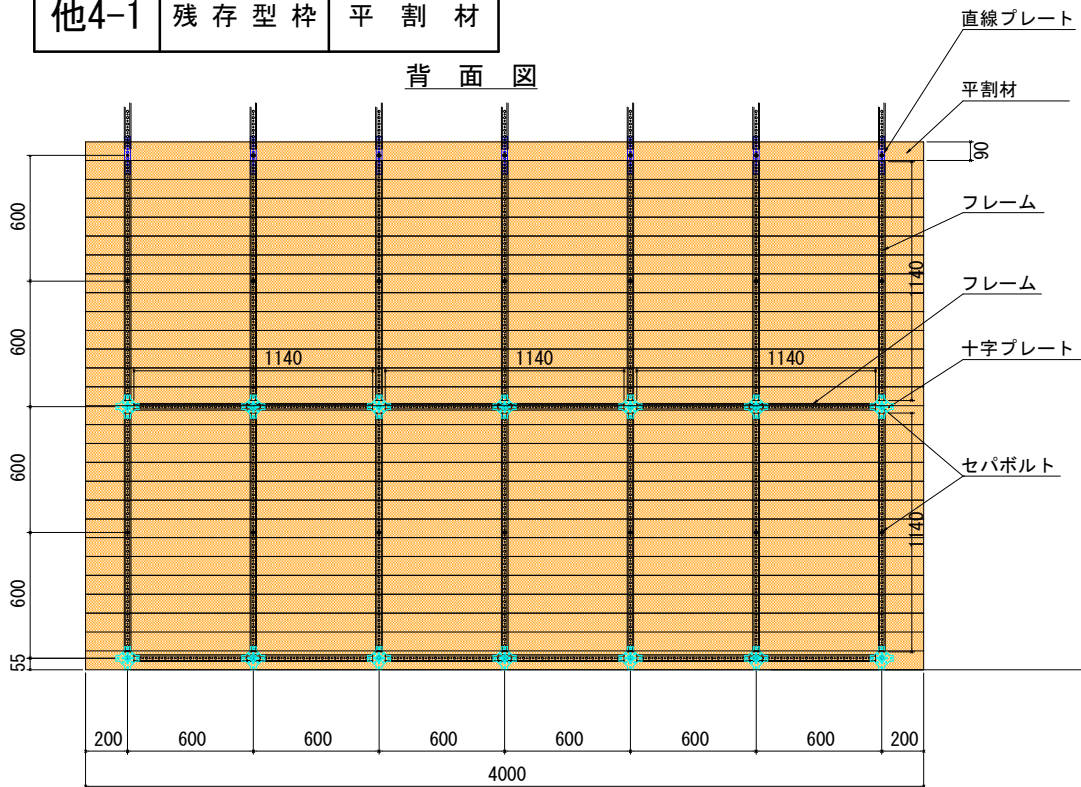
残存型 枠 (丸太) 数量表

100.0m² 当り

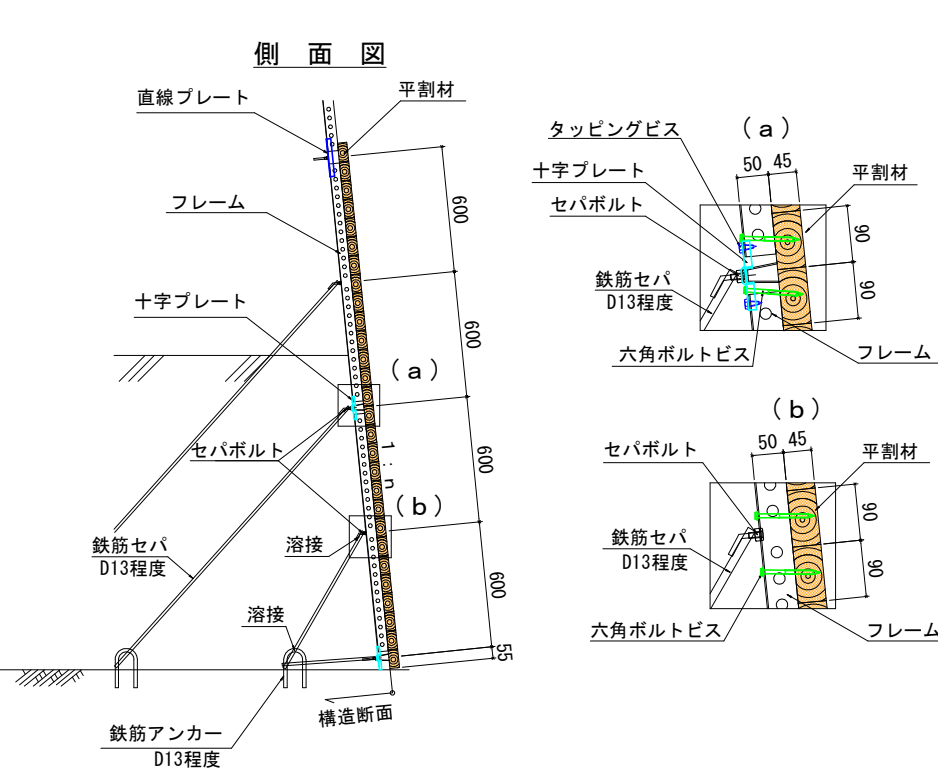
名 称	規 格	数 量	備 考
丸 太 材	末口径 12cm (8~16cm) ・ 長さ 2.0m	12.8m ³	治山ダム用
絶 縁 シ ー ト	ターポリン紙	100.0m ²	土留・擁壁用
鋼 材		0.85t	

記号	工種	種別
他4-1	残存型枠	平割材

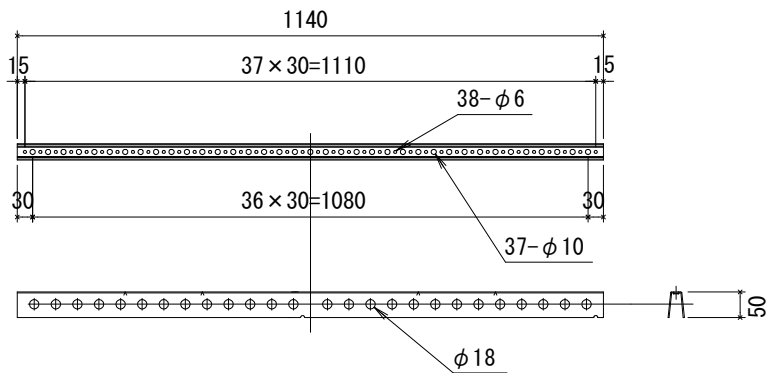
背面図



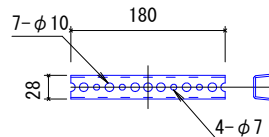
側面図



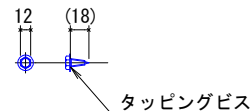
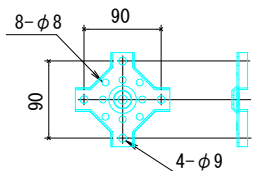
フレーム構造



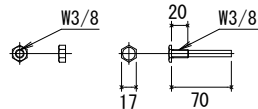
直線プレート



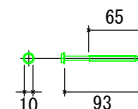
十字プレート



セバボルト・ナット



六角ボルトビス

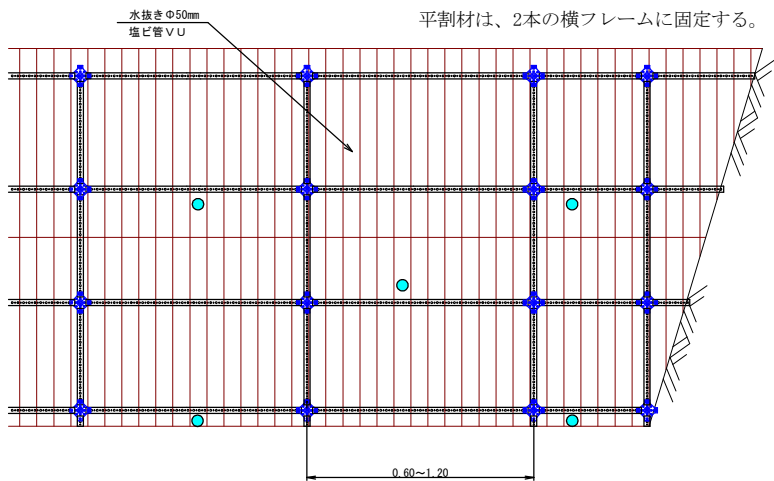


残存型枠 (平割材) 数量表			100m2当り
名称	規格	数量	備考
平割材	45mm×90mm L=4000mm	4.8 m3	
フレーム	軽量鋼製枠複合式50型	1.0 式	付属品を含む

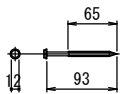
<備考> 横使いフレームは施工時のガイドフレームの為、適宜省略する事が出来る

番号	工種	種別
他4-2	残存型枠	平割材 (土留・擁壁)

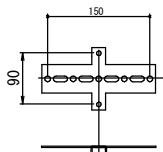
〔背面図〕



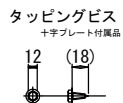
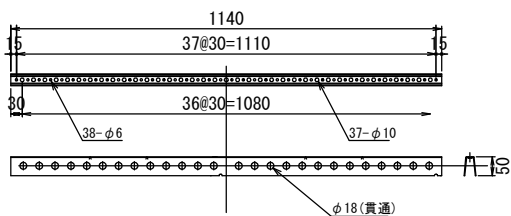
六角ボルトビス S=1/5
(M6.5×93)



十字プレートセット S=1/5

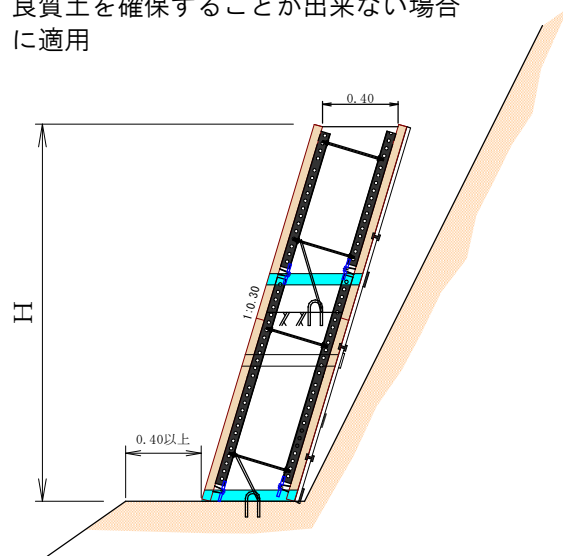


フレーム S=1/10

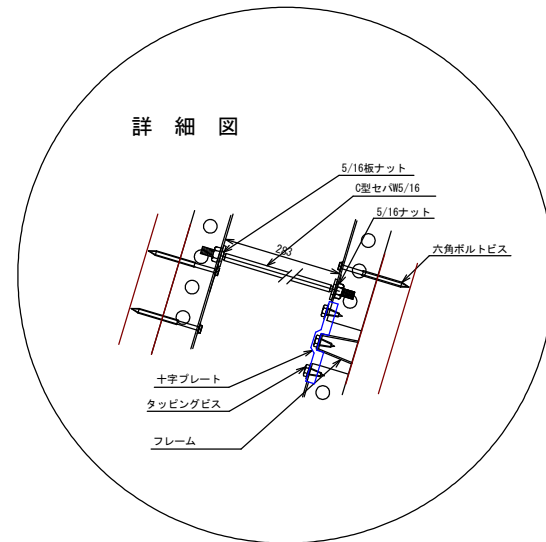


〔側面図〕

良質土を確保することが出来ない場合に適用



詳細図

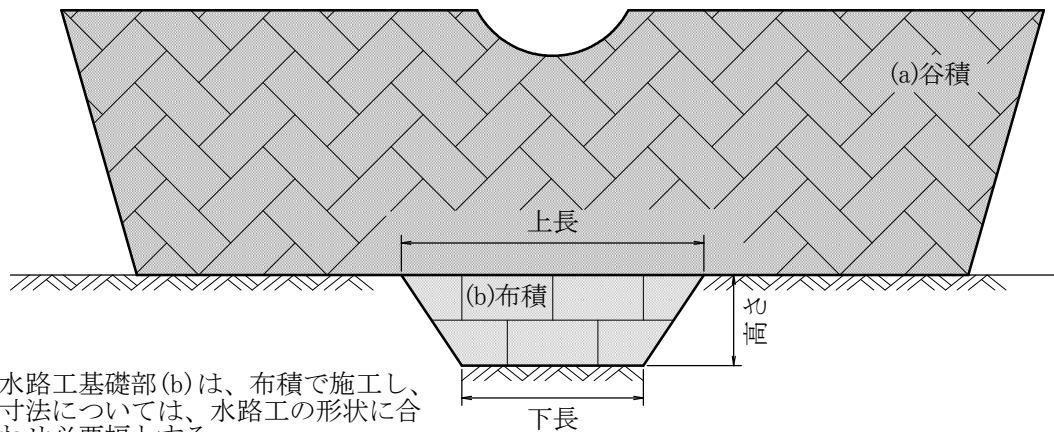


※ 水抜パイプは必ず最下部に設置する。
ただし流水の逆流が懸念される場合は、
低水位以上に設置する。

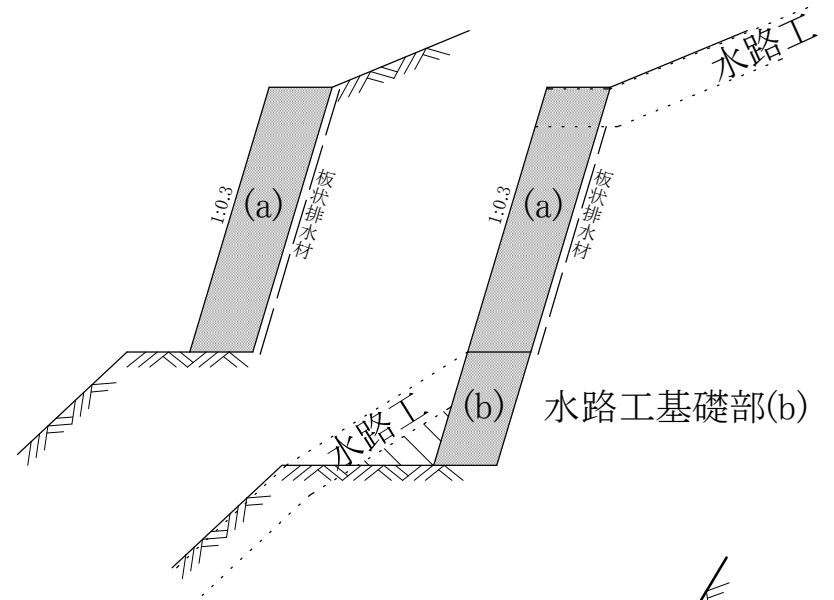
残存型枠（平割材用）上下流面セット (13.7kg/m²)

木製残存型枠（平割材）〔土留工・擁壁工〕		数量表	土留工施工面積100m ² 当り
名称	規格	数量	備考
		側面図	
残存型枠（平割材用）上下流面セット	軽量鋼製枠複合式	100.0m ² （土留工施工面積）	C型セパ、付属品を含む
平割材	45mm×90mm L2000mm	9.6m ³	
水抜パイプ	塩ビ管 VU 径50mm 長0.50m	50 [100] 本	
板状排水材	厚さ 7mm 幅 30cm	100.0m ²	

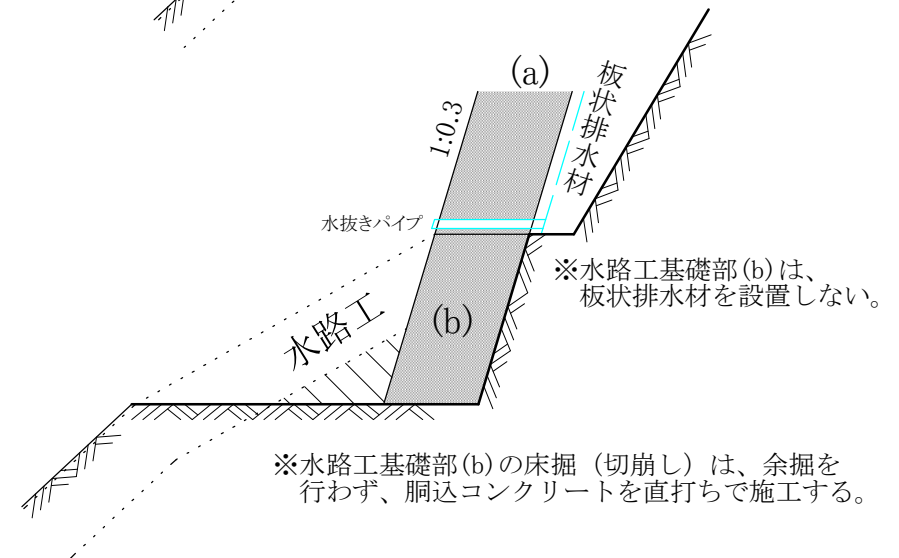
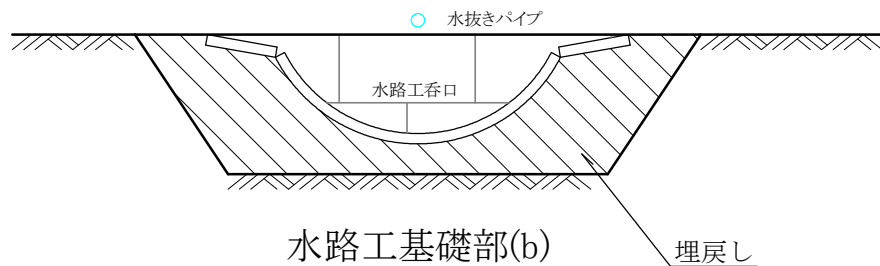
番号	工種	種別
他5	その他	水路工基礎部



※水路工基礎部(b)は、布積で施工し、寸法については、水路工の形状に合わせ必要幅とする。



◆水路工基礎部(b)と水路工呑口の設置例

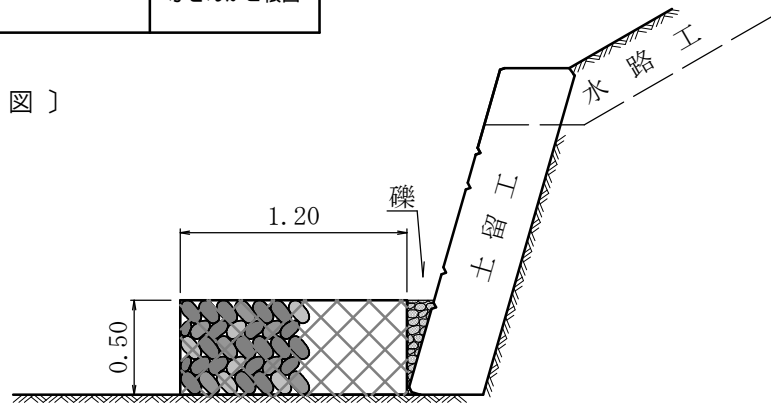


※水路工基礎部(b)の床掘(切崩し)は、余掘を行わず、胴込コンクリートを直打ちで施工する。

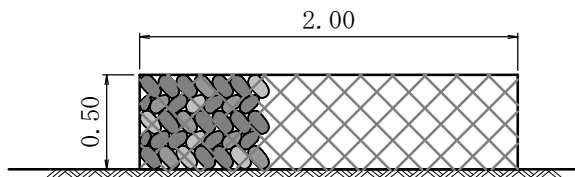
※水路工基礎部(b)は、間知ブロックを使用(植生土のう水路工等に適用)

番号	工種	種別
他6		ふとんかご根固

〔側面図〕



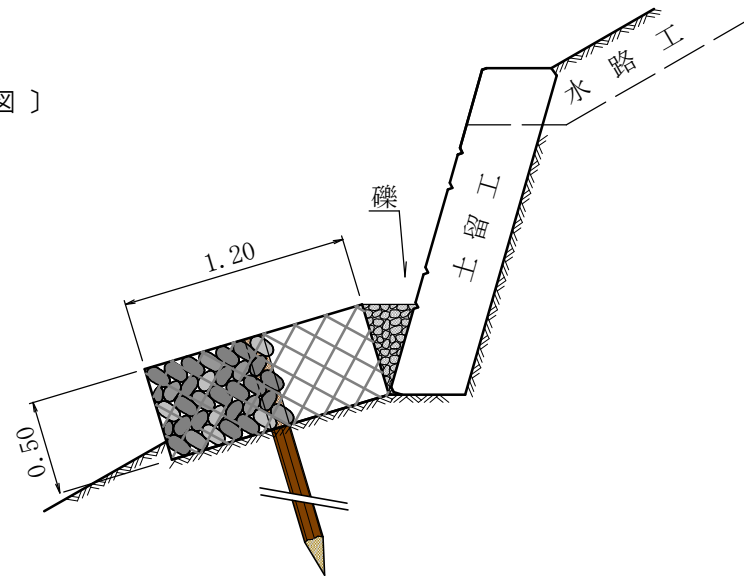
〔正面図〕



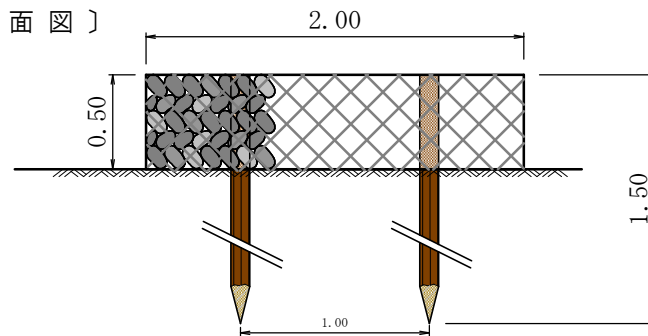
ふとんかご根固工(1)		数量表		1.0個当り
名称	規格	数量	備考	
ふとんかご	網目15cm 3.2mm 200×120×50cm	1.0本		
詰石	径 15~30cm	1.14m ³		
礫	径 5~15cm	0.07m ³		

凡例	
----	--

〔側面図〕



〔正面図〕

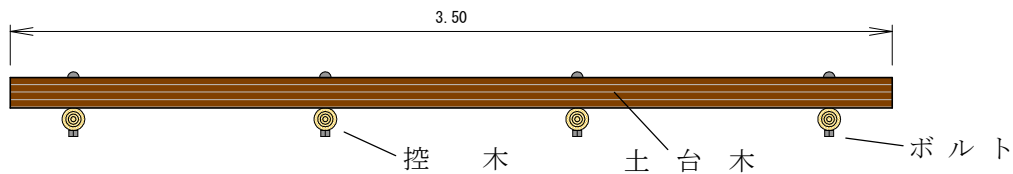


ふとんかご根固工(2)		数量表		1.0個当り
名称	規格	数量	備考	
ふとんかご	網目15cm 3.2mm 200×120×50cm	1.0本		
詰石	径 15~30cm	1.14m ³		
礫	径 5~15cm	0.11m ³		
止杭	末口径 10cm ・ 長さ1.5m以上	2.0本		

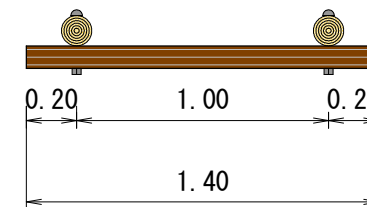
番号	工種	種別
他7	基礎工	梯子土台

凡例	
----	--

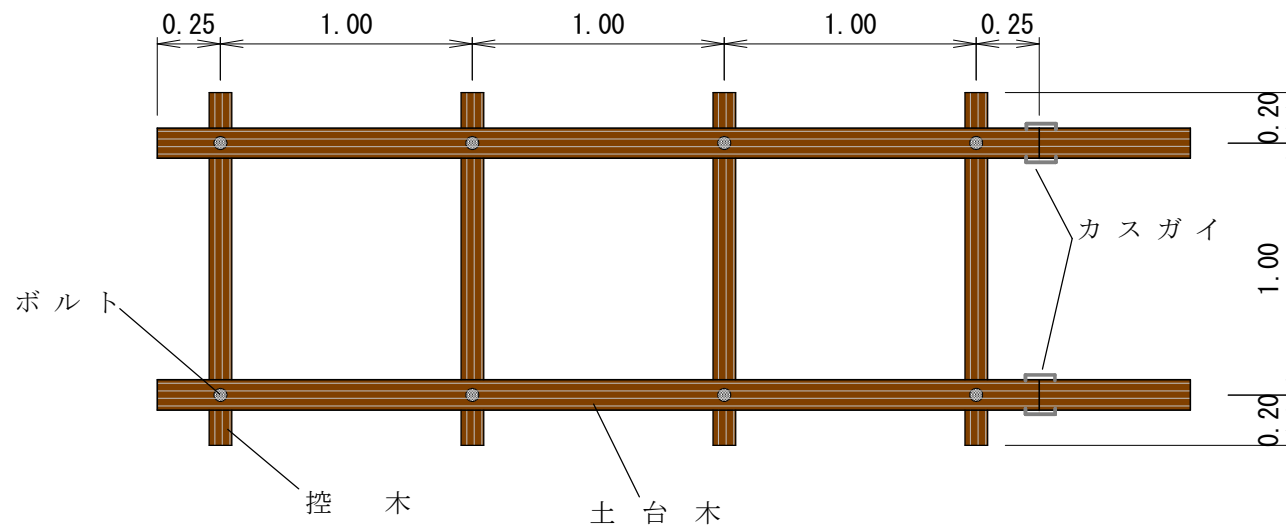
〔正面図〕



〔側面図〕



〔平面図〕



梯子土台 数量表

10.0m 当り

名称	規格	数量	備考
土台木	末口径 12cm ・ 長さ 3.5m	0.30m ³	(6.0 本 : マツ類)
控木	末口径 9cm ・ 長さ 1.4m	0.11m ³	(10.0 本 : マツ類)
ボルト	φ13mm ・ 長さ 240mm	20.0 本	
かすがい	φ9.0mm ・ 長さ 100~150mm	12.0 本	